

ソリッドステート メモリーカムコーダー

取扱説明書

PMW-320K

PMW-320L

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の
取り扱いかたを示してあります。この取扱説明書をよくお読みのうえ、
製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

XDCMEX

SXS

HDMI

CINEALTA

Exmor
FULL HD 3CMOS



安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使い方をすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

9ページから13ページの注意事項をよくお読みください。

定期点検を実施する

長期間安全に使用していただくために、定期点検を実施することをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使用を中止する

お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- 異常な音、におい、煙が出たら
- 落下させたら



- ① 電源を切る。
- ② バッテリーやDC電源接続コード、および接続ケーブルを抜く。
- ③ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にて修理を依頼する。

炎が出たら



すぐに電源を切り、消火する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

この表示の注意事項を守らないと、破裂・発火・発熱・液漏れなどにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



注意



高温

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



スラグをコンセントから抜く

目次

△ 警告	9
△ 注意	10
電池についての安全上のご注意	12
その他の安全上のご注意	13
はじめに	13
ご使用の前に	13

1 章 概要

特長	14
ソフトウェアの使いかた	16
CD-ROM マニュアルを読む	16
各部の名称と働き	17
電源部	17
アクセサリ取り付け部	18
操作・端子部	20
白黒液晶表示部	30
オートフォーカスレンズ (PMW-320K に付属)	31
ビューファインダー	33
画面表示	34

2 章 準備

電源の準備	39
バッテリーパックを使用する	39
AC 電源を使用する	40
ビューファインダーの取り付け	41
付属のビューファインダーを取り付ける	41
位置を調整する	41
角度を調整する	42
VF 筒部/アイピース部を跳ね上げる	42
視度と画面を調整する	43
ビューファインダー回転収納機構 BKW-401 を取り付ける	44

5 型エレクトロニックビューファインダーを取り付ける	45
使用地域の設定	46
内蔵時計の日付と時刻の設定	47
レンズの取り付けと調整	48
フランジバックの調整	48
音声入力の準備	50
MIC IN 端子にマイクロホンを接続する	50
AUDIO IN 端子にマイクロホンを接続する	50
UHF ポータブルチューナーを取り付ける (UHF ワイヤレスマイ クロホン使用時)	51
三脚への取り付け	53
ビデオライトの接続	54
ショルダーベルトの取り付け	54
ショルダーパッドの位置調整	55

3 章 撮影のための調整と設定

ビデオフォーマットの設定	56
ビデオフォーマットを変更する	57
ブラックバランス／ホワイトバランスの調整	57
ブラックバランスを調整する	57
ホワイトバランスを調整する	58
電子シャッターの設定	61
シャッターモードについて	61
シャッターモード／シャッタースピードを設定する	62
オートアイリスの設定	63
ズームを操作する	64
操作モードを切り換える	64
手動でズームを操作する	64
電動でズームを操作する	64
フォーカスを調整する	65
Full MF モードで調整する	65
MF モードで調整する	65
AF モードで調整する	66
マクロモードを使う	66

音声レベルの調整	66
AUDIO IN CH-1/CH-2 端子からの音声レベルを手動調整する ..66	
MIC IN 端子からの音声レベルを手動調整する	67
チャンネル 3、4 への音声の記録について	68
タイムデータの設定	69
タイムコードを設定する	69
ユーザービットを設定する	69
タイムコードを外部ロックさせる	70
各種設定や状態を確認する（ステータス画面）	71

4 章 撮影

SxS メモリーカードの取り扱い	73
SxS メモリーカードについて	73
SxS メモリーカードを入れる／取り出す	74
使用する SxS メモリーカードを切り換える	75
SxS メモリーカードをフォーマット（初期化）する	75
残りの記録可能時間を確認する	76
SxS メモリーカードを修復する	77
基本操作	78
記録したクリップを再生する	79
記録したクリップを削除する	80
応用操作	80
ショットマークを記録する	80
OK マークを設定する	81
数秒前の映像から記録する（ピクチャーキャッシュ機能）	81
間欠的に映像を記録する（インターバルレック機能）	82
コマ撮りする（フレームレック機能）	84
スロー&クイックモーション撮影する	86
フリーズミックス機能を使ってフレーミングする	87
プランニングメタデータの操作	88
プランニングメタデータファイルをカムコーダーのメモリーに読み込む	89
プランニングメタデータでクリップ名を設定する	90
プランニングメタデータでショットマーク名を設定する	91

5 章 クリップ操作

クリップの再生	93
サムネイル画面	93
クリップを再生する	96
クリップをサムネイルサーチする	97
サムネイル操作	99
THUMBNAIL メニュー構成	99
THUMBNAIL メニューの基本操作	101
サムネイル画面の種類を変更する	101
クリップの詳細情報を表示する	103
クリップに OK マークを付ける／削除する (HD モードのみ)	104
クリップをコピーする	104
クリップを削除する	106
エクスパンドサムネイル画面を表示する	106
ショットマークサムネイル画面を表示する (HD モードのみ)	108
ショットマークを追加／削除する (HD モードのみ)	108
クリップの代表画を変更する (HD モードのみ)	109
クリップを分割する (HD モードのみ)	109

6 章 メニュー表示と詳細設定

セットアップメニューの構成と階層	110
セットアップメニューの構成	110
セットアップメニューの階層	110
セットアップメニューの基本操作	112
メニュー一覧	115
OPERATION メニュー	115
PAINT メニュー	126
MAINTENANCE メニュー	131
FILE メニュー	143
アサインابلスイッチに機能を割り当てる	146
ASSIGN. 0 スイッチに割り当て可能な機能	146
ASSIGN. 2 スイッチに割り当て可能な機能	146
ASSIGN. 1/3 スイッチ、ASSIGNABLE 4/5 スイッチと COLOR TEMP. ボタンに割り当て可能な機能	147
レンズの RET ボタンに割り当て可能な機能	149
PMW-EX1R と画質を合わせる	150

7 章 ユーザー設定データの保存と呼び出し

設定の保存と呼び出し	151
設定データを保存する	151
設定データを呼び出す	152
変更されたファイルの内容を初期状態にリセットする	153
シーンファイルの保存と呼び出し	153
シーンファイルを保存する	153
シーンファイルを呼び出す	154
レンズファイルの保存と呼び出し	155
レンズファイルを設定する	155
レンズファイルを保存する	155
レンズファイルを呼び出す	155
レンズファイルを自動で呼び出す	156

8 章 外部機器の接続

外部モニターを接続する	157
コンピューターでクリップを管理・編集する	159
コンピューターの ExpressCard スロットを使う	159
USB ケーブルを使って接続する	159
外部機器を接続する (i.LINK 接続)	162
本機の画像を外部機器で記録する	162
ノンリニア編集する	163
外部入力信号を記録する	163
撮影／収録システムを構成する	164

9 章 保守・点検

撮影前の点検	165
保守	165
ビューファインダーをクリーニングする	165
バッテリー端子に関するご注意	165
エラー／警告システム	166
エラー表示	166
警告表示	167

付録

使用上のご注意	173
内蔵時計用電池の交換	175
主な仕様	176
一般	176
カメラ部	176
オーディオ部	177
表示部	177
メディア部	177
入出力部	177
レンズ部（PMW-320K に付属）	178
付属品	178
関連機器	178
周辺機器・アクセサリ一覧図	180
i.LINK について	181
MPEG-2 Video Patent Portfolio License について	182
ビットマップフォントについて	182
OpenSSL について	183
保証書とアフターサービス	186
保証書	186
アフターサービス	186
索引	187



下記の注意を守らないと、**火災や感電により死亡や大けが**につながる可能性があります。



禁止

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら記録／再生をすることはおやめください。交通事故の原因となります。



指示

雷が鳴り出したら、使用を中止する

感電の原因となります。落雷を避けるため、使用を中止して本機から離れてください。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、バッテリーや DC 電源接続コード、および接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



分解禁止

外装をはずさない、改造しない

外装をはずしたり、改造したりすると、感電の原因となります。内部の調整や設定および点検を行う必要がある場合は、必ずお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



禁止

DC 電源接続コードを傷つけない

DC 電源接続コードやマイク用電源供給ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- DC 電源接続コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- DC 電源接続コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
- 万一、DC 電源接続コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口へ交換をご依頼ください。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で AC アダプターなどの電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

があります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、AC アダプターのプラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



指示

撮影時は周囲の状況に注意を払う

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがの原因となります。



指示

指定の電源で使用する

取扱説明書に記されているバッテリーパックまたは AC アダプターでお使いください。指定以外のバッテリーパックや AC アダプターで使用すると、火災の原因となります。

 **注意**

下記の注意を守らないと、**けが**をしたり
周辺の物品に**損害**を与えることがあります。

 <p>禁止</p> <p>SxS メモリーカードスロットに手や指を入れない SxS メモリーカードスロットに手や指を入れると、けがの原因となることがあります。</p>	 <p>指示</p> <p>部品の取り付けを正しく行う 本機に以下の部品を取り付けるときは、取扱説明書の該当するページをよく読んだうえ、確実に取り付けてください。取り付け方法を誤ると部品やカムコーダー本体が落下し、けがの原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">• レンズ• ショルダーベルト• バッテリーパック• アダプター類• ビューファインダー• ライト• 三脚アタッチメント
 <p>禁止</p> <p>指定以外のケーブル／機器を接続しない カムコーダーの外部端子に規定以外のケーブル／機器を接続した場合、発煙、発火の恐れがあります。</p>	
 <p>禁止</p> <p>レンズやビューファインダーの接眼レンズを太陽に向けて放置しない 太陽光がレンズやビューファインダーの接眼レンズを通して内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。</p>	
 <p>禁止</p> <p>通風孔をふさがない 通風孔をふさいだまま使用すると、内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。</p>	 <p>注意</p> <p>三脚アタッチメントは重心を考慮して取り付ける 三脚アタッチメントを三脚に取り付けるとき、カムコーダーと三脚アタッチメントの重心を考慮して適切な位置の穴を選び、カムコーダーを三脚アタッチメントに確実に取り付けないと、カムコーダーが転倒・落下しけがの原因となることがあります。</p>
 <p>指示</p> <p>指定された動作温度・動作湿度で使用する 動作温度・動作湿度を超えた環境、またはほこりや油煙・湯気が極端に多い場所で使用すると、火災や感電の原因となることがあります。</p>	 <p>指示</p> <p>保管するときは安定した場所に置く ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、カムコーダーが落下してけがの原因となることがあります。</p>



指示

コード類は正しく配置する

DC 電源接続コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分注意して接続・配置してください。



指示

正しい姿勢でカムコーダーを担ぐ

カムコーダーの突起部を体に強くぶつけると、けがの恐れがあります。



高温

ビデオライト使用時は、高温部分に触れない

ビデオライト使用時または使用直後は、ライト本体およびその周辺部が高温になっているため、やけどをすることがあります。カムコーダーの取っ手を持って運搬するときなどは、ライト本体およびその周辺部に触れないよう注意して運搬してください。



指示

運搬するときは、取っ手を持つ

取っ手以外のところを持って運ぶと、カムコーダーが落下してけがの原因をなることがあります。



禁止

MIC IN (+48V) 端子には外部電源 (+48V) 対応以外のマイクを接続しない

外部電源 (+48V) に対応していないマイクを MIC IN (+48V) 端子に接続すると、マイクが故障する可能性があります。

電池についての安全上 のご注意

電池の使い方を誤ると、液漏れ・発熱・破裂・発火・誤飲による大げや失明の原因となるので、次のことを必ず守ってください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
 - ① 機器の電源スイッチを切るか、バッテリーチャージャーの電源プラグを抜く。
 - ② お買い上げ店またはソニーのサービス窓口連絡する。
- 電池の液が目に入ったら
すぐきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受ける。
- 電池の液が皮膚や衣服に付いたら
すぐにきれいな水で洗い流す。
- バッテリー収納部内で液が漏れたら
よくふきとってから、新しい電池を入れる。

ここでは、本機で使用可能なソニー製リチウムイオン電池についての注意事項を記載しています。

⚠ 危険

- 充電には、ソニーの専用バッテリーチャージャーを使用する。
- 火の中に投げ入れたり、加熱、半田付け、分解、改造をしない。
- 直射日光の当たるところ、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温の場所で、使用・放置・充電をしない。

⚠ 警告

- ハンマーでたたくなどの強い衝撃を与えたり、踏みつけたりしない。
- 接点部や⊕極と⊖極をショートさせたり、金属製のものと一緒に携帯・保管をしない。

- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめる。
- 電池使用中や充電、保管時に異臭がしたり、発熱・液漏れ・変色・変形などがあつたときは、すぐに使用や充電をやめる。
- 水や海水につけたり、濡らしたりしない。

⚠ 注意

充電のしかたについてはバッテリーチャージャーの取扱説明書をよく読む。

ご注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。

必ず指定の電池に交換してください。

使用済みの電池は、国または地域の法令にしたがって処理してください。



Li-ion

リチウムイオン電池は、リサイクルできません。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、一般社団法人JBRCホームページ

<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html>を参照してください。

その他の安全上のご注意

警告

イヤホンやヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

はじめに

ご使用の前に

ソニーソリッドステートメモリーカムコーダー PMW-320K/320Lをお買い上げ後、ご使用になるためには、使用地域の設定が必要です。

(使用地域が未設定の状態で本機を使用することはできません。)

◆設定のしかたについて詳しくは「使用地域の設定」(46 ページ)をご覧ください。

ご注意

PMW-320K/320L (以下、「本機」) に対して周辺機器やアクセサリーの取り付け/取りはずしを行うときは、必ず本機の電源をオフにしてください。

1章 概要

特長

本機は、 $1/2$ 型（対角8mm）のフルHD（1920×1080）“Exmor” CMOSイメージセンサーを搭載したショルダータイプの3CMOS HDメモリーカードカムコーダーです。

$1/2$ 型バヨネットマウントを採用

$1/2$ 型バヨネットマウント（フランジバック38mm）を採用し、ソニー $1/2$ 型バヨネットマウントの交換レンズを使用できます。

記録メディアにSxSメモリーカードを採用

記録画像へのランダムアクセスやファイルベースの操作が可能なSxSメモリーカードを採用しています。

軽量・低消費電力

CMOSイメージセンサー、専用の映像信号処理LSI、およびSxSメモリーカードの採用によって、消費電力を15W以下に抑え、ファンレス構造を実現しました。さらに本体の軽量化（3.2kg）と低重心設計によって、担いだときの肩への負担の軽減と安定感を両立しています。

MPEG-2 Long GOP画像圧縮によるHD記録

MPEG-2 Long GOP方式により、1920×1080、1440×1080、1280×720のHD画像を記録します。ビットレートは、35Mbps（HQモード）または25Mbps（SPモード）に設定できます。

高効率の圧縮方式によって、高画質のHD画像を32GBのSxSメモリーカード1枚に35Mbps（HQモード）で約100分、25Mbps（SPモード）で約140分記録できます。

マルチフォーマット対応

インターレース方式（1080/59.94iまたは1080/50i）、プログレッシブ方式（1080/29.97P、1080/23.98P、720/59.94P、720/29.97P、720/23.98P、または1080/25P、720/50P、720/25P）に対応し、各種のHD記録方式をワールドワイドでカバーしています。（23.98Pはネイティブ周波数での記録が可能です。）

また、NTSC/PAL方式のSD信号にも対応しており、SD信号をDVCAM-AVIフォーマットで記録・再生したり、HD信号をSD信号にダウンコンバートして出力することもできます。

専用オートフォーカスレンズ

広角から望遠まで高画質な撮影が可能な $1/2$ 型オートフォーカスレンズを装備しています（PMW-320Kのみ）。

充実した機能（操作性の向上とさまざまな撮影シーンに対応）

- ピクチャーキャッシュ機能
- 光学NDフィルターと電氣的CCフィルター
- ハイパーガンマ
- スローシャッター機能
- フレームレック機能
- インターバルレック（間欠記録）機能
- スロー&クイックモーション機能
- フリーズミックス機能
- 拡大フォーカス機能
- デジタルエクステンダー機能¹⁾
- 画像反転機能
- アサイナブルスイッチ
- 3.5型高解像度カラー LCDビューファインダー
- リモートコントロール

1)50ピンインターフェースアンドデジタルエクステンダー CBK-CE01（別売）装着時

無線LAN接続に対応

別売のハードウェアアップグレードキー CBK-UPG02を装着し、外部機器接続端子に別売のWi-Fiアダプター CBK-WA01を接続すると、本機とコンピューターを無線LAN接続（Wi-Fi接続）することができます。

Wi-Fi接続を介して、コンピューターと本機でプランニングメタデータなどのファイルを送受信できます。また、ライブロギング機能を使って、撮影中の映像にショットマークをつけることができます。

XDCAM EXならではの従来機能を踏襲

サムネイル表示、メタデータの管理など、従来のXDCAM EXのワークフローを継承しながら、マンマシンインターフェースの充実を図っています。

XDCAM EX web site

XDCAM EXに関連する情報について詳しくは、ソニープロフェッショナル／業務用製品サイトをご覧ください。

カムコーダーシステムの構成

別売の50ピンインターフェースアンドデジタルエクステンダー CBK-CE01を装着すると、HDカメラアダプター XDCA-55をマウントして、HDカメラエクステンションユニットXDCU-50と接続し、撮影／収録システムを構成できます。

CBK-CE01の装着時は、カメラアダプターの代わりにMPEG TSアダプター HDCA-702を接続して、本機のHDSIDI出力をMPEGHDトランスポートストリームに変換することもできます。

ソフトウェアの使いかた

付属のCD-ROM（ラベル表示「Utility Software for Solid-State Memory Camcorder and Recorder」）には、コンピュータ上でSxSメモリーカードにアクセスしたり、撮影素材を管理するときに必要な、アプリケーションソフトウェアやドライバソフトウェアが収納されています。また、ソフトウェアのインストール方法についての情報が、PDF形式で記録されています。

ご注意

SxSメモリーカードをExpressCardスロットが標準搭載されているコンピュータで使用するときには、コンピュータにSxSデバイスドライバソフトウェアをインストールする必要があります。

CD-ROMマニュアルを読む

準備

CD-ROMに収納されているマニュアルをご覧いただくためには、以下のソフトウェアがインストールされている必要があります。Adobe Reader 6.0 以上

メモ

Adobe Reader がインストールされていない場合は、下記URLよりダウンロードできます。

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

Adobe、およびAdobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

マニュアルを読むには

次のようにします。

1 CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。

表紙ページが自動的にブラウザで表示されます。

ブラウザで自動的に表示されないときは、CD-ROM に入っている index.htm ファイルをダブルクリックしてください。

2 読みたいマニュアルを選択してクリックする。

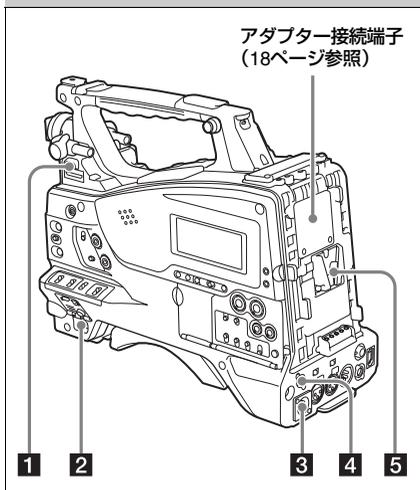
PDFファイルが開きます。

メモ

Adobe Readerのバージョンによって、ファイルが正しく表示されないことがあります。正しく表示されない場合は、「準備」の項のURLより最新のソフトウェアをダウンロードしてお使いください。

ご注意

CD-ROMが破損または紛失したため、新しいCD-ROMをご希望の場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。

各部の名称と働き**電源部****1 LIGHT (ビデオライト動作モード切り換え) スイッチ**

LIGHT端子（19ページ参照）に接続したビデオライトのオン／オフのしかたを選択します。

AUTO：ビデオライトのPOWERスイッチをONにしておくと、本機で記録しているときにライトが点灯する。

MANUAL：ビデオライトのPOWERスイッチでライトをオン／オフする。

ご注意

ピクチャーキャッシュモードでの記録時は、記録開始の操作をする前（メモリーにデータを蓄積している期間）にライトを点灯させることはできません。

2 POWER (電源) スイッチ

主電源をオン／オフします。

3 DC IN (DC電源入力) 端子 (XLR 4ピン、凸)

本機をAC電源で動作させるとき、この端子に別売のDC電源コードを差し込み、バッテリーチャージャー BC-L70、BC-L160などのDC出力端子に接続します。

4 DC OUT 12V (DC電源出力) 端子 (4ピン、凹)

UHFシンセサイザーダイバーシティチューナー WRR-860C/861/862 (別売) 用の電源を供給します (最大0.5A)。

ご注意

UHFシンセサイザーダイバーシティチューナー以外の機器は接続しないでください。

5 バッテリー取り付け部

バッテリーパックBP-L80Sを取り付けます。また、ACアダプター AC-DN2B/DN10を取り付けて、AC電源で本機を動作させることもできます。

◆「電源の準備」(39ページ)

◆「UHFポータブルチューナーを取り付ける (UHFワイヤレスマイクロホン使用時)」(51ページ)

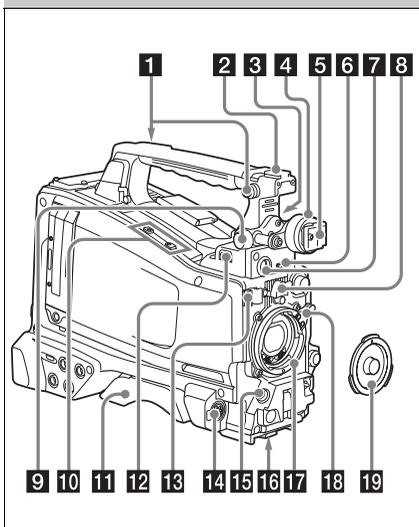
ご注意

本機を安全かつ正常な動作状態でお使いいただくために、バッテリーパックBP-L80Sの使用を推奨します。

アダプター接続端子

カバーをはずして別売の50ピンインターフェースアンドデジタルエクステンダー CBK-CE01を装着すると、HDカメラアダプター XDCA-55やMPEG TSアダプター HDCA-702を接続できます。

アクセサリ取り付け部



1 ショルダーベルト取り付け金具

付属のショルダーベルトを取り付けます (54ページ参照)。

2 アクセサリーシュー

ビデオライトなどを取り付けます (54ページ参照)。

3 ビューファインダー前後位置固定レバー

ビューファインダーの位置を前後方向に調整するとき、このレバーとLOCK つまみをゆるめて調整します。調整後、LOCKつまみと共にロックします。

4 ビューファインダー左右位置固定リング

ビューファインダーの位置を左右方向に調整するときゆるめます (41ページ参照)。

5 ビューファインダー取り付けシュー

ビューファインダーを取り付けます。

6 VF (ビューファインダー) 端子 (角型 26ピン)

付属のビューファインダーの接続ケーブルを接続します。

7 VF (ビューファインダー) 端子 (丸型 20ピン)

別売のビューファインダー (DXF-51、DXF-C50WまたはDXF-20W) の接続ケーブルを接続します。

◆DXF-51またはDXF-C50Wの取り付けには、別売のパーツが必要です。詳しくは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

8 レンズマウントゆるみ止めゴム

レンズ固定レバーでレンズを固定した後に、このゴムを2つある突起の下側の突起にはめ込みます。レンズマウントが固定され、レンズマウントがゆるむのを防ぎます。

9 ビューファインダー前後位置LOCKつまみ

ビューファインダーの位置を前後方向に調整するときゆるめます (41ページ参照)。

10 別売マイクホルダー取り付け部

別売のマイクホルダー CAC-12を取り付けます (50ページ参照)。

11 ショルダーパッド

ショルダーパッド固定レバーを持ち上げると、前後方向に位置を調節できます。本機を肩にのせたとき操作しやすくなるように、適当な位置に調節します (55ページ参照)。

12 LIGHT (ライト) 端子 (2ピン、凹)

アントンバウアー社製のウルトラライト2または同等品で、50W以下のビデオライトを接続します (54ページ参照)。

13 レンズケーブルクランプ

レンズケーブルを固定します。

14 MIC IN (マイク入力) (+48V) 端子 (XLR型、5ピン、凹)

ステレオマイクを接続する端子です。マイク用の電源 (+48V) はこの端子から供給されます。

15 LENS (レンズ接続用) 端子 (12ピン)

レンズケーブルを接続します。レンズマウントの内側にホットシューのある¹/₂型レンズを使用する場合は、この端子は使用しません。

ご注意

本機にレンズケーブルの接続/取りはずしを行うときは、本機の電源を切ってから行ってください。

16 三脚マウント

本機を三脚に固定するとき、三脚アタッチメント (別売) を取り付けます。

17 レンズマウント (特殊バヨネット型)

レンズを取り付けます。レンズマウントの内側に、レンズ接続用の14ピン端子 (7ピン端子2個) があります。

◆使用できるレンズについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

ご注意

カメラ接続用端子が7ピンのレンズを取り付けたときは、オートアイリス機能が動作しません。また、映像レベル注意表示とアイリスポジション表示が無効になります。

18 レンズ固定レバー

レンズをレンズマウントに差し込んだ後、このレバーでレンズマウントリングを回してレンズを固定します。

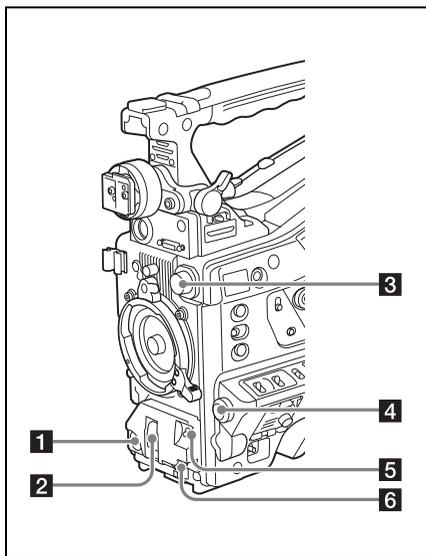
レンズを固定した後は、必ずレンズマウントゆるみ止めゴムを使用してください。

19 レンズマウントキャップ

レンズ固定レバーを押し上げると取りはずせません。レンズを取り付けていないときは、はめ込んでおきます。

操作・端子部

前面

**1 REC START (記録開始) ボタン**

押すと記録が始まり、もう一度押すと止まります。レンズにあるRECボタンと同じ動作をします。

2 SHUTTER (シャッター) スイッチ

電子シャッターを使うときにONにします。SELECT側に押すと、シャッタースピードとシャッターモードの表示が切り替わります。スイッチの設定を切り換えると、新しい設定がビューファインダー画面に約3秒間表示されます。

◆「電子シャッターの設定」(61ページ)

3 FILTER (フィルター切り換え) つまみ

本機に内蔵されている4種類のNDフィルターを切り換えるためのつまみです。このつまみの設定を切り換えると、新しい設定がビューファインダー画面に約3秒間表示されます。

FILTER つまみ ND フィルターの種類**まみの設定**

1	CLEAR (素通し)
2	$1/4$ ND (光を約 $1/4$ に減衰させる)
3	$1/16$ ND (光を約 $1/16$ に減衰させる)
4	$1/64$ ND (光を約 $1/64$ に減衰させる)

MAINTENANCEメニューの設定を変更することにより、つまみの各位置にホワイトバランスの設定値を個別に記憶させておくことができるため、フィルターの切り換えに連動して、撮影条件に応じた最適なホワイトバランスが得られます。

◆「ホワイトバランスを調整する」(58ページ)

4 MENUつまみ

各メニュー内の項目選択や設定値の変更をするときに使います(112ページ参照)。

5 AUTO W/B BAL (ホワイトバランス/ブラックバランス自動調整) スイッチ

次のようにホワイトバランスやブラックバランスを自動調整します。

WHITE : ホワイトバランスを自動調整する。このとき WHITE BALスイッチ(22ページ参照)をAまたはBにしておくと、調整された値がメモリー AまたはBに記憶される。WHITE BALスイッチがPRSTのときは動作しない。

BLACK : ブラックセットとブラックバランスを自動調整する。

自動追尾ホワイトバランス(ATW)時も動作します。

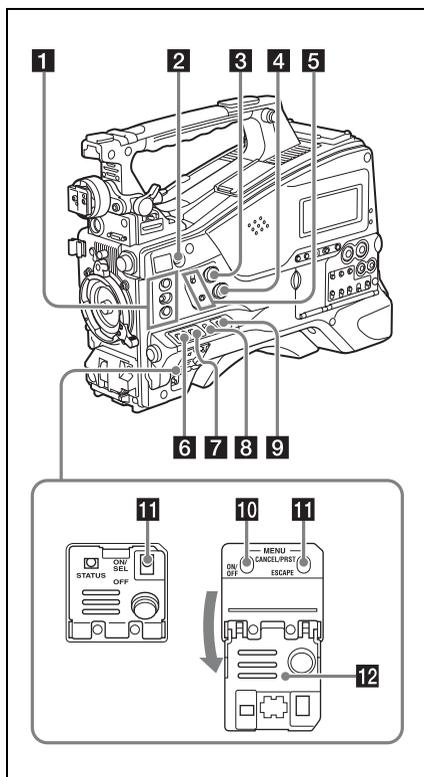
オートホワイトバランス実行中に再度WHITE側に倒すと、オートホワイトバランスは中止され、元のホワイトバランス状態に戻ります。

オートブラックバランス実行中に再度BLACK側に倒すと、オートブラックバランスは中止され、元のブラックバランス状態に戻ります。

6 MIC LEVEL (マイクレベル) つまみ

音声チャンネル1/2/3/4の入力レベルを調整します(66ページ参照)。

右側面 (前部)

**1** ASSIGN. (アサインابل) 1/2/3スイッチ

メニューのOPERATION > Assignable SWで機能を割り当てます (146ページ参照)。工場出荷時には、ASSIGN. 1にEZ Mode、ASSIGN. 2/3にOffが割り当てられています。ASSIGN. 1/3スイッチには、オン/オフが確認できるインジケーターが付いています。

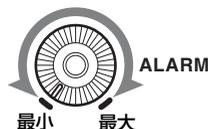
2 COLOR TEMP. (色温度切り換え) ボタン

押すと点灯し、撮影するときの色温度を変更できます (工場出荷時)。また、アサインابلスイッチとして使用することができます (147ページ参照)。

3 ALARM (警告音量調節) つまみ

内蔵スピーカーやイヤホンから聞こえる警告音の音量を調節します。最小にすると、警告音は聞こえなくなります。

ただし、メニューのMAINTENANCE > Audio > Min Alarm VolumeをSetに変更すると、このつまみが最小の位置でも警告音が聞こえるようになります。

**4** MONITOR (音量調節) つまみ

内蔵スピーカーやイヤホンから聞こえる警告音以外の音声の音量を調節します。最小にすると、音声は聞こえなくなります。

5 MONITOR (オーディオモニター選択) スイッチ

2つのスイッチの組み合わせによって、内蔵スピーカーやイヤホンから聞こえる音声を以下のように選択します。

下側のスイッチ：CH-1/2

上側のスイッチ	音声出力
CH-1/CH-3	チャンネル1の音声
MIX	チャンネル1と2の混合音声 (ステレオ) ^{a)}
CH-2/CH-4	チャンネル2の音声

下側のスイッチ：CH-3/4

上側のスイッチ	音声出力
CH-1/CH-3	チャンネル3の音声
MIX	チャンネル3と4の混合音声 (ステレオ) ^{a)}
CH-2/CH-4	チャンネル4の音声

a) EARPHONE端子にステレオヘッドホンを接続すると、音声をステレオで聞くことができます。(メニューのMAINTENANCE > Audio > Headphone OutをStereoに設定する必要があります。)

6 ASSIGN. (アサインابل) 0スイッチ

メニューのOPERATION > Assignable SWで機能を割り当てます (146ページ参照)。

工場出荷時には、Offが割り当てられています。

押すたびに動作が切り替わるモーメントリタイプのスイッチです。

7 GAIN (ゲイン切り換え) スイッチ

撮影時の照明状態に合わせて、映像アンプのゲイン (利得) を切り換えます。L、M、H の設定に対応するゲイン値は、あらかじめメニューのOPERATION >Gain Switchで (120ページ参照) 指定します (工場出荷時の設定は、L=0dB、M=6dB、H=12dB)。このスイッチの設定を切り換えると、新しい設定がビューファインダー画面に約3秒間表示されます。

8 OUTPUT (出力信号切り換え) /DCC (ダイナミックコントラストコントロール機能切り換え) スイッチ

カメラ部から出力する信号を以下の2つから選択します。

BARS : カラーバー信号を出力する。

CAM : 撮影中の映像信号を出力し、DCC機能¹⁾のオン/オフを切り換えることができる。

- 1) **DCC (Dynamic Contrast Control) 機能** :
高輝度の背景で人物や風景などにレベルを合わせて撮影すると、背景が白くつぶれ、背景にある建物や風景がぼやける。このようなときにDCC機能を動作させると、高輝度部分を自動的に抑え、背景をくっきりと再現できる。次のような場面の撮影に効果を発揮する。
- 晴天時に日陰の人物を撮るとき
 - 車内または屋内の人物と窓越しの屋外の風景を同時に撮影したいとき
 - コントラストの強い場面を撮るとき

9 WHITE BAL (ホワイトバランスメモリー切り換え) スイッチ

以下のようにホワイトバランスの調整方法を切り換えます。

PRST : 色温度をプリセット値 (工場出荷時の設定は3200K) に調整する。ホワイトバランスを調整する時間がないときなどに合わせる。

AまたはB : あらかじめAまたはBに保存しておいたホワイトバランスの調整値を呼び出す。AUTO W/B BALスイッチ (20ページ参照) をWHITE側に押すと、ホワイトバランスを自動的に調整し、調整値をメモリー Aまたはメモリー Bに記憶する。

B (ATW¹⁾) : OPERATIONメニューのWhite SettingでWhite Switch をATWに設定しておくこと、ATWが動作する。

なお、ATWが動作中でも、AUTO W/B BALスイッチは機能する。

このスイッチの設定を切り換えると、新しい設定がビューファインダー画面に約3秒間表示されます。

1) **ATW (Auto Tracing White balance)** : 照明条件の変化に応じて画像のホワイトバランスを自動的に追従させる機能

10 MENU ON/OFF (メニュー表示オン/オフ) スイッチ

スイッチカバーを開けると使用できるようになります。

ビューファインダー画面やテスト出力画面上に設定メニューを表示するときに使用します。スイッチを押し下げると、メニューの表示/非表示が切り替わります。サムネイル画面操作部のMENUボタンも同じ働きです。

11 STATUS ON/SEL/OFF (メニュー設定表示オン/ページ選択/表示オフ) スイッチ

MENU CANCEL/PRST/ESCAPE (メニュー設定取消し/プリセット/戻る) スイッチ

メニューが表示されていないときはSTATUS ON/SEL/OFFスイッチとして機能します。メニューが表示されているときはMENU CANCEL/PRST/ESCAPEスイッチとして機能します。(スイッチカバーを開けると使用できるようになります。)

STATUS ON/SEL/OFFスイッチは、次のように使用します。

ON/SEL：この位置に押し上げると、本機の各種設定や状態を確認するための画面がビューファインダーに表示される（71ページ参照）。この画面は5ページあり、押し上げるごとに、ページが変わる。画面は約10秒間表示される。

OFF：画面を表示させた直後に、画面を消したいとき、この位置に押し下げる。

MENU CANCEL/PRST/ESCAPEスイッチは、次のように使用します。

CANCEL/PRST：メニューの設定変更後にこの位置へ押し上げると、変更した設定を取り消すかどうかを確認する表示が出る。再度押し上げると設定が取り消される。

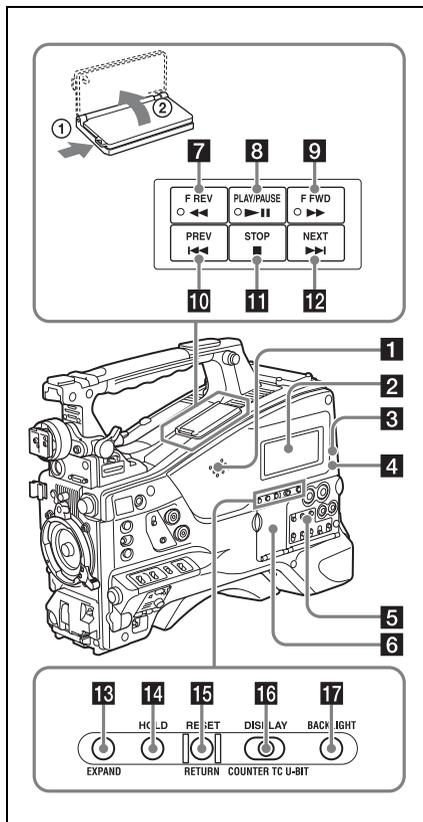
メニューの設定変更前または設定変更を取り消した後にこの位置へ押し上げると、現在の設定を標準設定（初期設定値）にリセットするかどうかを確認する表示が出る。再度押し上げると現在の設定が標準設定にリセットされる。

ESCAPE：階層構造を持つメニューを開いているときに使用する。この位置に押し下げると、現在の階層から1つ上の階層に戻る。

12 スイッチカバー

MENU ON/OFFスイッチ、またはMENU CANCEL/PRST/ESCAPEスイッチを操作するとき、このカバーを開けます。

右側面（後部）



1 内蔵スピーカー

記録中はE-E音¹⁾を、再生中は再生音をモニターできます。警告ランプや警告表示の点滅・点灯に合わせて警告音も聞こえます（166ページ参照）。

なお、EARPHONE端子にイヤホンをつなぐと、内蔵スピーカーからは音が聞こえなくなります。

1) **E-E**：「Electric to Electric」の略。本機に入力され、本機内部の電気回路のみを通して出力端子から出てくる映像信号または音声信号のこと。これによって入力信号を確認できる。

2 白黒液晶表示部

バッテリー残量、メディア残量、音声レベル、タイムデータなどを表示します（30ページ参照）。

3 WARNING（警告）ランプ

異常が発生すると、点滅または点灯します（166ページ参照）。

4 ACCESS（アクセス）ランプ

記録メディアに書き込みや読み出しが行われているときに青で点灯します。

5 オーディオ調整部の保護カバー

開くとオーディオ調整部が現れます（25ページ参照）。

6 サムネイル画面操作部の保護カバー

開くとサムネイル画面の操作部が現れます（25ページ参照）。

7 F REV（逆高速再生）ボタンとランプ

逆方向に高速再生します。再生速度は、ボタンを押すたびに約4倍速→約15倍速→約24倍速の順に切り替わります。逆方向高速再生中はランプが点灯します。

8 PLAY/PAUSE（再生／一時停止）ボタンとランプ

再生するときに押します。再生中はランプが点灯します。

再生中に再度このボタンを押すと一時停止状態となり、静止画が出力されます。このとき、ランプが毎秒1回の速さで点滅します。

再生／一時停止中にF REVボタンまたはF FWDボタンを押すと、逆方向または順方向の高速再生になります。

9 F FWD（高速再生）ボタンとランプ

順方向に高速再生します。再生速度は、ボタンを押すたびに約4倍速→約15倍速→約24倍速の順に切り替わります。順方向高速再生中はランプが点灯します。

10 PREV（逆方向クリップジャンプ）ボタン

現在のクリップの先頭にジャンプします。F REVボタンと同時に押すと、記録メディア内で最初に記録されたクリップの先頭画にジャンプします。このボタンをすばやく2回押すと、直前のクリップ（存在しない場合は現在のクリップ）の先頭画にジャンプします。

11 STOP（停止）ボタン

再生をやめるときに押します。

12 NEXT（順方向クリップジャンプ）ボタン

次のクリップの先頭にジャンプします。F FWDボタンと同時に押すと、記録メディア内の最後に記録されたクリップの先頭画にジャンプします。

13 EXPAND（エクスパンド）ボタン

サムネイル画面表示中に押すと、選択したクリップを分割し、分割されたそれぞれの先頭フレームをさらにサムネイルとして一覧表示します（エクスパンド機能）。HD記録されたMP4クリップは時間で12分割、SD記録されたAVIクリップは、複数ファイルで構成されている場合のみ、ファイルごとに分割表示されます。

MP4クリップの場合は、押すたびに分割を繰り返します。SHIFTボタンを押したままこのボタンを押すと、押すたびに1つ前の分割状態に戻ります。

14 HOLD（データ表示保持）ボタン

押した瞬間に、白黒液晶表示部のタイムデータの表示が保持されます。（ただし、タイムコードジェネレーターは歩進し続けます。）もう一度押すと、保持状態が解除されます。

◆カウンター表示について詳しくは、30ページをご覧ください。

15 RESET/RETURN (リセット/リターン) ボタン

白黒液晶表示部のタイムカウンター表示部に表示されている値をリセットします。PRESET/REGEN/CLOCKスイッチ (26ページ参照) とF-RUN/SET/R-RUNスイッチ (26ページ参照) の設定に応じて、次のように働きます。

スイッチの設定	RESET/RETURN ボタンの働き
DISPLAYスイッチ: COUNTER	カウンターを 0 : 00 : 00 : 00にリセットする。
DISPLAYスイッチ: TC	タイムコードを 00 : 00 : 00 : 00にリセットする。
PRESET/REGEN/ CLOCKスイッチ: PRESET	
F-RUN/SET/R-RUN スイッチ: SET	
DISPLAYスイッチ: U-BIT	ユーザービット ^{a)} データ を00 00 00 00にリセットする。
PRESET/REGEN/ CLOCKスイッチ: PRESET	
F-RUN/SET/R-RUN スイッチ: SET	

a)メディアに記録されるタイムコードビットのうち、ユーザーが必要な情報を記録するために使うことのできるビット。

◆「タイムデータの設定」(69ページ)

エクスパンドサムネイル画面やショットマークサムネイル画面の表示中に押すと、1つ前の画面に戻ります。

16 DISPLAY (カウンター表示切り換え) スイッチ

白黒液晶表示部のタイムカウンター表示部の表示をCOUNTER、TC、U-BITの順に切り換えます (30ページ参照)。

COUNTER: 記録・再生経過時間のカウンターを表示する。

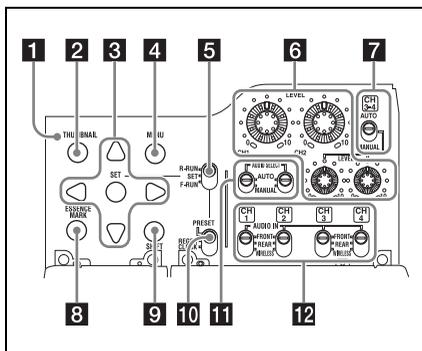
TC: タイムコードを表示する。

U-BIT: ユーザービットを表示する。

17 BACKLIGHT (バックライト) ボタン

白黒液晶表示部のバックライトの点灯/消灯を切り換えます。工場出荷時は点灯に設定されています。

サムネイル画面操作部とオーディオ調整部



1 サムネイルインジケータ

サムネイル画面が表示されているときに点灯します。

2 THUMBAIL (サムネイル) ボタン

サムネイル操作を行うとき、このボタンを押してサムネイル画面 (93ページ参照) を表示します。

もう一度押すと、元の画面に戻ります。

3 SET (設定) ボタンと矢印ボタン

タイムコードやユーザービットの数値の設定、およびサムネイル画面での操作に使用します (101ページ参照)。

セットアップメニューを表示しているときは、このボタンを押して項目の選択や設定変更を確定します。

4 MENU (メニュー) ボタン

押すたびに、セットアップメニューの表示/非表示が切り替わります。

MENU ON/OFFスイッチと同じ働きです。

5 F-RUN/SET/R-RUN (フリーラン／セット／レックラン切り換え) スイッチ

内蔵タイムコードジェネレーターの歩進モードを選択します。スイッチの位置によって、歩進モードは以下のように変わります。

F-RUN：連続してタイムコードが歩進する。タイムコードを外部ロックさせるときなどに合わせる。

SET：タイムコードやユーザービットを設定する。

R-RUN：記録中のみタイムコードが歩進する。記録メディア上のタイムコードを、連続して記録する。

◆「タイムコードを設定する」(69ページ)

◆「ユーザービットを設定する」(69ページ)

6 LEVEL CH1/CH2/CH3/CH4 (音声チャンネル1/2/3/4録音レベル調整) つまみ

AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチ、およびAUDIO SELECT CH 3-4スイッチをMANUALにすると、音声チャンネル1、2、3、4に記録する音声レベルを調整できます。

7 AUDIO SELECT CH 3-4 (音声チャンネル3-4自動／手動レベル調整切り換え) スイッチ

音声チャンネル3と4の音声レベル調整方法を個別に選択します。

AUTO：自動

MANUAL：手動

8 ESSENCE MARK (エッセンスマーク) ボタン

サムネイル画面表示中に押すと、リストの選択項目に応じて、選択したクリップのショットマークサムネイル画面を表示することができます。

All：エッセンスマークが打たれたすべてのフレームの一覧を表示する。

Shot Mark1：ショットマーク1が設定されたフレームの一覧

Shot Mark2：ショットマーク2が設定されたフレームの一覧

Shot Mark0とShot Mark3～Shot Mark9も選択できます。

ショットマーク0～ショットマーク9の名前を定義したプランニングメタデータを使用してクリップを記録した場合は、リストの選択項目が定義した名前になります。

9 SHIFT (シフト) ボタン

各種のボタンと組み合わせで使用します。

10 PRESET/REGEN/CLOCK (プリセット／リジェネレート／クロック) スイッチ

タイムコードを記録する方法を選択します。

PRESET：新たに設定されたタイムコードをメディアに記録する。

REGEN：メディアに記録されたタイムコードを読み取り、その値に連続するようにタイムコードを記録する。F-RUN/SET/R-RUN スイッチの設定にかかわらず、本機はR-RUNモードで歩進する。

CLOCK：タイムコードを内蔵の時計と合わせる。F-RUN/SET/R-RUN スイッチの設定にかかわらず、本機はF-RUNモードで歩進する。

11 AUDIO SELECT CH1/CH2 (音声チャンネル1/2自動／手動レベル調整切り換え) スイッチ

音声チャンネル1と2の音声レベル調整方法を個別に選択します。

AUTO：自動

MANUAL：手動

12 AUDIO IN CH1/CH2/CH3/CH4 (音声入力切り換えチャンネル1/2/3/4) スイッチ

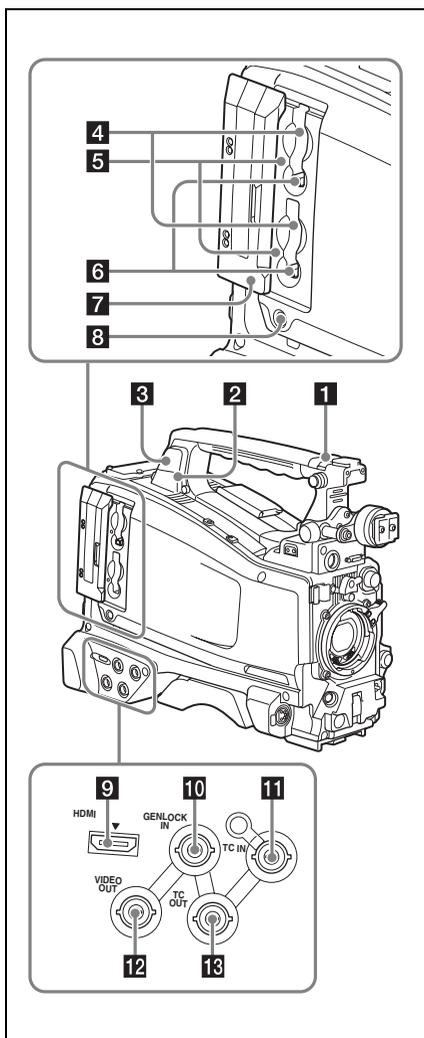
音声チャンネル1、2、3、4に記録する入力信号を選択します。

FRONT：MIC IN端子に接続したマイクからの音声入力信号

REAR : AUDIO IN CH-1/CH-2端子に接続したオーディオ機器からの音声入力信号

WIRELESS : 本機にスロットインUHFポータブルチューナーを装着したときの音声入力信号

左側面と上部



1 ASSIGNABLE (アサインブル) 4/5 スイッチ

メニューのOPERATION > Assignable SWで機能を割り当てます (147ページ参照)。工場出荷時には、Offが割り当てられています。

2 PC接続端子

本機をUSB接続モードに切り換えてコンピュータの外部記憶装置として使用するための端子です。ExpressCardスロットを持たないコンピュータとこの端子を接続すると、本機に挿入されたメモリーカードが、カードごとドライブとして認識されます。

3 外部機器接続端子

別売のWi-Fiアダプター CBK-WA01を接続します。

CBK-WA01を接続すると、本機とコンピュータをWi-Fi接続 (無線接続) できます。

ご注意

- CBK-WA01を接続するときは、別売のハードウェアアップグレードキー CBK-UPG02を装着してください。
- この端子は、CBK-WA01の接続に使用してください。USBハブなど他の機器を接続して使用することはできません。
- ◆ CBK-WA01の使いかたについては、「Manuals for Solid-State Memory Camcorder」のCD-ROMに収録されている Supplement (サブリメント) をご覧ください。

4 SxSメモリーカードスロット

上下に2つのスロット (AとB) があり、SxSメモリーカードなどの記録メディアを挿入します (74ページ参照)。

5 ACCESS (アクセス) ランプ

スロットA/Bの状態を示します (75ページ参照)。ランプの点灯状態はスロットカバーを閉めていても確認できます。

6 EJECT (SxSメモリーカード取り出し) ボタン

一度押ししてロックを解除し、再度押し込むと記録メディアが手前に引き出されます (75ページ参照)。

7 スロットカバー

左右にスライドして開閉します。

8 SLOT SELECT (SxSメモリーカード選択) ボタン

スロットAとBの両方に記録メディアが装着されているとき、使用する記録メディアを切り換えます (75ページ参照)。

9 HDMI¹⁾ 出力端子

ビデオモニター用のHDMI信号を出力します。HDMI信号入力端子付きのビデオモニターを接続して、撮影中の映像 (カメラ画) または再生画をモニターすることができます。

1)HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。

10 GENLOCK IN (ゲンロック用入力) 端子 (BNC型)

カメラ部にゲンロックをかけるとき、またはタイムコードを外部ロックさせるとき、基準信号を入力します。入力できる基準信号は、設定されているシステム周波数によって次表のように異なります。

システム周波数	入力できる基準信号
1080/59.94i	1080/59.94i、480/59.94i
1080/29.97P	1080/59.94i、480/59.94i
1080/23.98P (PsF出力時)	1080/23.98PsF、480/59.94i
1080/23.98P (プルダウン出力時)	1080/59.94i、480/59.94i
720/59.94P	1080/59.94i、720/59.94P、480/59.94i
720/29.97P	1080/59.94i、720/59.94P、480/59.94i
720/23.98P	1080/59.94i、720/59.94P、480/59.94i

システム周波数	入力できる基準信号
480/59.94i	1080/59.94i、480/59.94i
480/29.97P	1080/59.94i、480/59.94i
1080/50i	1080/50i、576/50i
1080/25P	1080/50i、576/50i
720/50P	1080/50i、720/50P、576/50i
720/25P	1080/50i、720/50P、576/50i
576/50i	1080/50i、576/50i
576/25P	1080/50i、576/50i

(カメラ部へのゲンロックは、水平同期信号のみに対応しています。) ゲンロックのHフェーズ (水平同期信号の位相) の調整はメニューのMAINTENANCE > Genlockで行います。

11 TC IN (タイムコード入力) 端子 (BNC型)

タイムコードを外部ロックさせるとき、基準となるタイムコードを入力します。

◆「タイムコードを設定する」(69ページ)

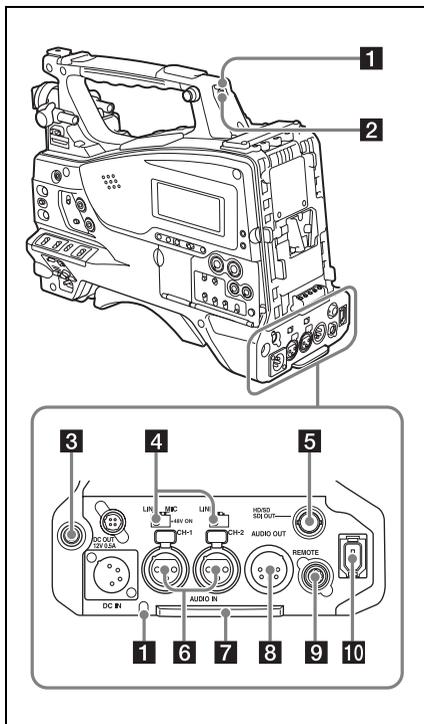
12 VIDEO OUT (ビデオ出力) 端子 (BNC型)

ビデオモニター用のビデオ信号を出力します。メニューのOPERATION > Input/Output > Output&i.LINKの設定により、コンポジットビデオまたはHD-Yのいずれかを選択できます。

13 TC OUT (タイムコード出力) 端子 (BNC型)

外部VTRのタイムコードを本機のタイムコードにロックさせるとき、外部VTRのタイムコードロック用TC IN (タイムコード入力) 端子と接続します。

後面



1 TALLY (バックタリー) ランプ (赤)
記録中に点灯します。ただし、TALLYスイッチがOFFになっていると点灯しません。WARNINGランプ (24ページ参照) が動作しているときは点滅します。なお、ビューファインダー前面のタリーランプ、ビューファインダー画面のREC表示も同様に点灯／点滅します。

◆「エラー／警告システム」(166ページ)

2 TALLY (タリー) スイッチ

TALLYランプを使用するとき、ONに設定します。

3 EARPHONE (イヤホン) 端子 (ステレオ、ミニジャック)

イヤホンを接続すると、記録中はE-E音を、再生中は再生音をモニターできます。警告

ランプや警告表示の点滅・点灯に合わせて警告音も聞こえます。内蔵スピーカーからの音は自動的に聞こえなくなります。メニューのMAINTENANCE >Audioでモノラル／ステレオを切り換えることができます。

4 AUDIO IN (音声入力) 切り換えスイッチ

AUDIO IN CH-1/CH-2端子に入力される音声の音源を切り換えます。

LINE：ステレオアンプなど、外部のオーディオ信号源を接続する場合

MIC：48V対応マイク以外のマイクを接続する場合

+48V：48V対応マイクを接続する場合

5 HD/SD SDI OUT端子 (BNC型)

HDSDI信号 (エンベデッドオーディオ) またはSDSDI信号 (エンベデッドオーディオ) を出力します。本端子からの出力信号は、メニューのOPERATION >Input/Output >SDI Outputでオン、オフを切り換えることができます。

6 AUDIO IN CH1-/CH-2 (音声入力チャンネル1/2) 端子 (XLR型、3ピン、凹)

オーディオ機器やマイクを接続します。

7 ボトムカバー

後面の端子に接続するケーブル類を保護するためのパーツです。

カムコーダー底面の取り付けネジをゆるめると、接続するマイクケーブルまたはオーディオケーブルのプラグの形状に応じて、ボトムカバーの位置を調整することができます。調整後は、ネジを締めてカバーを固定してください。

8 AUDIO OUT (音声出力) 端子 (XLR型、5ピン、凸)

オーディオチャンネル1、2または、オーディオチャンネル3、4に記録された音声信号を出力します。

出力する音声信号は、MONITORスイッチで選択します。

9 REMOTE (リモートコントロール) 端子 (8ピン)

本機の遠隔操作が可能なリモートコントロールユニットを接続します。

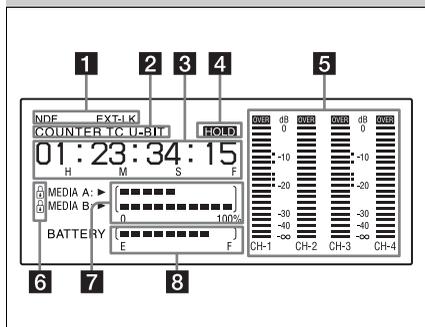
ご注意

本機にリモートコントロールユニットの接続/取りはずしを行うときは、本機の電源を切ってから行ってください。

10 i.LINK (HDV/DV) 端子 (6ピン、IEEE1394準拠S400)

HDV/DV機器を接続し、HDV/DVストリームを入出力します。

白黒液晶表示部



1 状態表示

NDF：タイムコードがノンドロップフレームモードのとき表示されます。

EXT-LK：内蔵のタイムコードジェネレーターがTC IN端子に接続した外部信号にロックしているとき表示されます。

2 カウンター表示種別

DISPLAYスイッチによって選択されているカウンター表示部の種別を表示します。

COUNTER：カウンター

TC：タイムコード

U-BIT：ユーザービット

3 タイムカウンター表示

DISPLAYスイッチのポジションにより、タイムカウンター、タイムコード、ユーザービットを切り換えて表示します。タイムコード表示中にHOLDボタンが押されたときは、次のフォーマットで表示されます。HOLDボタンを再度押して保持状態を解除すると、通常表示に戻ります。

00:00:00:00

カウンター歩進が保持状態であることを3つのドットで表す

4 HOLD表示

タイムコードジェネレーターの歩進表示を止めているとき表示されます。

5 音声レベルメーター

音声記録レベルまたは再生レベルが表示されます。「1」～「4」は音声チャンネル1～4を示します。

6 ロックマーク表示

記録メディアがプロテクトされているとき表示されます。

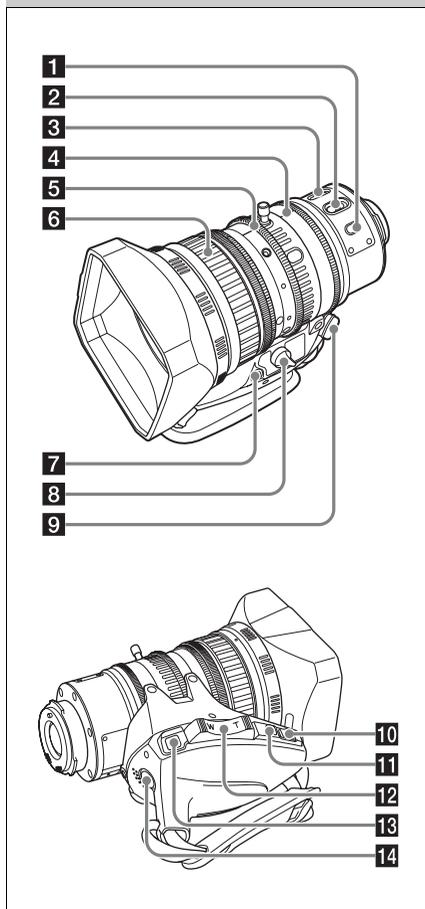
7 メディア残量表示

記録メディアの残量がスロットごとにバーグラフで表示されます。

8 バッテリー残量表示

バッテリーの残量がバーグラフで表示されます。

オートフォーカスレンズ (PMW-320Kに付属)



1 PUSH AF (オートフォーカス) ボタン
フォーカス調整がマニュアルモードのときは、このボタンを押すことによって押した時点の被写体へのオートフォーカス調整が可能です。
ボタンを押すとオートフォーカスが起動し、フォーカスが合うと停止します。
FOCUSスイッチがA (オート) 側になっていても、このボタンを押すことによって、オートフォーカスが再起動します。

2 FOCUS (フォーカス調整モード) スイッチ

A (オート) : 常時オートフォーカス機能が働きます。スイッチがA側になっていても、フォーカスリングを操作することによって、マニュアルでフォーカスを調整することもできます。

M (マニュアル) : マニュアルモードになり、フォーカスリングでフォーカスを調整します。
マニュアルモードでは、PUSH AFボタンによるオートフォーカス調整も可能です。

3 MACRO (マクロ) スイッチ

スイッチをON側にするるとマクロ有効モードになり、マクロ領域 (レンズ先端から5cm¹⁾ ~90cm) を含めた範囲 (5cm¹⁾ ~∞) でのフォーカス操作が可能になります。

この動作は、フォーカス調整モードがオート/マニュアルに関わらず有効です。
マクロ領域では、オートフォーカスの動作速度が遅くなります。

1)ワイド (広角) 端時

4 絞りリング

マニュアルで絞りを調整するとき、IRISスイッチをM (マニュアル) 側に切り換えてから、このリングを回します。

5 ズームリング

マニュアルでズームを調整するとき、ZOOMスイッチをMANUAL側に切り換えてから、このリングを回します。

6 フォーカスリング

フォーカスを調整するとき、このリングを回します。

このリングは、双方向にエンドレスで回転します。速く回転させるほどフォーカス動作が速くなり、少ない回転量でフォーカスが合うように設計されています。

フォーカスリングを後方 (本体側) に引くと、常にマニュアルでフォーカスを合わせ

るFull MFモードになります（65ページ参照）。

7 フランジバック調整ボタン

フランジバック（レンズ取り付け面から結像面までの距離）を調整するとき押します（48ページ参照）。

8 ズームコントロール端子（8ピン）

別売のズームサーボコントローラーを接続することによって、ズームの遠隔操作が可能です。

9 ZOOM（ズーム操作モード）スイッチ SERVO（サーボ）：電動ズームを選択します。電動ズームレバーを使って操作します。

MANUAL（マニュアル）：手動ズームを選択します。ズームリングを使って操作します。

10 PUSH AUTO（インスタント自動絞り）ボタン

IRISスイッチをM側にして絞りを手動で調整している間に一時的に自動調整を行いたいとき、このボタンを押します。ボタンを押している間、絞りが自動調整されます。

11 IRIS（絞り調整モード選択）スイッチ A（オート）：絞りが自動調整されます。

M（マニュアル）：絞りリングで絞りを調整します。

12 電動ズームレバー

ZOOMスイッチがSERVO側に設定されているとき、有効です。広角にしたいときW（ワイド）側を、望遠にしたいときT（テレ）側を押します。

レバーを深く押すとズーム速度が早くなり、浅く押すと遅くなります。

オートフォーカスについてのご注意

- 以下のような場合、被写体にフォーカスが合いにくいことがあります。このような場合は、マニュアル操作でフォーカスを合わせてください。

- 被写体にコントラストがないとき
- 被写体の動きが速いとき
- 街灯や夜景などの点光源を撮影するとき
- 被写体の近くに極端に明るいものがあるとき
- ガラス窓越しに撮影するとき
- 画面内に遠いものと近いものが複数あるときは、意図しない被写体にフォーカスが合う場合があります。この場合は、フォーカスを合わせたい被写体を画面中央に映し、PUSH AFボタンを押してください。
- PUSH AFボタンでフォーカスを合わせた後、ズーム操作や絞り調整を行うと、被写界深度が浅くなることによってフォーカスが甘くなる場合があります。この場合は、もう一度PUSH AFボタンを押して、フォーカスを合わせ直してください。
- ワイド（広角）側でフォーカスを合わせてテレ（望遠）側にズームすると、フォーカスが合わない場合があります。
- スローシャッターモード使用中は、フォーカスが合うまでに時間がかかることがあります。

ズームスピードについてのご注意

撮影距離によっては、テレ（望遠）側にズームしていくうちにズームスピードが低下する場合があります。

13 RET（リターンビデオ）ボタン

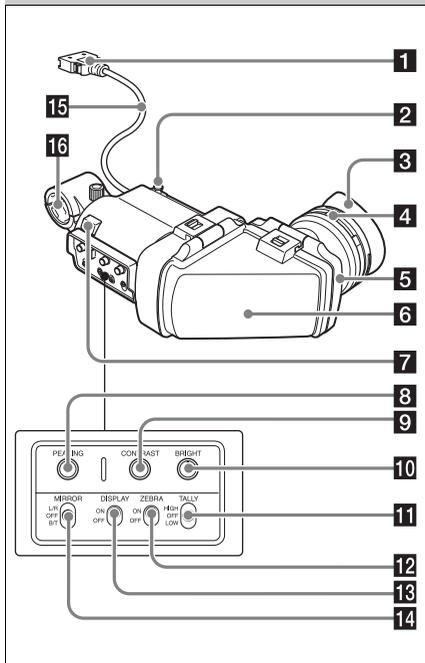
アサイナブルスイッチとして、機能を割り当てて使用することができます（149ページ参照）。

「Lens RET」が割り当てられているときは（工場出荷時）、記録一時停止中に押すと、記録した最後の数秒間をビューファインダーでみる（レックレビューする）ことができます（78ページ参照）。

また、記録／再生中に押す（クリックする）とショットマーク1が、すばやく2回押す（ダブルクリックする）とショットマーク2が記録されます（80ページ参照）。

14 VTRボタン

記録の開始／停止に使用します。一度押すと記録が始まり、もう一度押すと停止します。

ビューファインダー**1 コネクター**

本機のVF端子（26ピン）に接続します。

2 スライドストッパー

ビューファインダーを本機に取り付けて左右にスライドさせるとき、ビューファインダーが本機からはずれのを防ぎます。

3 アイカッパ**4 視度調整リング**

画面の映像が最もはっきり見えるように、このリングを回して視度を調整します。

5 アイピース部

使用状況に応じて、跳ね上げることができます。

6 VF筒部

使用状況に応じて、跳ね上げたり、回転させたりすることができます。

7 タリーランプ

本機のREC STARTボタン、レンズのVTRボタン、またはリモートコントロールユニットのVTRボタンを押して、記録が始まると点灯します。
異常発生時は、点滅して警告表示を行います。

8 PEAKING（ピーキング調整）つまみ

時計方向に回すと、画面の映像の輪郭が強調され、レンズのフォーカス合わせが容易になります。本機の出力信号には影響しません。

9 CONTRAST（コントラスト調整）つまみ

画面のコントラストを調整します。本機の出力信号には影響しません。

10 BRIGHT（明るさ調整）つまみ

画面の明るさを調整します。本機の出力信号には影響しません。

11 TALLY（タリー）スイッチ

ビューファインダー前面のタリーランプをコントロールします。

HIGH：タリーランプが明るくなる
OFF：タリーランプが機能しなくなる
LOW：タリーランプが暗くなる

12 ZEBRA（ゼブラパターン）スイッチ

ゼブラパターンの表示をコントロールします。

ON：ゼブラパターンを表示する
OFF：ゼブラパターンを表示しない

13 DISPLAY（ディスプレイ）スイッチ

文字情報の表示をコントロールします。

ON：文字情報を表示する
OFF：文字情報を表示しない

14 MIRROR (反転) スイッチ

VF筒部を跳ね上げたり、回転させたりして画像が左右または上下に反転しているときに使用します。

L/R : 画像を左右に反転させる

OFF : 画像を反転させない

B/T : 画像を上下に反転させる

15 ビューファインダーケーブル**16 マイクホルダー**

画面表示

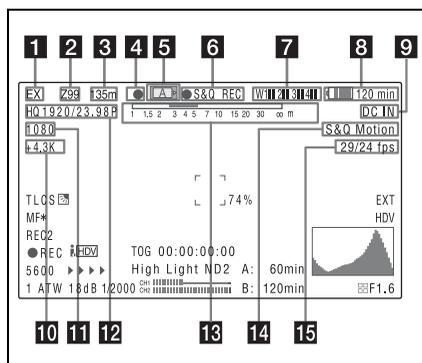
ビューファインダー画面には、映像のほかには本機の設定や動作の状態を示す文字やメッセージ、センターマーカ、セーフティゾーンマーカなどが表示されます。セットアップメニューを表示していない状態で、DISPLAYスイッチがONに設定されているとき、画面の上端と下端に表示される内容は、OPERATIONメニューのSuper Imposeの設定や、関連するスイッチでの設定に連動しています。

また、設定変更時は注意メッセージを3秒間、調整経過中は実行中を示すメッセージ、調整完了後はその内容や結果を知らせるメッセージを3秒間表示します。

これらの表示はビューファインダーだけでなく、メニュー設定により、ビデオ出力することもできます。

表示できる項目は、次図のように配置されています。

画面上部



1 エクステンダー表示

本機のデジタルエクステンダー機能（別売のCBK-CE01装着時）およびレンズのエクステンダー機能の設定状態が表示されます。

EX：レンズのエクステンダーがONのとき

08：レンズのシュリンカーがONのとき

x2D：本機のデジタルエクステンダー機能がONのとき

Ex2D：レンズのエクステンダーおよび本機のデジタルエクステンダー機能の両方がONのとき

デジタルエクステンダーはDigital Extender機能を割り付けたアサイナブルスイッチでオン/オフします。

2 ズームポジション表示（シリアルレンズ装着時のみ）

ズームレンズのズームポジションが0～99の範囲で表示されます。

3 フォーカスポジション表示（シリアルレンズ装着時のみ）

フォーカスポジションが、被写体までの距離（単位：m）で表示されます。

4 グリーンタリー表示

本機が次の状態のときに表示されます。

- メニューのMAINTENANCE >Camera Config >HD-SDI Remote I/FがG-Tallyに設定されており、HD/SD SDI OUT端子から記録の制御信号が出力されているとき
- グリーンタリー信号を受信したとき（本機にカメラアダプターを取り付けて、カメラエクステンションユニットと接続している場合）

5 メディア状態表示

アクティブなメディアのスロット名（AまたはB）が表示されます。

6 記録モード／動作状態表示

本機の記録モードと動作状態が以下のように表示されます。

表示	意味
●REC	記録中

表示	意味
STBY	記録待機中
●CACHE	ピクチャーキャッシュモードで記録待機中
●INT REC	インターバルレックモードで記録中
●INT STBY	インターバルレックモードで次の記録開始待ち
INT STBY	インターバルレックモードで記録待機中
●FRM REC	フレームレックモードで記録中
●FRM STBY	フレームレックモードで次の記録開始待ち
FRM STBY	フレームレックモードで記録待機中
●S&Q REC	スロー&クイックモーションモードで記録中
S&Q STBY	スロー&クイックモーションモードで記録待機中
●CALL	外部接続機器からのコール時
▶REVIEW	レックレビュー中

7 ワイヤレスレシーバー受信レベル表示

本機にスロットインレシーバーが装着されているとき「W」が表示され、レシーバーが使用できるチャンネル数（1ch、2ch、または4ch）に応じて、各チャンネルの受信レベルが4つのセグメントからなるインジケータで次のように表示されます。

通常：白色セグメントの表示数で受信レベルの強度を示す

アナログレシーバーのミュート時／デジタルレシーバーのエラーレート悪化時：灰色セグメントの表示数で受信レベルの強度を示す

受信レベルがピークを越えたとき：インジケータの代わりに「P」と表示される¹⁾

送信機のバッテリー消費時：該当するチャンネル番号とインジケータが減速する¹⁾

¹⁾別売のDWR-S01D使用時のみ

8 バッテリー残量／電圧表示

本機を駆動している電源の種類に応じて以下のように表示されます。

電源の種類	表示
インフォバッテリー	バッテリー残量アイコンと記録可能な残り時間
アンソンパワー アー社製バッテリー	バッテリー残量(%表示)
その他の電源	入力電圧

9 外部電源入力表示

DC IN端子に接続した外部電源から電源が供給されると表示されます。

10 色温度表示

R/Bのゲインから計算された色温度が1.5K～50.0Kの範囲(0.1K刻み)で表示されます。また、Offset Whiteの設定(124ページ参照)によって、+/-が表示されます。

表示なし: Offset WhiteがOFF

+ : Offset Whiteの設定値が3200Kより大きいとき

- : Offset Whiteの設定値が3200Kより小さいとき

11 システムライン数表示

記録中または再生中の映像のシステムライン数(1080/720/576/480)が表示されます。

12 ビデオフォーマット表示

記録中または再生中のビデオフォーマットが表示されます(56ページ参照)。ビデオフォーマットがDVCAMIに設定されているときは、映像のアスペクト比(16:9/4:3)を表示することもできます。

13 被写界深度表示(シリアルレンズ装着時のみ)

エラー/警告表示

被写界深度がバーで表示されます。表示の単位は、メニューのOPERATION > Display On/Off > Lens Infoの設定により、メートルまたはフィートを選択できます。エラーまたは警告が発生すると、このエリアにメッセージが表示されます。

このエリアの下に、次に記録されるクリップの名前を表示することもできます(125ページ参照)。

14 特殊記録モード表示

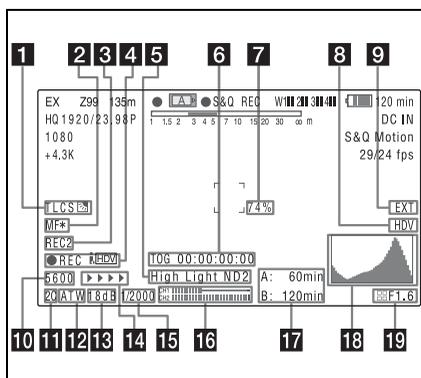
本機が特殊記録モードのときに表示されます。

- Frame Rec (フレームレックモード)
- Interval Rec (インターバルレックモード)
- S&Q Motion (スロー&クイックモーションモード)

15 特殊記録モードの設定表示

本機が特殊記録モードのとき、その設定内容が表示されます。

画面下部



1 TLCS制御モード表示

TLCS(トータルレベルコントロールシステム)による映像レベルの制御モードがアイコンで表示されます。

アイコン	TLCSの制御モード
	バックライトモード
	標準モード
	スポットライトモード

2 フォーカスモード表示（オートフォーカスレンズ装着時のみ）

本機のフォーカス調整モードが表示されません。

- AF（オートフォーカス）
- MF（マニュアルフォーカス）
- MF*（マニュアルフォーカス、MFアシスト機能がON）
- Full MF（フルマニュアルフォーカス）

3 外部機器制御表示

メニューのMAINTENANCE > Camera Config > HD-SDI Remote I/FがCharaに設定されており、HD/SD SDI OUT端子から記録の制御信号が出力されているとき、「REC2」と表示されます。

4 i.LINK接続機器の動作状態表示

i.LINK（HDV/DV）端子に接続した機器の種類（HDVまたはDV）と、その動作状態が以下のように表示されます。

表示	意味
●REC  HDV	HDV記録中
STBY  HDV	HDV記録待機中
●REC  DV	DV記録中
STBY  DV	DV記録待機中

5 映像レベル注意表示

映像レベルが高すぎるときや低すぎるときに、適切なNDフィルターの番号を注意表示します。

6 タイムコード表示 注意表示

DISPLAYスイッチ（25ページ参照）の設定に応じて、記録・再生経過時間、タイムコード、ユーザービットなどが表示されます。

設定を変更するときなど、注意を要するとき、このエリアに注意メッセージが表示されます。

7 輝度レベル表示

検出枠内の輝度レベルの平均値が%で表示されます。

8 外部入力ソース表示

外部入力信号を記録するとき、信号の種類（HDV）が表示されます。

9 外部入力設定表示

外部入力信号を記録するとき、「EXT」と表示されます。

10 電気色温度フィルター表示

CC5600K機能がオンのとき表示されます。

11 フィルター表示

現在選択されているNDフィルターのポジション番号が表示されます（20ページ参照）。

Electrical CCをアサイナブルスイッチに割り当てているときは、前ページの図のように、NDフィルター表示（1～4）の右側に電氣的CCフィルターのポジション（A/B/C/D）が表示されます。

12 ホワイトバランスメモリー表示

現在選択されているホワイトバランスの自動調整メモリーが表示されます。

ATW：ATW（自動追尾ホワイトバランス）モード

W:A：メモリー Aモード

W:B：メモリー Bモード

W:P：プリセットモード

3200：Color Temp SW 3200Kを割り当てたアサイナブルスイッチがオンのとき

4300：Color Temp SW 4300Kを割り当てたアサイナブルスイッチがオンのとき

5600：Color Temp SW 5600Kを割り当てたアサイナブルスイッチがオンのとき

6300：Color Temp SW 6300Kを割り当てたアサイナブルスイッチがオンのとき

13 ゲイン値表示

GAINスイッチによる映像アンプのゲイン設定値（dB）が表示されます。

14 記録状況表示

OperationメニューのRec Status IndicatorがOnに設定されているとき、記録の進行に伴って▶が表示されます。

15 シャッター表示

シャッタースピードまたはシャッターモードが表示されます。

◆「電子シャッターの設定」(61ページ)

16 オーディオレベルメーター

音声チャンネル1、2のレベルが表示されます。

17 メディア残量表示

現在設定されているビデオフォーマット(記録ビットレート)で撮影した場合に記録可能な時間が、スロットごとに分単位で表示されます。記録メディアがプロテクトされているときは、ロックマークが表示されます。

18 ヒストグラム表示

映像の明るさのピクセル分布がグラフ表示されます(HDモードのみ)。

19 アイリスポジション表示(レンズ装着時のみ)

アイリスポジション、およびアイリスオーバーライド(絞りの基準値)の設定状態(63ページ参照)が表示されます。

アイリスオーバーライドの設定状態は、4つのセグメントからなるインジケーターで次のように表示されます。

基準値	インジケーター
+0.25	■ 左側下の灰色セグメントが点灯
+0.5	■ ■ 左側上下の灰色セグメントが点灯
+0.75	■ ■ ■ 左側上下と右側下の灰色セグメントが点灯
+1	■ ■ ■ ■ 灰色セグメントがすべて点灯
-0.25	□ 左側下の白色セグメントが点灯

基準値	インジケーター
-0.5	□ □ 左側上下の白色セグメントが点灯
-0.75	□ □ □ 左側上下と右側下の白色セグメントが点灯
-1	□ □ □ □ 白色セグメントがすべて点灯

電源の準備

安全のため、下記ソニー純正以外のバッテリーおよびAC電源を使用しないでください。

- リチウムイオンバッテリーパック：BP-L80S
- ACアダプター：AC-DN2B、AC-DN10

バッテリーパックを使用する

バッテリーパックBP-L80Sを使った場合、連続記録での動作時間は約285分です。

警告

直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

ご注意

バッテリーパックの動作時間は、バッテリーパックの使用頻度や使用時の周囲温度によって変化します。

ご使用になる前に、各バッテリーパックに適したバッテリーチャージャーで充電してください。

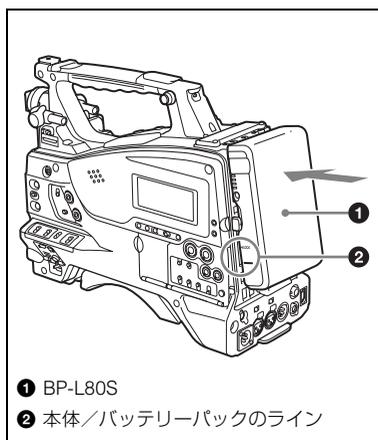
- ◆ 充電方法について詳しくは、バッテリーチャージャーの取扱説明書をご覧ください。

バッテリーパック使用上のご注意

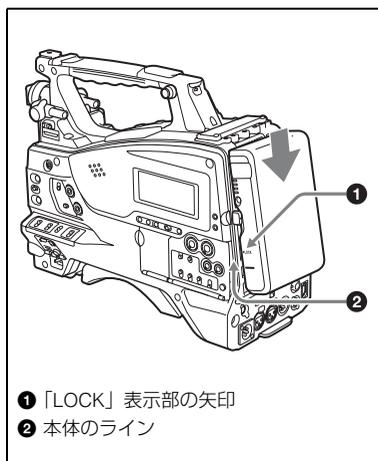
使用直後、バッテリーパックの温度が上昇した状態で充電すると、完全に充電されないことがあります。

バッテリーパックを取り付けるには

- 1 バッテリーパックの側面のラインを本体のラインに合わせて、バッテリーパックを本体の後面に押し当てる。



- 2 バッテリーパックを押し下げて、バッテリーパックの「LOCK」表示部の矢印を本体のラインに合わせる。

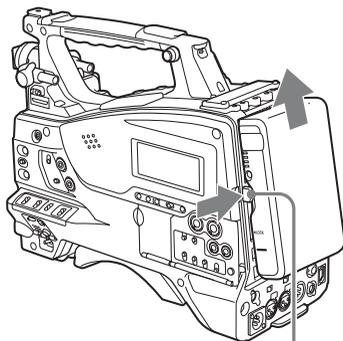


ご注意

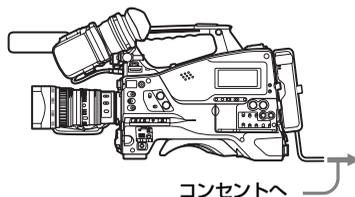
バッテリーパックは、正しく取り付けないと端子を破損することがあります。

バッテリーパックを取りはずすには

解除ボタンを押し込んだままバッテリーパックを押し上げます。



解除ボタン

**ご注意**

- 記録・再生が行われているときは（右側面のACCESSランプが青で点灯、カードスロット部のACCESSランプがオレンジで点灯）、絶対にバッテリーパックを抜かないでください。
- バッテリーは、必ず本機の電源をオフにしてから交換してください。

AC電源を使用する

ACアダプター AC-DN2B/DN10をバッテリーと同様に本体に装着し、AC電源に接続します。

AC-DN2B/DN10は最大100Wまでの電源を供給できます。

ビューファインダーの取り付け

⚠ 注意

ビューファインダーを取り付けたあと、接眼レンズを太陽に向けて放置しないでください。太陽光が接眼レンズを通して焦点を結び、火災の原因になることがあります。

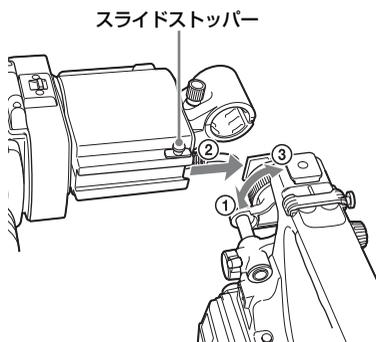
付属のビューファインダーを取り付ける

ご注意

ビューファインダーを取り付けるときは、以下の点にご注意ください。

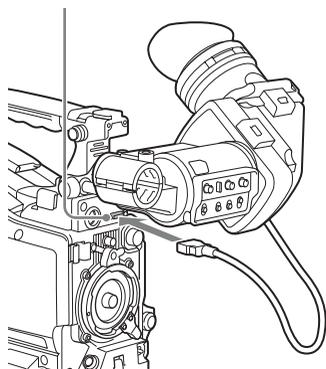
- 必ず本機の電源をオフにしてから、ビューファインダーコネクターを本機のVF端子（26ピン）に差し込んでください。電源がオンの状態でコネクターを差し込むと、ビューファインダーが正常に動作しないことがあります。
- ビューファインダーコネクターを本機のVF端子（26ピン）の奥まで確実に差し込んでください。コネクターが確実に接続されていないと、画像が乱れたり、タリランプが正常に点灯しないことがあります。

- ①左右位置固定リングをゆるめる。②ビューファインダー取り付けシューにビューファインダーを取り付け、③左右位置固定リングを締める。



- 2 ビューファインダーコネクターをVF端子（26ピン）に接続する。

VF端子（26ピン）



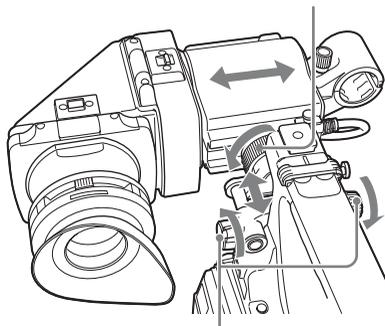
ビューファインダーを取りはずすには

取り付けと逆の手順で行います。ただし、ビューファインダーを取り付けシューから取りはずすときに、スライドストッパーを引き上げてください（41ページ参照）。

位置を調整する

左右位置を調整するときはビューファインダー左右位置固定リングを、前後位置を調整するときはビューファインダー前後位置LOCKつまみを、それぞれゆるめます。

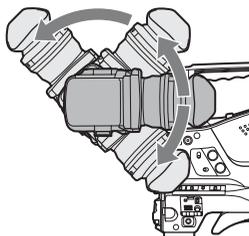
ビューファインダー左右位置固定リング



ビューファインダー前後位置LOCKつまみ

角度を調整する

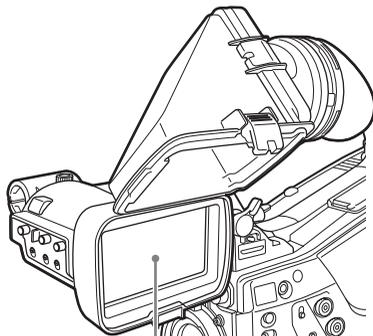
ビューファインダーの角度を調整します。



画像／文字表示を上下反転させるにはビューファインダーは、被写体側からみることもできるように180°回転します。この場合、ビューファインダー画面上の画像や文字表示の上下が逆になります。ビューファインダー背面のMIRRORスイッチをB/Tにすると、画像や文字表示の上下を反転させて、通常の状態に戻すことができます。

VF筒部／アイピース部を跳ね上げる

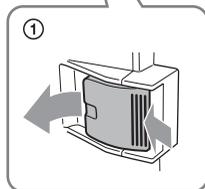
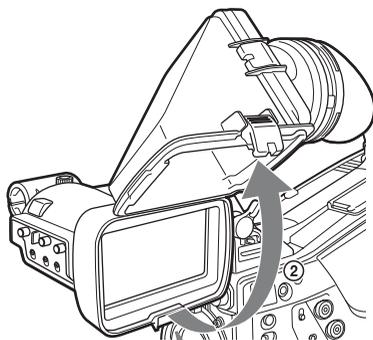
VF筒部／アイピース部を跳ね上げると、内部のLCD画面またはその鏡像をみることができます。ここでは、VF筒部の跳ね上げ／取りはずしについて説明します。アイピース部も同様に跳ね上げたり、取りはずしたりすることができます。



LCD画面

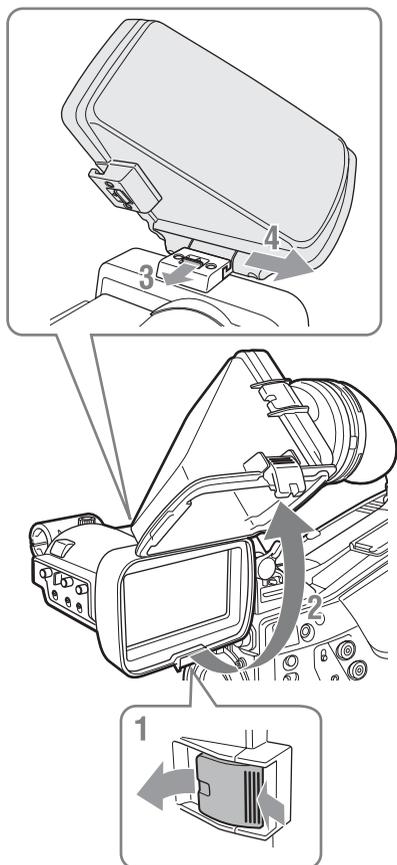
跳ね上げるには

底のクリップを押してはずし①、上に開きます②。120°開いた位置でロックします。



通常はロック位置で使用してください。ロック位置からさらに開くこともできますが、再度120°の位置でロックしたい場合は、いったん元の閉じた位置まで戻してから開き直してください。

取りはずすには



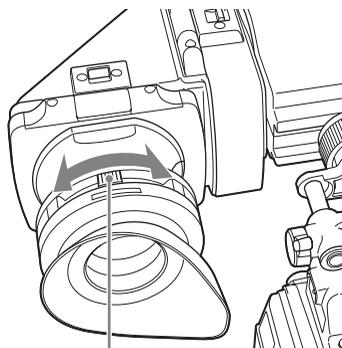
- 1 底のクリップを押してはずす。
- 2 VF筒部を上げる。
- 3 上のボタンをVF筒部と反対の方向にスライドさせてロックをはずす。
- 4 VF筒部を水平にスライドさせて取りはずす。

画像／文字表示を左右反転させるには
ビューファインダー背面のMIRRORスイッチをL/Rにすると、ビューファインダー画面上の画像や文字表示の左右を反転させることができます。

視度と画面を調整する

視度を調整するには

視度調整リングを回して、ビューファインダー内の画像がはっきり見えるように調整します。



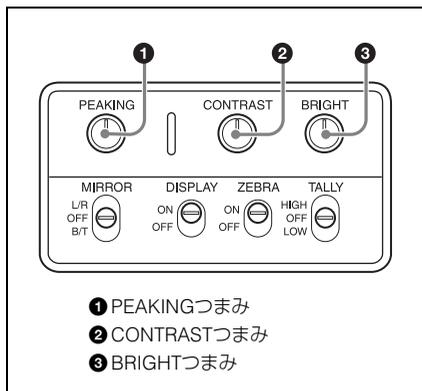
視度調整リング

市販の口径52 mmのプロテクトフィルターやクローズアップレンズなどを取り付けることができます。

画面を調整するには

ビューファインダー画面の状態を、次の項目について調整できます。

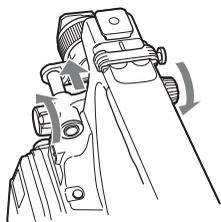
- 輪郭：PEAKINGつまみで調整する。
- 濃淡：CONTRASTつまみで調整する。
- 明るさ：BRIGHTつまみで調整する。



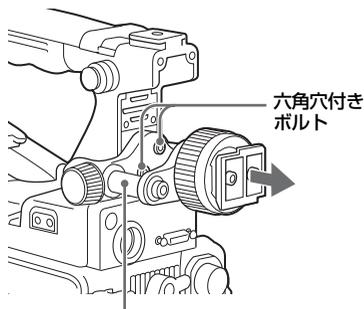
ビューファインダー回転収納機構BKW-401を取り付ける

ビューファインダー回転収納機構BKW-401（別売）を取り付けると、ビューファインダーを垂直位置まで回転させることができます。ビューファインダーをこの位置にしておけば、本機のグリップを持ったときにビューファインダーが脚に当たらないため、速やかに移動できます。

- 1 ビューファインダー前後位置固定レバーとビューファインダー前後位置LOCKつまみをゆるめ、ビューファインダースライドAssyを手前に引き出す。

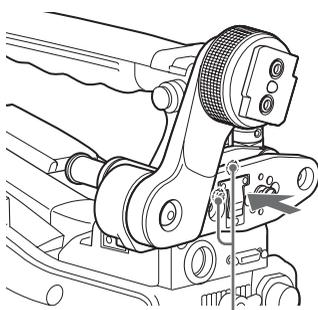


- 2 対辺2.5ミリの六角レンチを使用して、ビューファインダースライドAssyを取りはずす。



ビューファインダースライドAssy

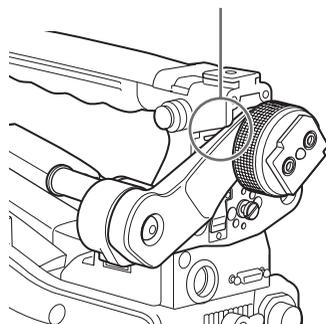
- 3 BKW-401を付属のボルトで取り付ける。



BKW-401に付属のボルト

- 4 BKW-401のアームを跳ね上げたとき、ハンドルと干渉しないように前後位置を調整する。

ハンドルと干渉しない位置に調整する



5型エレクトロニックビューファインダーを取り付ける

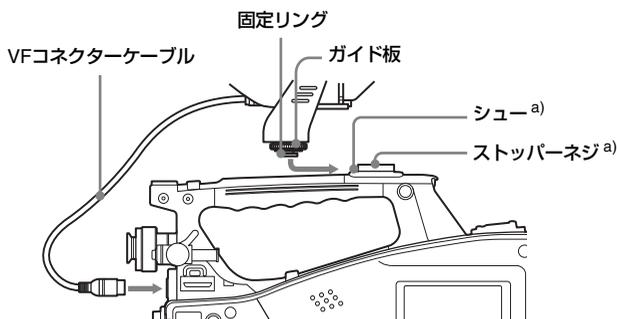
別売のエレクトロニックビューファインダー DXF-51またはDXF-C50W（5型）を取り付けることができます。取り付けにはアクセサリシューキット（サービスパーツ番号：A-8274-968-B）が必要です。

◆詳しくは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

ご注意

付属のビューファインダーと5型ビューファインダーを同時に使用することはできません。

取っ手上部のカバーをはずして、アクセサリシューキットのシューとストッパーネジを取り付けます。



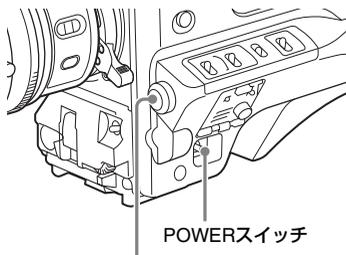
a)アクセサリシューキットに付属

使用地域の設定

本機を初めて使用するとき

本機は、使用地域が未設定の状態出荷されています。したがって、本機をご使用になるには、初めに使用地域を設定する必要があります。(使用地域を設定しないと、本機を使用することはできません。)

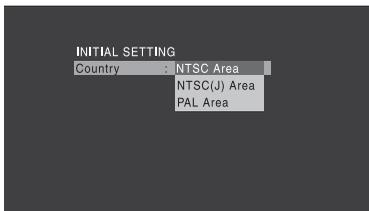
使用地域を設定するには



- 1 POWERスイッチをONにする。
ビューファインダーに使用地域の設定画面が表示されます。



- 2 MENUつまみを押す。
選択可能な使用地域の設定値が表示されます。



- 3 MENUつまみを回して、希望の使用地域を選択する。

設定値	使用地域
NTSC Area	NTSC地域 (日本以外の地域向け) ^{a)}
NTSC(J) Area	NTSC地域 (日本国内向け) ^{b)}
PAL Area	PAL地域 ^{c)}

- a) 本機から出力されるコンポジット信号は Setup (7.5IRE) が付いたNTSC信号。システム周波数は59.94i
- b) 本機から出力されるコンポジット信号は SetupがないNTSC信号。システム周波数は59.94i
- c) 本機から出力されるコンポジット信号は PAL信号。システム周波数は50i

- 4 以下の項目を設定する。
 - Time Zone (タイムゾーン)
 - Date/Time (日付/時刻)
 - ◆ 「セットアップメニューの基本操作」 (112ページ)
- 5 MENUつまみを回して「Finish」を選択し、つまみを押す。
本機が使用できる状態になります。

内蔵時計の日付と時刻の設定

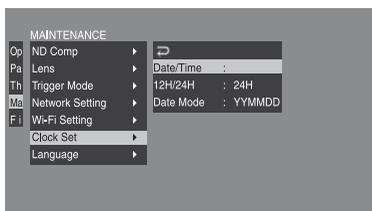
設定を取り消すには

上記の手順5の操作を行う前にMENU CANCEL/PRST/CANCEL/PRSTスイッチをCANCEL/PRST側に押し上げます。

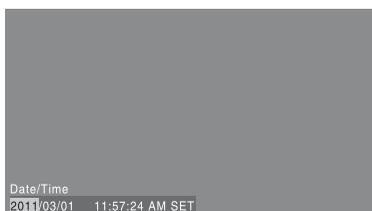
内蔵時計の年、月、日、および時刻を設定します。ここで合わせた時刻がタイムコードに実時刻として反映されます。

◆メニューの操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」（112ページ）

- 1 メニューのMAINTENANCE >Clock Set >Date/Timeを選択する。



- 2 MENUつまみを押す。
Date/Time画面が表示されます。



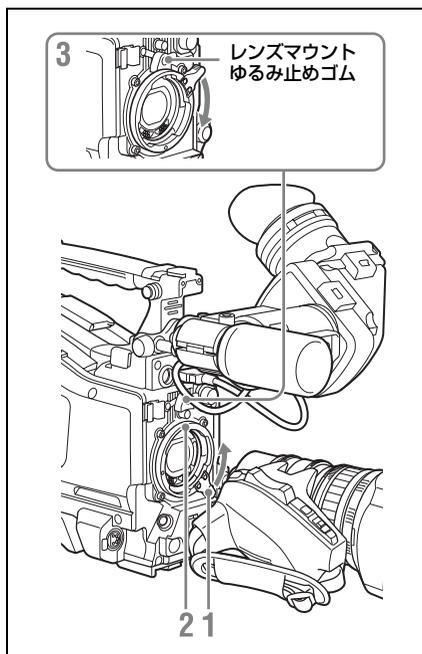
- 3 MENUつまみを回して希望の値を表示させ、つまみを押す。
右隣の項目に選択が移動します。
- 4 手順3を繰り返して残りの設定を行う。
- 5 「SET」が選択された状態でMENUつまみを押す。
手順3、4で設定した日付、時刻が内蔵時計に反映されます。

レンズの取り付けと調整

ご注意

レンズの取り付け／取りはずしは、必ず電源をオフにしてから行ってください。

◆レンズの取り扱いについては、レンズの取扱説明書をご覧ください。



- 1 レンズ固定レバーを押し上げて、レンズマウントからレンズマウントキャップをはずす。
- 2 レンズマウント上部中央の凹部にレンズのセンターピンを合わせ、レンズをマウントに差し込む。
- 3 レンズを支えながら、レンズ固定レバーを押し下げてレンズを固定する。

⚠ 注意

レンズがしっかり固定されていないと、本機の使用中にレンズがはずれて、大きな事故につながる可能性があります。レンズが固定されているか十分に確認してください。前図のように、レンズマウントゆるみ止めゴムをはめ込んで使用することをおすすめします。

収差補正対応レンズを取り付けたときは

自動的に収差補正機能が働きます。本機の起動時にデータ読み込みを行うため、起動に時間がかかることがあります。

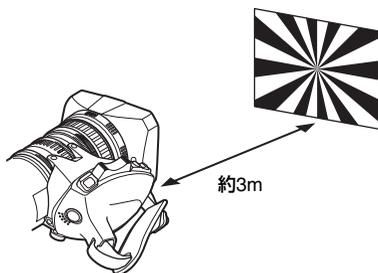
PMW-320Kに付属のレンズは収差補正対応レンズです。その他の収差補正対応レンズについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

フランジバックの調整

ズーム操作の際に望遠・広角の両方でフォーカスがきちんと合わない場合は、フランジバック（レンズ取り付け面から結像面までの距離）の調整を行います。

一度調整すれば、レンズを交換しない限り再調整の必要はありません。

調整を行うときは、付属のフランジバック調整用チャートを被写体として使用してください。



ご注意

- コントラストの不鮮明な被写体を使用したり、調整中に本機や被写体を動かすと、調整がエラーになりますので、ご注意ください。

- テレ端では画面中央になるように被写体（フランジバック調整用チャート）を置いてください。ワイド端では被写体よりもカムコーダーとの距離が近いものが画面内に入らないようにしてください。

調整する

オートフォーカスレンズを使用する場合

PMW-320Kに付属のレンズでは、自動的にズームとフォーカスを操作してフランジバックを調整します。

- 1 絞りを開き、付属のフランジバック調整用チャートを約3m離れた位置に置き、適正な映像出力が得られるように照明する。
- 2 ZOOMスイッチをSERVO側にする（電動ズームモード）。
- 3 フランジバック調整ボタンを3秒間押し続ける。
フランジバック調整が始まります。

調整中は

ビューファインダーには、メッセージ「AUTO Adjust EXECUTING」が表示されます。

調整が正常に終了すると

ビューファインダーのメッセージが「Auto FB Adjust: OK」に変わります。

フランジバック調整が正しく行われなかった場合は

被写体や照明の状態を確認して、調整をもう一度やり直してください。

オートフォーカスレンズ以外のレンズを使用する場合

- 1 レンズの絞りを手動にする。
- 2 絞りを開き、付属のフランジバック調整用チャートを約3m離れた位置に置き、適正な映像出力が得られるように照明する。

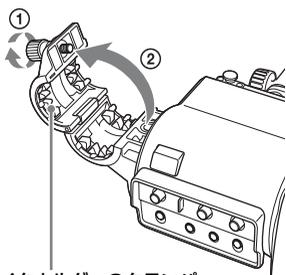
- 3 F.fまたはF.B（フランジバック調整）リング固定ネジをゆるめる。
- 4 手動または電動でズームリングを望遠位置にする。
- 5 フランジバック調整用チャートを写し、フォーカスリングを回して焦点を合わせる。
- 6 ズームリングを広角位置にする。
- 7 F.fまたはF.Bリングを回し、チャートに焦点を合わせる。このときフォーカスリングは動かさないように注意する。
- 8 望遠と広角の両方で焦点が合うようになるまで、手順4～7の操作を繰り返す。
- 9 F.fまたはF.Bリング固定ネジをしっかり締める。

音声入力の準備

MIC IN端子にマイクロホンを接続する

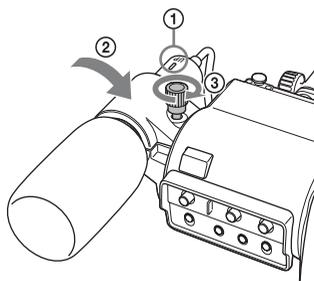
付属のビューファインダーのマイクホルダーに付属のステレオマイクロホンを取り付けます。

- 1 ネジをゆるめて (①) マイクホルダーのクランパーを開く (②)。



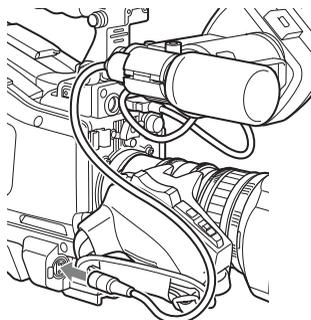
マイクホルダーのクランパー

- 2 マイクロホンを実機にマイクホルダーに取り付ける。
 - ①「UP」の文字を上に向けてマイクを入れる。
 - ②マイクホルダーを閉める。
 - ③ネジを締める。



- 3 マイクケーブルをMIC IN端子に接続し、このマイクロホンの音声を記録

したいチャンネルのAUDIO IN CH1/CH2/CH3/CH4スイッチをFRONTに設定する。



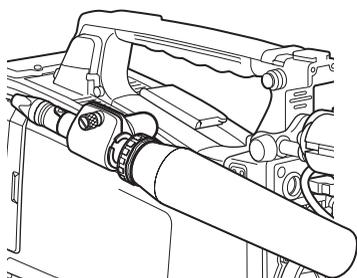
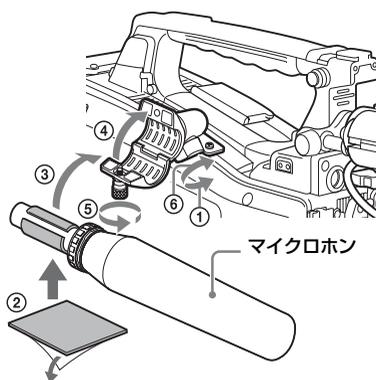
- 4 マイクケーブルをケーブルクランプに固定する。

AUDIO IN端子にマイクロホンを接続する

マイクホルダー CAC-12 (別売) でAUDIO IN CH-1/CH-2端子に、モノラルのマイクロホン2本まで接続できます。ここでは、エレクトレットコンデンサーマイクロホンECM-674/678などを取り付けるときの例を説明します。

◆CAC-12の取り付けかたについて詳しくは、CAC-12の取扱説明書をご覧ください。

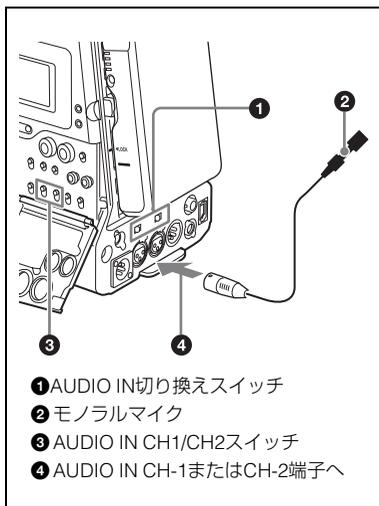
- 1 エレクトレットコンデンサーマイクロホンを取り付ける。
 - ①ボールジョイント固定レバーをゆるめておく。
 - ②マイクスペーサー (シートタイプ、マイクロホンに付属) を、両面に貼ってある保護シートをはがしてからマイクロホンに巻く。
 - ③「UP」の文字を上に向けてマイクを入れる。
 - ④マイクホルダーを閉める。
 - ⑤ネジを締める。
 - ⑥マイクロホンがビューファインダーと干渉しない位置でボールジョイント固定レバーを締める。



2 マイックケーブルを本機のAUDIO IN CH-1またはCH-2端子に接続する。

3 スイッチを以下のように設定する。

- 使用するマイクロホンによって、AUDIO IN入力切り換えスイッチを、以下のように設定する。
内部電源供給式マイクロホンを使用する場合：MIC
外部電源供給式マイクロホンを使用する場合：+48V
- マイクロホンを接続したチャンネルに該当するAUDIO IN CH1/CH2スイッチをREARに設定する。



- ① AUDIO IN切り換えスイッチ
- ② モノラルマイク
- ③ AUDIO IN CH1/CH2スイッチ
- ④ AUDIO IN CH-1またはCH-2端子へ

4 使用するマイクロホンの感度に合わせて、入力レベルを切り換える。

- ◆ 入力レベルの切り換えは、メニューの MAINTENANCE > Audio > Rear MIC > CH1/CH2 Refの設定値（工場出荷時は -60dB）を変更することによって行います。詳しくは、134 ページをご覧ください。

ご注意

- マイクロホンの感度に対して本機の入力レベルが適切に設定されていない場合、音が大きく歪んだり、S/Nが悪化することがあります。
- 本機のAUDIO IN CH-1またはCH-2端子は、ファントム方式の48V電源を供給できるようにするため、凹のXLRコネクタ（3ピン）を装備しています。マイクケーブルのコネクタが凹の場合は、変換アダプターをご用意ください。
- マイクホルダーCAC-12をはずす場合は、取り付けに使ったネジ（手順1ではずしたネジ）を元の位置に必ず取り付けてください。

UHFポータブルチューナーを取り付ける（UHFワイヤレスマイクロホン使用時）

ソニー UHFワイヤレスマイクロホンシステムを使用するときは、本機の電源をオフに

してから次のいずれかのUHFポータブルチューナーを取り付けます。

- デジタルワイヤレスレシーバー DWR-S01D
- UHFシンセサイザーチューナーユニット WRR-855S
- UHFシンセサイザーダイバーシティチューナー WRR-860C/861/862
- ◆ UHFポータブルチューナーの取扱説明書も併せてご覧ください。

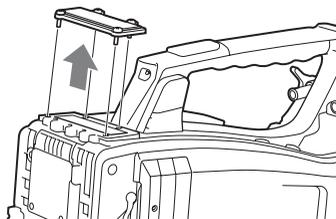
ご注意

WRR-862を取り付けるには、別売のWRR取り付け金具（サービスパーツ番号：A-8278-057-B）が必要です。

詳しくは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

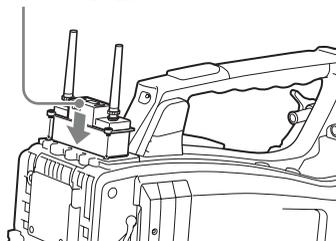
DWR-S01D/WRR-855Sを取り付けるには

- 1 挿入口のカバーを固定している4本のネジをゆるめ、カバーを取りはずす。



- 2 DWR-S01DまたはWRR-855Sを挿入し、4本のネジを締めて固定する。

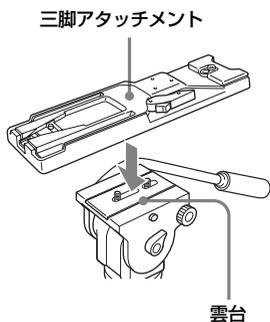
DWR-S01DまたはWRR-855S



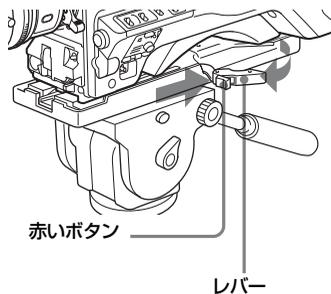
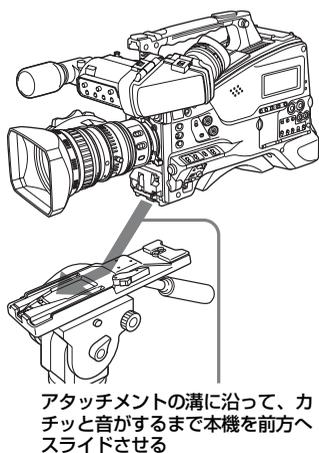
- 3 入力したいチャンネルのAUDIO INスイッチ（26ページ参照）をWIRELESSに設定する。

三脚への取り付け

- 1 三脚アタッチメントVCT-14/U14（別売）を雲台に取り付ける。



- 2 本機を三脚アタッチメントに取り付ける。



ご注意

本機を取りはずした後、三脚アタッチメントのピンが元の位置に戻らないときは、赤いボタンを押したままレバーを矢印の方向へ動かして、ピンを元の位置に戻します。ピンが残ったままでは、取り付けができません。

三脚アタッチメントから本機を取りはずすには

赤いボタンを押したまま、レバーを矢印の方向へ動かします。

ビデオライトの接続

本機には、アントンパワー社製のウルトラライト2または同等品のビデオライト（電源電圧12V、最大消費電力50W）を取り付けて使用できます。

- ビデオライトのコネクターを本機のLIGHT端子に接続した場合は、LIGHTスイッチをAUTO側に設定すると、本機のスタート/ストップに連動して、ライトを点灯/消灯できます。
- 本機のLIGHT端子は、入力電圧（DC入力またはバッテリー電圧）が12V以上の場合は12Vに安定化されるため、バッテリー電圧の変化によってライトの明るさや色温度が変化することはありません。

ご注意

- 消費電力が50Wより大きいビデオライトを接続しないでください。
- 入力電圧（DC入力またはバッテリー電圧）が12V以下になった場合は、入力電圧の変化によってライトの明るさや色温度が変化します。

ビデオライトを取り付けるには

ビデオライトを取っ手のアクセサリースューに取り付け、ビデオライトコネクターをLIGHT端子に接続します。

ご注意

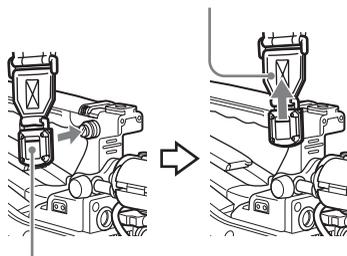
アクセサリースューは $\frac{1}{4}$ 型ネジタイプです。スライドシュータイプに変更する場合は、本機に付属のゴールドシューキットを使用してください。取り付け方法については、「Manuals for Solid-State Memory Camcorder」のCD-ROMに収録されているSupplement（サプリメント）の「外部ハードディスクを使う」をご覧ください。

ショルダーベルトの取り付け

ショルダーベルトを取り付けるには

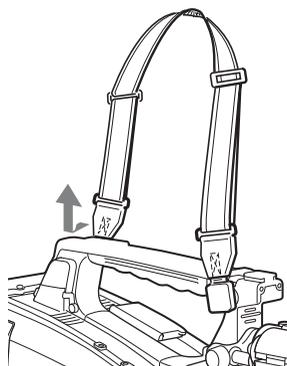
- 1 片方のクリップをショルダーベルト取り付け金具に取り付ける。

ベルトを上引っ張ってきちんと固定する



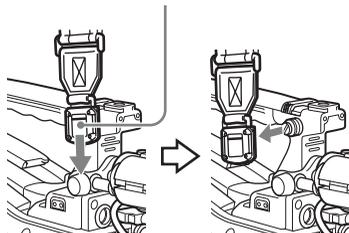
クリップ

- 2 同様にもう一方のクリップを、反対側のショルダーベルト取り付け金具に取り付ける。



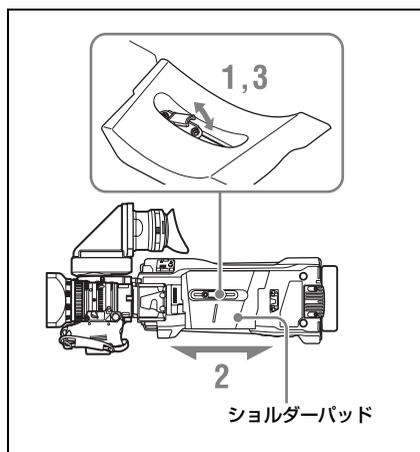
ショルダーベルトを取りはずすには

ここを押したまま矢印の方向へ引く



ショルダーパッドの位置調整

ショルダーパッドは、前後に40mmの範囲でスライドさせることができます。本機を肩にのせた状態で操作しやすくなるように、ショルダーパッドの位置を調整してください。



- 1 ショルダーパッドの中央のレバーを引き上げてロックをはずす。
- 2 前後方向にスライドして、適当な位置を選ぶ。
- 3 レバーを倒して固定する。

3章 撮影のための調整と設定

◆メニューの操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(112ページ)をご覧ください。

ビデオフォーマットの設定

ビデオ解像度やシステム周波数の組み合わせによって、以下のビデオフォーマットの設定が可能です。

メニューの OPERATION >Format の設定項目				ビデオフォーマット (記録フォーマット/システム周波数)	フレームサイズ			
HD/SD	HD System Line	Rec Format	System Frequency ^{a)}					
HD	1080	HQ 1920	59.94i	HQ 1920/59.94i	1920×1080			
			50i	HQ 1920/50i				
			29.97P	HQ 1920/29.97P				
			25P	HQ 1920/25P				
			23.98P	HQ 1920/23.98P				
		HQ 1440	59.94i	HQ 1440/59.94i	1440×1080			
			50i	HQ 1440/50i				
			29.97P	HQ 1440/29.97P				
			25P	HQ 1440/25P				
			23.98P	HQ 1440/23.98P				
		SP 1440	59.94i	SP 1440/59.94i				
			50i	SP 1440/50i				
			23.98P ^{b)}	SP 1440/23.98P				
			720	HQ 1280		59.94P	HQ 1280/59.94P	720×1280
						50P	HQ 1280/50P	
29.97P	HQ 1280/29.97P							
25P	HQ 1280/25P							
23.98P	HQ 1280/23.98P							
SD	—	DVCAM	59.94i	DVCAM/59.94i	720×480			
			50i	DVCAM/50i	720×576			
			29.97P ^{c)}	DVCAM/29.97P	720×480			
			25P ^{c)}	DVCAM/25P	720×576			

a) **59.94i/29.97P/59.94P/23.98P** : メニューの OPERATION >Format >CountryがNTSC Area/NTSC(J) Area に設定されているとき

50i/25P/50P : メニューの OPERATION >Format >CountryがPAL Areaに設定されているとき

b) 2-3プルダウン変換された59.94iで記録される

c) PsFで記録される

ビデオフォーマットを変更する

前記の表を参照し、該当する項目の設定値を変更します。

1 メニューのOPERATION >Formatを選択する（115ページ参照）。

OPERATION	
Op	Op
Pa	Format ▶ HD/SD : HD
Th	Format Media ▶ HD System Line : 1080
Ma	Input/Output ▶ System Frequency : 59.94i
Fi	Super impose ▶ Rec Format : HQ 1920
	Rec Function ▶ Aspect Ratio (SD) : 16:9
	Assignable SW ▶ Country : NTSC Area

2 MENUつまみを回して変更したい項目を選択し、つまみを押す。

3 MENUつまみを回して設定値を選択し、つまみを押す。

確認のメッセージが表示されます。

4 実行するには「Execute」を、中止するには「Cancel」を選択し、MENUつまみを押す。

5 HD/SDまたはCountryを変更したときは、本機の電源を入れ直す。

ブラックバランス／ホワイトバランスの調整

本機を使用し、常に高画質の映像を得るためには、状況に応じたブラックバランスとホワイトバランスの調整が必要です。

本機で自動調整される調整値や各設定値は、本機のメモリーに記憶され、電源を切っても保持されます。

ブラックバランスの調整

次のような場合に調整が必要です。

- 本機を初めて使用するとき
 - 長時間使用しなかった後に使用するとき
 - 周囲の温度が大幅に変化した状況で使用するとき
 - メニューのOPERATION >Gain SwitchでGAINスイッチ（L/M/H/Turbo）に設定しているゲイン値を変更したとき
- 通常は、電源を再び入れた場合でも調整し直す必要はありません。

ホワイトバランスの調整

照明条件が変わったときには、必ず調整し直してください。

ブラックバランスを調整する

ブラックバランスの自動調整は、ブラックセット、ブラックバランスの順に実行されます。ブラックバランスは、設定メニューの操作によって手動調整することもできます。

ご注意

以下の場合、ブラックバランスの自動調整ができません。

- 記録中
- 特殊記録モード（Picture Cache Rec、Interval Rec、Frame Rec、Slow & Quick）時

- シャッターモードがSLSモードの場合

- 1 OUTPUT/DCCスイッチをCAMにする。
- 2 AUTO W/B BALスイッチをBLACK側に押し、指を離す。
調整中は「Executing…」と表示され、「Done」に変われば終了です。
調整値は自動的にメモリーに記憶されます。

ご注意

- ブラックバランス調整中、絞りは自動的に遮光状態になります。
- ブラックバランス調整中、ゲイン切り換え回路が自動的に動き、ビューファインダー画面上にフリッカーが数回現れますが、故障ではありません。
- i.LINK出力中にブラックバランスを実行すると、i.LINK端子からの出力が一時的に停止します。ブラックバランスが終了するとi.LINK端子からの出力が再開されます。

ブラックバランスの自動調整ができないとき

ブラックバランスの調整が正常に終了しなかったときは、ビューファインダー画面上に約3秒間エラーメッセージが表示されます。表示されるエラーメッセージは次のとおりです。

エラーメッセージ	意味
NG: Iris Not Closed	レンズの絞りが閉らなかったため、調整できなかった。
NG: Timeout	規定された調整回数以内で調整が終了しなかった。
NG: Out of Range	現在値と基準値の差が大きく、調整範囲を超えていたため、調整できなかった。

上記のエラーメッセージが表示されたら、再度ブラックバランスの調整を試みてください。繰り返し調整を試みてもエラーメッセージが表示されるときは、内部点検をする必要があります。

- ◆ 内部点検については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

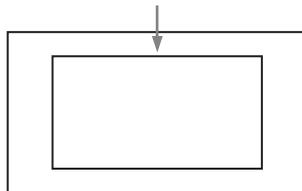
ご注意

レンズの接続ケーブルがLENS端子にしっかり接続されていないと、レンズの絞りが遮光状態にならず、ブラックバランスはエラーになります。

ホワイトバランスを調整する

- 1 以下のようにスイッチを設定する。
 - GAINスイッチ：L（できるだけ小さいゲイン値に設定）
 - OUTPUT/DCCスイッチ：CAM
 - WHITE BALスイッチ：AまたはB¹⁾
 1) メモリー B に設定値が記憶されるのは、メニューのOPERATION > White Setting > White Switch < B > が Memory に設定されているときのみです。
- 2 照明条件に合わせて、FILTERつまみの設定を切り換える。
- 3 被写体の照明光源と同じ条件のところにホワイトパターンを置き、ズームアップして画面に白を映す。
被写体の近くの白いもの（白布、白壁）で代用することもできます。
最小限必要な白の面積は、図のとおりです。

画面センターを中心とする長方形
各辺の長さは、画面の高さ、または幅の70%



ご注意

長方形内に高輝度スポットを入れないようにしてください。

- 4 レンズの絞りを調整する。
手動調整レンズの場合：絞りを適正值に合わせる。

自動絞り調整機能付きレンズの場合：
レンズ側の絞り自動／手動切換え
スイッチを自動に設定する。

5 AUTO W/B BALスイッチをWHITE側に押し、指を離す。

調整中は「Executing…」と表示され、「OK: (被写体の色温度)」と表示されれば終了です。

調整値は、手順1で選択したメモリー (AまたはB)に自動的に記憶されます。

ご注意

自動絞り機能付きズームレンズを使用した場合、絞りがハンチング¹⁾を起こすことがあります。このような場合は、レンズに付いている絞りのゲインつまみ (IG、IS、Sなどと表示されている) を調整してください。

◆詳しくは、レンズの取扱説明書をご覧ください。

1)ハンチング：オートアイリスの応答を繰り返し、映像が暗くなったり明るくなったりすること。

ホワイトバランスの自動調整ができないときは

ホワイトバランスの調整が正常に終了しなかったときは、ビューファインダー画面に約3秒間エラーメッセージが表示されます。表示されるエラーメッセージは次のとおりです。

エラーメッセージ	意味
NG: Low Light	白の映像レベルが低すぎる。レンズの絞りを開けるか、ゲインを上げる。
NG: Timeout	規定された調整回数以内に調整が終了しなかった。
NG: High Light	白の映像レベルが高すぎる。レンズを絞るか、NDフィルターを変える。

エラーメッセージが表示されたら、再度ホワイトバランスの調整を試みてください。繰り返し調整を試みてもエラーメッセージが表示されるときは、内部点検をする必要があります。

◆内部点検については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

ホワイトバランスを調整する時間がないときは

WHITE BALスイッチをPRSTにします。COLOR TEMP. ボタンを押すことにより、5600Kにホワイトバランスが自動的に調整されます。

COLOR TEMP. ボタンを押したときの色温度は、OPERATIONメニューのAssignable SWで3200K、4300K、5600K、または6300Kから選択することができます。また、ASSIGN. 1/3スイッチまたはASSIGNABLE 4/5スイッチに各色温度を割り当てることもできます。

NDフィルターの切り換えに合わせて色温度を変更するには

電氣的CC (色補正) フィルターをNDフィルター (20ページ参照) に割り当てることによって、NDフィルターの切り換えに合わせて色温度を変更することができます。

- 1 メニューのMAINTENANCE > White Filter > ND Filter C.TempをOnに設定する (138ページ参照)。
- 2 電氣的CCフィルターをFILTERつまみのポジション番号1に割り当てるときはND FLT C.Temp<1>を、ポジション番号2~4に割り当てるときはND FLT C.Temp<2-4>を選択する。
- 3 MENUつまみを回して希望の色温度を選択する。
3200K ↔ 4300K ↔ 5600K ↔ 6300Kと切り替わります。
- 4 必要に応じて、手順2と3を繰り返す。

電氣的CCフィルターをアサイナブルスイッチで切り換えるには

電氣的CCフィルターの切り換え機能をアサイナブルスイッチに割り当てることによって、アサイナブルスイッチを押すたびに最

大で4つのポジション（A～D）に設定された色温度（3200K/4300K/5600K/6300K）を切り換えることができます。

また、アサインابلスイッチへの機能割り当てにかかわらず、リモートコントロールユニットRM-B150/B170/B750から各ポジションに設定された色温度を切り換えることもできます。

1 メニューのMAINTENANCE >White Filterを選択する（138ページ参照）。

2 CCフィルターを設定したいポジションElectrical CC<A>～<D>を選択し、MENUつまみを回して希望の色温度を選択する。

3200K ↔ 4300K ↔ 5600K ↔ 6300K と切り替わります。

色温度を設定しないときは

Electrical CC<C>、<D>の設定時に「----」を選択します。

アサインابلスイッチを押しても、そのポジションの設定は表示されません。たとえば、1つのポジションに「----」を設定したときは、3つのポジションの切り換えになります。

3 必要に応じて、手順2を繰り返す。

4 アサインابلスイッチに電気的CCフィルターの切り換え機能（ELECTRICAL CC）を割り当てる（146ページ参照）。

2) の調整値を記憶できます。ただし、次の場合、メモリーの内容はNDフィルターに連動しません。

- メニューのOPERATION >White Setting >Filter White MemoryをOffに設定することによって、A、B両系統のメモリー数を1個に限定したとき
- 電気的CCフィルター切り換え機能がアサインابلスイッチに割り当てられているとき、またはリモートコントロールユニット接続時（この場合、メモリーの内容は電気的CCフィルターのポジション（A～D）に連動します。）

また、メニューのOPERATION >White Setting >White SwitchをATWに設定すると、WHITE BALスイッチがBの位置でATW（自動追尾ホワイトバランス）が動作し、照明条件の変化に応じて画像のホワイトバランスが自動追従します。

ホワイトバランスのメモリーについて

メモリーに記憶された値は、本機の電源を切った状態でも、再度ホワイトバランスを調整するまで保存されます。

ホワイトバランスのメモリーは、A、Bの2系統があり、WHITE BALスイッチの設定（AまたはB）に対応するメモリーに、NDフィルターごとの調整値を自動的に記憶させることができます。本機は4つのNDフィルターを内蔵しているため、合計8個（4×

電子シャッターの設定

シャッターモードについて

本機の電子シャッターで使用できるシャッターモードと、選択できるシャッタースピードは次のとおりです。

標準モード

動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合などに使用します。

秒数でシャッター速度を設定するSpeed（スピード）モードと開角度でシャッター速度を設定するAngle（角度）モードを選択できます。

Speedモード

システム	シャッタースピード（単位：秒）
59.94i	$1/60$ 、 $1/100$ 、 $1/120$ 、 $1/125$ 、 $1/250$ 、
59.94P	
50i	$1/500$ 、 $1/1000$ 、 $1/2000$
50P	
29.97P	$1/40$ ^{a)} 、 $1/50$ ^{a)} 、 $1/60$ 、 $1/100$ 、 $1/120$ 、 $1/125$ 、 $1/250$ 、 $1/500$ 、 $1/1000$ 、 $1/2000$
25P	$1/33$ ^{a)} 、 $1/50$ ^{a)} 、 $1/60$ 、 $1/100$ 、 $1/120$ 、 $1/125$ 、 $1/250$ 、 $1/500$ 、 $1/1000$ 、 $1/2000$
23.98P	$1/32$ ^{a)} 、 $1/48$ ^{a)} 、 $1/50$ ^{a)} 、 $1/60$ 、 $1/96$ 、 $1/100$ 、 $1/120$ 、 $1/125$ 、 $1/250$ 、 $1/500$ 、 $1/1000$ 、 $1/2000$

a) スロー&クイックモーション撮影時、メニューのOPERATION > Rec Function > Frame Rateをシステム周波数より大きい値に設定している場合は選択できません。

Angleモード

180°、90°、45°、22.5°、11.25°

ECS（拡張クリアスキャン）モード

モニター画面を、水平方向の縞模様が出ないように走査したい場合などに使用します。設定可能なシャッタースピードの範囲は、スロー&クイックモーション（S&Q）機能のオフ/オンによって、次表のように変わります。

システムライン：1080

システム	シャッタースピード（単位：Hz）	
	S&Q：オフ	S&Q：オン
59.94i	60.00～3800	—
50i	50.00～3500	—
29.97P	29.99～4100	32.01～4100
23.98P	23.99～3700	32.02～3700
25P	25.00～3900	32.03～3900

システムライン：720

システム	シャッタースピード（単位：Hz）	
	S&Q：オフ	S&Q：オン
59.94P	60.07～4100	32.01～4100
50P	50.03～3900	32.03～3900
29.97P	29.99～4100	32.01～4100
23.98P	23.99～3700	32.02～3700
25P	25.00～3900	32.03～3900

SLS（スロースピードシャッター）モード

低照度の被写体を撮影したいときに使用します。

蓄積フレーム数

2、3、4、5、6、7、8、16、32、64

ご注意

- ビデオフォーマットがSP 1440/23.98Pの場合や、スロー&クイックモーション撮影時は、SLSモードを使用することができません。
- 蓄積フレーム数が16、32、64の場合は、カラーバーを表示することができません。また、記録中にSLSモードをオン/オフしたり、蓄積フレーム数を変更することができません。

シャッターモード／シャッター スピードを設定する

ご注意

- 絞りが自動のときは、シャッタースピードが速くなるにつれ、絞りが開き、被写界深度も浅くなります。
- 選べるシャッタースピードは、設定されているシステム周波数によって異なります。

SpeedモードとAngleモードを切り換えるには

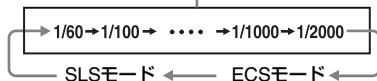
- 1 メニューのOPERATION > Shutter Select > Shutter Selectを選択する (124ページ参照)。
- 2 MENUつまみを回して、SecondまたはDegreeを選択し、つまみを押す。

シャッターモードおよびシャッタースピード (標準モード) を設定するには

一度選択したシャッタースピードは、本機の電源を切った状態でも保持されます。

- 1 SHUTTERスイッチを、ONの位置からSELECT側に押す。
シャッターの現在の設定が約3秒間表示されます。
- 2 手順1の表示が消える前に、もう一度SHUTTERスイッチをSELECT側に押す。希望のモードまたはスピードが表示されるまで、この操作を繰り返す。
すべてのモードとスピードが表示される場合は、以下の順序で表示が切り替わります。

Speedモード (システム周波数 : 59.94iの場合) の表示例



ご注意

スロー&クイックモーションモード時のフレームレートの設定によっては (86ページ参照)、特定のシャッタースピードが選択できなくなることがあります。選択できないシャッタースピードは、選択可能な最も遅いシャッタースピードに置き換わりします。

例：HQ 1280/29.97P、フレームレート60でスロー&クイックモーション撮影を行う場合
シャッタースピードは次のように表示されます。
スロー&クイックモーションモード：オフ
1/40 → 1/50 → 1/60 → 1/100 → ...

スロー&クイックモーションモード：オン
1/60 → 1/60 → 1/60 → 1/100 → ...

シャッタースピード (ECSモード / SLSモード) を設定するには

- 1 シャッターモードをECSまたはSLSに設定する (前項参照)。
- 2 MENUつまみを回して、希望の周波数またはフレーム数を表示させる。

オートアイリスの設定

逆光の被写体を適正な明るさで撮るときや、スポットライトが当てられた被写体の白つぶれなどを防ぐときなど、被写体の照明条件によってはオートアイリスの設定を変更する必要があります。レンズ絞りの基準値は、標準値に対して次の範囲に設定できます。

- 0.25～1（0.25刻み）：約0.25～1絞り分聞きざみになる。
- -0.25～-1（0.25刻み）：約0.25～1絞り分閉じざみになる。

また、オートアイリスの対象となる範囲を設定しておくこともできます。

基準値を変更するには

- 1 メニューのOPERATION >Auto Iris >Iris OverrideをOnに設定する（123ページ参照）。
- 2 MENU ON/OFFスイッチをOFFにする。
- 3 MENUつまみを回して基準値を変更する。

ご注意

このとき、シャッターモードがECS以外のモードになっていることを確認してください。

現在の基準値は、ビューファインダー画面のアイリスポジション表示（38ページ参照）位置に表示されるインジケーターで確認することができます。

絞りを開きざみにする場合

MENUつまみを本機正面から見て時計方向に回します。

0.25、0.5、0.75、1のいずれかに設定します。

絞りを閉じざみにする場合

MENUつまみを本機正面から見て時計方向に回します。

-0.25、-0.5、-0.75、-1のいずれかに設定します。

変更した基準値は電源を切るまで保持されます。基準値を変更しても、電源を入れるたびに標準値に戻ります。

オートアイリス検出ウィンドウを設定するには

- 1 メニューのOPERATION >Auto Iris >Iris Window IndicationをOnに設定する。
ビューファインダー画面上に現在選択されているオートアイリスウィンドウが表示されます。
オートアイリスウィンドウを常に表示しておく必要がない場合は、Offに設定します。
- 2 MENUつまみを回してIris Windowを選択し、つまみを押す。
- 3 MENUつまみを回して希望のオートアイリスウィンドウを選択し、つまみを押す。



図の網かけ部で光を検出する

Varを選ぶと、次表の項目が有効となり、希望の大きさのウィンドウを作成できます。メニューのMAINTENANCE >Auto Iris2の以下の項目を設定してください。

項目	設定
Iris Var Width	ウィンドウの幅
Iris Var Height	ウィンドウの高さ
Iris Var H Pos	ウィンドウの横方向の位置
Iris Var V Pos	ウィンドウの縦方向の位置

メニューを終了すると、手順3で選択したオートアイリスウィンドウが表示されます。

常に表示しておく必要がない場合は、メニューのOPERATION >Auto Iris >Iris Window Indicationの設定をOffに変更します。

高輝度の外乱による影響を軽減させるには

高輝度の画像が入ってきたためオートアイリスが閉じ過ぎて全体的に暗くなり過ぎ、白つぶれという状態になることがあります。このような場合は、ハイライトクリップ機能をONに設定すると、あるレベル以上のものにクリップをかけて、オートアイリスへの影響を低減することができます。

メニューのOPERATION >Auto Iris >Clip High LightをOnに設定します。

ズームを操作する

PMW-320Kでは、付属のレンズを装着して、手動または電動でズームを操作できます。

操作モードを切り換える

ZOOMスイッチを、SERVO（電動ズーム）またはMANU.（手動ズーム）に設定します。

手動でズームを操作する

ZOOMスイッチがMANU.に設定された状態で、ズームリングを回します。

電動でズームを操作する

ZOOMスイッチがSERVOに設定された状態で、電動ズームレバーを操作します。ビューファインダーに現在のレンズズームの位置が0（広角端）～99（望遠端）の範囲で表示されます（35ページ参照）。広角にしたいときW（ワイド）側を、望遠にしたいときT（テレ）側を押します。レバーを深く押すとズーム速度が早くなり、浅く押すと遅くなります。

フォーカスを調整する

PMW-320Kでは、付属のレンズを装着して、次の3つの方法でフォーカスを調整することができます。

Full MF（フルマニュアルフォーカス）モード

フォーカスリングによるフォーカス合わせのみ有効なモードです。

∞～最短撮影距離までリングを持ち直さずに回してフォーカス合わせが可能です。

MF（マニュアルフォーカス）モード

PUSH AFボタンを押した時のみ一時的にオートフォーカスが起動するモードです。MFアシスト機能も使用できます。

AF（オートフォーカス）モード

常にオートフォーカスが働くモードです。フォーカスリングおよびPUSH AFボタンも有効です。

ご注意

温度変化によるフォーカスの移動を補正するため、無限遠（∞）位置には余裕を持たせています。無限遠の被写体をMFまたはFull MFモードで撮影する場合は、ビューファインダーで確認しながらフォーカスを合わせてください。

Full MFモードで調整する

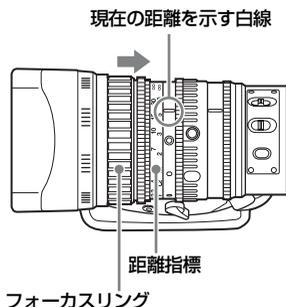
フォーカスリングを後方（本体側）に引くと常にマニュアルでフォーカスを合わせるFull MFモードになります。

ご注意

フォーカスリングを後方にスライドさせると、フォーカスが目盛の位置に瞬時に移動します。

ビューファインダーを見ながら、フォーカスリングを回してフォーカスを合わせます。

Full MFモードでは、リングの距離指標が有効です。フォーカスの合う距離はフォーカスリングの絶対位置に対応します。



ピーキング

ビューファインダーのPEAKINGつまみを回すと、ピーキング機能が働いて、モニター画像の輪郭が強調され、マニュアルでのフォーカス調整が容易になります。記録される映像信号には影響しません。

MFモードで調整する

フォーカスリングを前方（レンズフード側）にスライドさせ、FOCUSスイッチをM（マニュアル）にすると、必要なときのみオートフォーカスを働かせることができるMFモードになります。

フォーカスリングを使う

ビューファインダーの画像を見ながら、フォーカスリングを回してフォーカスを合わせます。

MFモードでは、リングの距離指標は無効となります。

ワンプッシュオートフォーカス

PUSH AFボタンを押します。一時的にオートフォーカスが起動します（ワンプッシュオートフォーカス）。

ワンタッチオートフォーカスは、フォーカスが合った時点で終了します。

MFアシスト機能

MFアシスト機能をONにしておくと（147ページ参照）、フォーカスリングでのフォーカス合わせを止めた時点でオートフォーカスが起動し、画面中央部の被写体に対してフォーカスの微調整（フォーカスの追い込み）を行います。

微調整が終了した時点でMFアシストによるオートフォーカス動作は終了します。

AFモードで調整する

フォーカスリングを前方にスライドさせ、FOCUSスイッチをA（オート）にすると、常にオートフォーカスを動かせることができるAFモードになります。

AFモードでは、リングの距離指標は無効となります。

AFモードでフォーカスを合わせる

AFモードでは、映像の変化を常に観測し、変化があったと判断するたびにオートフォーカスを起動します。フォーカスが合った時点でフォーカス動作を終了して、また映像に変化があるまで待機します。AFモードでは、PUSH AFボタンを押したり、フォーカスリングを操作した場合も、直後にオートフォーカスが起動します。

マクロモードを使う

フォーカス調整モードがMFまたはAFのときは、MACROスイッチをON側にするとマクロモードになり、マクロ領域を含めた範囲でのフォーカス操作が可能になります。マクロモードは、Full MFモードでは無効となります。

音声レベルの調整

AUDIO SELECTスイッチをAUTOにすると、各チャンネルに記録されるアナログ音声信号の入力レベルは自動的に調整されます。また、手動で調整することもできます。

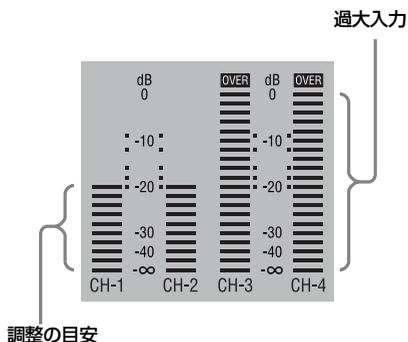
ご注意

AUDIO SELECTスイッチをAUTOにしても、デジタル音声信号の入力レベルは自動調整されません。

手動調整時の音声レベルの目安

-20 dBを目安に調整します。

音声レベルメーターが0 dBまで表示されるときは、入力音量が過大です。



AUDIO IN CH-1/CH-2端子からの音声レベルを手動調整する

- 1 AUDIO IN CH-1/CH-2端子への入力信号を記録、調整したいチャンネルに相当するAUDIO IN CH1/CH2スイッチをREARにする。
1、2チャンネルとも記録、調整する場合は、両方のAUDIO IN CH1/CH2スイッチをREARにする。
- 2 手順1で選んだチャンネルのAUDIO SELECTスイッチをMANUALにする。

- 3 手順1で選んだチャンネルのLEVELつまみで、通常の入力音量のときの音声レベルメーターが-20 dBまで表示されるように調整する。

記録レベル調整とつまみの対応について

メニューのMAINTENANCE >Audioで、AUDIO IN CH-1/CH-2端子に入力される音声の記録レベルの調整をどのつまみで行うか、選択することができます。各メニュー項目の設定値とつまみの対応は以下のとおりです。

Rear1/WRR Level：チャンネル1の記録レベル

設定値	つまみ
Side1	LEVEL (CH1) つまみ
Front	MIC LEVELつまみ
Front+Side1	LEVEL (CH1) つまみとMIC LEVELつまみの連動

Rear2/WRR Level：チャンネル2の記録レベル

設定値	つまみ
Side2	LEVEL (CH2) つまみ
Front	MIC LEVELつまみ
Front+Side2	LEVEL (CH2) つまみとMIC LEVELつまみの連動

ご注意

LEVEL (CH1/CH2) つまみとMIC LEVELつまみの連動を選択した場合、MIC LEVELつまみが「0」に絞られているとチャンネル1、2の音声を記録できません。MIC LEVELつまみの位置を確認してから、LEVEL (CH1/CH2) つまみで調整してください。

MIC IN端子からの音声レベルを手動調整する

- 1 使用するチャンネルのAUDIO INスイッチをFRONTに設定する。

- 2 手順1で選んだチャンネルのAUDIO SELECTスイッチをMANUALに設定する。

- 3 MIC LEVELつまみを回して、通常の入力音量のとき音声レベルメーターが-20 dBまで表示されるように調整する。

記録レベル調整とつまみの対応について

メニューのMAINTENANCE >Audioで、フロントマイクから入力する音声の記録レベルの調整をどのつまみに割り当てるかを設定できます。各メニュー項目の設定値とつまみの対応は以下のとおりです。

MIC CH1 Level：チャンネル1の記録レベル

設定値	つまみ
Side1	LEVEL (CH1) つまみ
Front	MIC LEVELつまみ
Front+Side1	LEVEL (CH1) つまみとMIC LEVELつまみの連動

MIC CH2 Level：チャンネル2の記録レベル

設定値	つまみ
Side2	LEVEL (CH2) つまみ
Front	MIC LEVELつまみ
Front+Side2	LEVEL (CH2) つまみとMIC LEVELつまみの連動

ご注意

MIC LEVELつまみとLEVEL (CH1/CH2) つまみの連動を選択した場合、LEVEL (CH1/CH2) つまみが「0」に絞られているとチャンネル1、2の音声が記録できません。LEVEL (CH1/CH2) つまみの位置を確認してから、MIC LEVELつまみで調整してください。

チャンネル3、4への音声の記録について

記録音声の選択について

音声チャンネル3、4に記録される音声は、AUDIO IN CH3/CH4スイッチで選ぶことができます。

CH3 スイッチ	チャンネル 3 の記録対象
FRONT	フロントマイクロホンの音声
REAR	AUDIO IN CH-1端子に入力される音声信号
WIRELESS	ワイヤレスマイクロホンの音声

CH4 スイッチ	チャンネル 4 の記録対象
FRONT	フロントマイクロホンの音声
REAR	AUDIO IN CH-2端子に入力される音声信号
WIRELESS	ワイヤレスマイクロホンの音声

また、以下のように自動で選択されるようにすることもできます。

チャンネル1、2と同じ音声で自動で選択されるようにするには

メニューのMAINTENANCE > Audio > Audio CH3/4 ModeをCh1/2に設定します。

記録音声レベルを調整するには

自動調整するには

AUDIO SELECT CH 3-4スイッチをAUTOにします。

手動調整するには

- 1 AUDIO SELECT CH 3-4スイッチをMANUALにする。
- 2 レベル調整を行うつまみを、メニューのMAINTENANCE > AudioのAudio CH3 LevelおよびAudio CH4 Levelで選択する。

Audio CH3 Level : チャンネル3の記録レベル

設定値	つまみ
Side3	LEVEL (CH3) つまみ
Front	MIC LEVELつまみ
Front+Side3	LEVEL (CH3) つまみとMIC LEVELつまみの連動

Audio CH4 Level : チャンネル4の記録レベル

設定値	つまみ
Side4	LEVEL (CH4) つまみ
Front	MIC LEVELつまみ
Front+Side4	LEVEL (CH4) つまみとMIC LEVELつまみの連動

音声チャンネル3、4の音声レベルが、ここで選択したつまみで調整できるようになります。

タイムデータの設定

ご注意

ピクチャーキャッシュモードが有効なときは、F-RUN/SET/R-RUNスイッチをSETにしてもタイムデータの設定を行うことはできません。タイムデータを設定する場合は、ピクチャーキャッシュモードをオフにしてください。

タイムコードを設定する

タイムコードの設定可能範囲は、00:00:00:00～23:59:59:29（時：分：秒：フレーム）です。

- 1 DISPLAYスイッチをTCにする。
- 2 PRESET/REGEN/CLOCKスイッチをPRESETにする。
- 3 F-RUN/SET/R-RUNスイッチをSETにする。
タイムコードの最上桁が点滅します。
- 4 上下矢印ボタンで数値を変更し、左右矢印ボタンで桁を移動して、すべての桁を設定する。
数値を00:00:00:00にリセットするにはRESET/RETURNボタンを押します。
- 5 希望の数値に設定した後、F-RUN/SET/R-RUNスイッチを切り換える。
F-RUN：タイムコードは常に歩進する
R-RUN：タイムコードは記録時に歩進する

DF/NDFの切り換えについて

メニューのMAINTENANCE > Timecodeで、DF（ドロップフレームモード）/NDF（ノンドロップフレームモード）を切り換えることができます。

タイムコードを連続させるには

F-RUN/SET/R-RUNスイッチがR-RUNに設定されているときは、タイムコードは連続して記録されます。ただし、途中でメディアを交換して記録を行うと、再び元のメディアを入れてもタイムコードは続きません。

このようなときは、PRESET/REGEN/CLOCKスイッチをREGENにするとタイムコードを連続させることができます。

タイムコードに実時刻を入れるには

PRESET/REGEN/CLOCKスイッチをCLOCKにすると、タイムコードに実時刻が入ります。実時刻の設定が必要な場合は、メニューのMAINTENANCE > Clock Set > Date/Timeを使用します。

◆詳しくは、「内蔵時計の日付と時刻の設定」（47ページ）をご覧ください。

ユーザービットを設定する

ユーザービットを設定することにより、16進数8桁までのメモ（日付、時刻、シーン番号）などの情報をタイムコードトラックに記録することができます。

- 1 DISPLAYスイッチをU-BITにする。
- 2 F-RUN/SET/R-RUNスイッチをSETにする。
ユーザービットの最上桁が点滅します。
- 3 上下矢印ボタンで数値を変更し、左右矢印ボタンで桁を移動して、すべての桁を設定する。
数値を00 00 00 00にリセットするにはRESET/RETURNボタンを押します。
- 4 希望の数値に設定した後、F-RUN/SET/R-RUNスイッチを希望のタイムコードの歩進モードに応じてF-RUNまたはR-RUNにする。

ユーザービットのメモリー機能について

ユーザービットの設定内容（実時刻以外）は自動的にメモリーに記憶され、電源を切った後も保持されます。

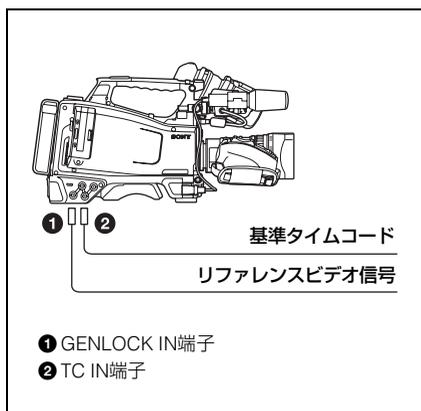
タイムコードを外部ロックさせる

本機の内部タイムコードジェネレーターを外部ジェネレーターにロックさせることができます。また、外部VTRのタイムコードジェネレーターを本機の内部ジェネレーターにロックさせることもできます。

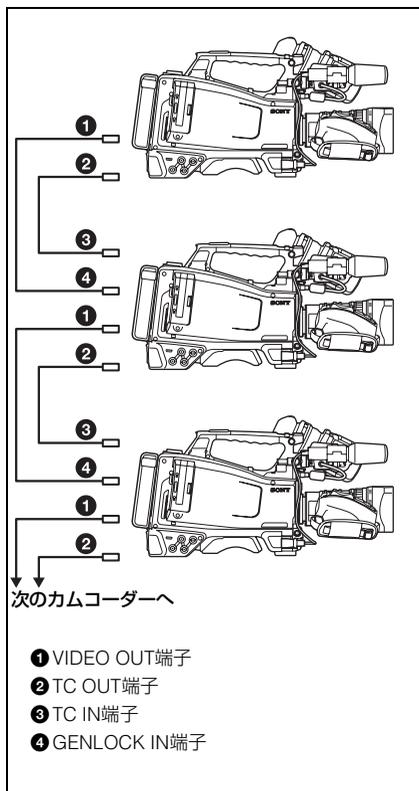
接続例

次図のように、リファレンスビデオ信号と基準タイムコードの両方を接続します。

例1：外部の信号にロックさせる場合



例2：本機を複数台接続し、1台をリファレンスとする場合



タイムコードを外部ロックさせるには

- 1 POWERスイッチをONにする。
- 2 PRESET/REGEN/CLOCKスイッチをPRESETにする。
- 3 F-RUN/SET/R-RUNスイッチをF-RUNにする。
- 4 DISPLAYスイッチをTCにする。
- 5 SMPTEタイムコードの規格を満たした位相関係にある基準タイムコードとリファレンスビデオ信号を、TC IN端子とGENLOCK IN端子へそれぞれ入力する。

これで内部タイムコードジェネレーターは、基準タイムコードにロックします。ロックしてから約10秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続をはずしても、外部ロック状態は保たれます。

ご注意

- 外部ロックの操作をすると、タイムコードは瞬時に外部のタイムコードにロックし、外部タイムコードの値と同じ値がカウンター表示部に表示されますが、シンクジェネレーターが安定するまでの数秒間は、記録を開始しないでください。
- リファレンスビデオ信号の周波数と本機のシステム周波数が一致しないと、正しくゲンロックできません。この場合、タイムコードも外部のタイムコードに正しくロックできません。

外部ロック時のユーザービットの設定について

タイムコードの外部ロック時は、タイムデータのみが外部からのタイムコードのタイムデータにロックされます。

外部ロックを解除するには

外部タイムコードの入力を停止してから、F-RUN/SET/R-RUNスイッチをR-RUNに設定します。

外部ロック中に、電源をバッテリーパックから外部電源に切り換えるとき
タイムコードジェネレーターの電源の連続性を保つため、DC IN端子に外部電源をつないでから、バッテリーパックをはずしてください。バッテリーパックを先にはずしたときは、タイムコードの外部ロックの連続性は保証されません。

外部ロック中のカメラ部の外部ロックについて

外部ロック中、カメラ部はGENLOCK IN端子に入力されるリファレンスビデオ信号によってゲンロックがかかります。

各種設定や状態を確認する（ステータス画面）

ステータス画面では、本機の設定や状態を確認することができます。ステータス画面は、次の5種類の画面で構成されています。

ステータス画面の種類 表示内容

カメラステータス	撮像に関する設定と状態
オーディオステータス	オーディオ入出力に関する設定と状態
ビデオステータス	記録・再生に関する設定と状態
アサインابلスイッチステータス	アサインابلスイッチに割り当てられている機能の名称
バッテリー／メディアステータス	装着されているバッテリーと記録メディアの状態

ステータス画面を表示するには

メニューが表示されていないとき、STATUS ON/SEL/OFFスイッチをON/SEL側に押し上げます。押し上げるごとに、ステータス画面が前表の順番に切り替わりま

カメラステータス画面

撮像に関する設定や状態を表示します。

CAMERA		1/5
White Bal	B: 1200K	Gain L: 0dB
	A: 4700K	M: 9dB
	PRST: 3200K	H: 18dB
Zoom Speed	: 70	Zebra 1: On 70%
Skin Detail	: OFF	2: Off

White Bal : ホワイトバランスの状態

Gain : GAINスイッチの状態

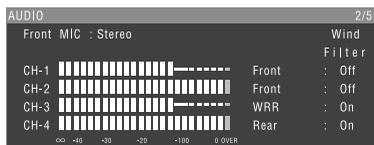
Zoom Speed : レンズのZOOMボタンに設定されたズームスピード

Zebra : ゼブラの状態

Skin Detail : スキンディテールの状態

オーディオステータス画面

オーディオ入出力に関する設定や状態を表示します。



CH-1/CH-2/CH-3/CH-4 : オーディオレベルメーターと入カソース

Wind Filter : 風音低減フィルター設定

ビデオステータス画面

記録・再生に関する設定や状態を表示します。



Video Format : ビデオフォーマット

Rec Mode : 記録ビットレート (HDモードのみ)

Output&i.LINK : Output&i.LINK設定とi.LINK使用状況

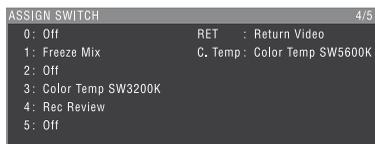
SDI Output : HD/SD SDI OUT端子の出力設定

HDMI Output : HDMI端子の出力設定

Down Converter : SD出力のダウンコンバーター設定 (HDモードのみ)

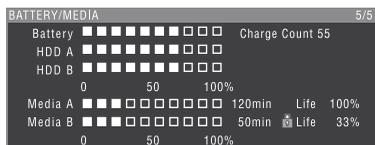
アサインブルスイッチステータス画面

アサインブルスイッチに割り当てられている機能の名称を表示します。



バッテリー／メディアステータス画面

装着されているバッテリーと記録メディアの状態を表示します。



Battery : バッテリーパック残量

Charge Count : 充電繰り返し回数

HDD A/HDD B : PHU-220Rのバッテリー残量

Media A/Media B :

- メディアの残量
- 残記録可能時間
- メディアの書き換え寿命目安 (Life) 未使用のメディアでは「Life 100%」が表示される

SxSメモリーカードの取り扱い

本機では、撮影した映像・音声を、カードスロット内のSxSメモリーカード（別売）に記録します。

なお、本機では、以下のような機器を使用して記録を行うこともできます。

- プロフェッショナルハードディスクユニットPHU-220R
- メディアアダプター MEAD-MS01/SD01（FATモードで記録する場合）、またはXQD ExpressCardアダプター QDA-EX1（FAT/UDFモードで記録する場合）

詳しくは、「Manuals for Solid-State Memory Camcorder」のCD-ROMに収録されているSupplement（サプリメント）をご覧ください。

SxSメモリーカードについて

本機で使用可能なSxSメモリーカード

本機では、ソニー製SxS PROまたはSxS-1メモリーカードをご使用ください。

SxS PRO

- SBP-32（32GB）
- SBP-64A（64GB）

SxS-1

- SBS-32G1A（32GB）
- SBS-64G1A（64GB）

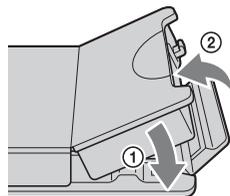
SxS PROまたはSxS-1以外のメモリーカードをご使用の場合、動作の保証はいたしかねます。

これらのメモリーカードは、ExpressCard規格に準拠したメモリーカードです。

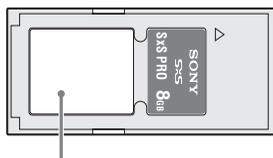
- SxS、SxS PRO、およびSxS-1はソニー株式会社の商標です
- ExpressCardワードマークとロゴは、Personal Computer Memory Card International Association (PCMCIA) の所有であり、ソニーへライセンスされています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属します。

SxSメモリーカード使用上のご注意

- 下記の場合、記録したデータが破壊（消滅）されることがあります。
 - 読み込み中、書き込み中、またはフォーマット中にSxSメモリーカードを抜いたり、振動、衝撃を与えたり、機器の電源を切った場合
 - 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 以下のような場所でのご使用や保存はしないでください。
 - 使用条件範囲以外の場所
 - 炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中／直射日光のあたる場所／熱器具の近くなど
 - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- ご使用の場合は、正しい挿入方向をご確認ください。
- SxSメモリーカードの保管時および携帯時は、専用ケースに入れて確実にロックしてください。



- SxSメモリーカードに保存しているデータは、万一の故障によるデータの損失に備えて、バックアップを取っておいてください。SxSメモリーカードに保存したデータの損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ラベルシートの貼り付け部以外には専用ラベルシートを貼らないでください。専用ラベルシートを貼るときは、所定のラベルシート貼り付け部に、はみ出さないように貼ってください。



専用ラベルシート貼り付け部

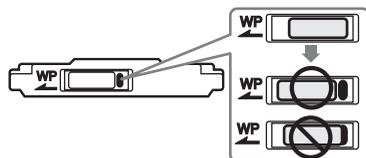
- 本機で使用するSxSメモリーカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。他の機器でフォーマットした場合は、異なるフォーマットとみなされ、本機で再度フォーマットする必要があります。
(本機の機能による「フォーマット」や「削除」では、カード内のデータは完全には消去されません。譲渡／廃棄の際は、市販のデータ消去専用ソフトを使用するか、カードを物理的に破壊するなどお客様の責任においてデータの処理をしてください。)
- メディア残量が少ないと、クリップを操作できないときがあります。そのような場合は、コンピューターで不要なファイルを削除してから再度操作を行ってください。
- 専用ケースカードの取り出し・再挿入の際は、専用ケースが完全に開いた状態で行ってください。



誤消去を防止するには

SxSメモリーカードのライトプロテクトスイッチを「WP」側にすると、記録や編集、消去ができなくなります。

ライトプロテクトスイッチ



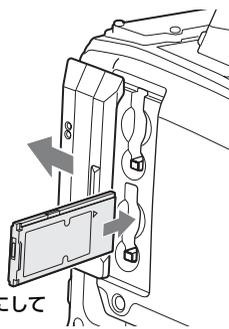
ご注意

本機に挿入したままで、SxSメモリーカードのライトプロテクトスイッチを操作しないでください。本機から取り出してからスイッチを切り換えてください。

SxSメモリーカードを入れる／取り出す

SxSメモリーカードを入れるには

- 1 カバーを左にスライドさせて開ける。
- 2 SxSメモリーカードをカードスロットに差し込む。



ラベルを右にして差し込む。

ACCESSランプがオレンジで点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。

- 3 カバーを閉める。

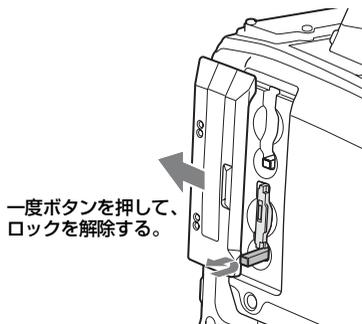
ACCESSランプによる状態表示

AとBのカードスロットの状態を示すために、それぞれにACCESSランプがあります。

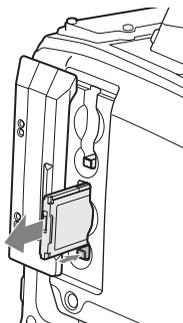
ランプ	スロットの状態
オレンジで点灯	装着されているSxSメモリーカードにアクセス中（データの書き込み／読み出し中）
緑で点灯	スタンバイ状態（装着されているSxSメモリーカードを使用して記録・再生を行います。）
消灯	<ul style="list-style-type: none"> • SxSメモリーカードが装着されていない。 • 使用できないカードが装着されている。 • SxSメモリーカードは装着されているが、別のスロットのカードが選択されている。

SxSメモリーカードを取り出すには

- 1 カバーを開け、EJECTボタンを押してロックを解除してボタンを引き出す。



- 2 もう一度EJECTボタンを押し込んでカードを抜く。



ご注意

メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ずACCESSランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。

使用するSxSメモリーカードを切り換える

カードスロットAとBの両方にSxSメモリーカードが装着されているときは、SLOT SELECTボタンを押して使用するカードを切り換えることができます。

記録実行中にカードがフルになったときは、自動的にもう1枚のカードに切り替わります。

ご注意

再生中は、SLOT SELECTボタンは無効になります。ボタンを押しても切り替わりません。サムネイル画面（93ページ）が表示されている場合は、ボタン操作が有効です。

SxSメモリーカードをフォーマット（初期化）する

フォーマットされていないSxSメモリーカード、または別の仕様でフォーマットされたSxSメモリーカードを装着すると、「Cannot Use Media(A)/Unsupported File System」のメッセージがビューファインダー画面に表示されます。その場合は、以下の操作を行ってメモリーカードをフォーマットします。

ご注意

XDCAM EX機器でフォーマットしたSxSメモリーカード以外は使用できません。

フォーマット（初期化）を実行するには

- 1 メニューのOPERATION >Format Media（116ページ参照）を選択する。
- 2 Media(A)（スロットA）またはMedia(B)（スロットB）を選択する。
- 3 MENUつまみを回してExecuteを選択し、つまみを押す。
フォーマットを実行するかどうかを確認するメッセージが、ビューファインダー画面に表示されます。
- 4 MENUつまみを回して「Execute」を選択し、つまみを押す。

フォーマットが始まります。実行中メッセージと進捗状況（%）が表示され、ACCESSランプがオレンジで点灯します。

フォーマット実行中の記録・再生

フォーマット中でも、もう一方のカードスロットに装着したSxSメモリーカードを使用して記録・再生が可能です。

フォーマットできなかったときは

プロテクトされたSxSメモリーカードや本機で使用できないメモリーカードはフォーマットされません。

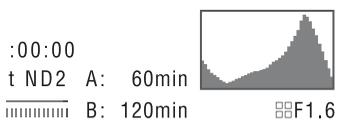
警告メッセージが表示されますので、メッセージにしたがって、使用できるSxSメモリーカードに交換してください。

ご注意

- メモリーカードをフォーマットすると、記録された映像データ、セットアップファイルなどを含む、すべてのデータが消去されます。
- 本機で使用するSxSメモリーカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。他の機器でフォーマットした場合は、異なるフォーマットとみなされ、本機で再度フォーマットする必要があります。

残りの記録可能時間を確認する

ビューファインダー画面の記録メディア残量表示部で、各スロットに装着したSxSメモリーカードの残量を確認することができます。



現在設定されているビデオフォーマット（記録ビットレート）で撮影した場合に記録可能な時間を、それぞれのスロット内のメモリーカードの残量から計算して分単位で表示します。

バッテリー／メディアステータス画面（72ページ）を表示させると、残量をメーター形式で確認することもできます。

ご注意

メモリーカードがプロテクトされている場合は、マークが表示されます。

SxSメモリーカードの交換時期

- 記録中に2枚のメモリーカードの残記録可能時間の合計が5分をきると、警告メッセージMedia Near Fullが表示され、WARNINGランプおよびビューファインダー画面のREC表示の点滅とブザー音で警告します。
空きのあるメディアに交換してください。
- 記録を継続して、残記録可能時間の合計が0になると、メッセージがMedia Fullに変わり記録が停止します。

ご注意

1枚のSxSメモリーカードに約600個までのクリップを記録できます。

記録できるクリップ数の上限に達すると、残時間表示が「0」になり、メッセージMedia Fullが表示されます。

SxSメモリーカードを修復する

何らかの原因でメモリーカード内のデータに異常が発生した場合は、メモリーカードの修復が必要になります。

修復が必要なSxSメモリーカードを挿入したときは、修復を実行するかどうかを確認するメッセージがビューファインダー画面に表示されます。

修復を実行するには

MENUつまみを回して「Execute」を選択し、つまみを押します。

修復が始まります。

実行中メッセージと進捗状況(%)が表示され、ACCESSランプがオレンジで点灯します。

修復が終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

修復できなかったときは

- プロテクトされたSxSメモリーカードや、エラーが発生したSxSメモリーカードは修復できません。警告メッセージが表示されますので、メッセージにしたがって、プロテクトを解除するか、別のSxSメモリーカードに交換してください。
- エラーが発生したSxSメモリーカードは、フォーマットをし直すと再利用できる場合があります。
- 一部のクリップのみが修復できない場合もあります。修復できたクリップは再生可能になります。
- 修復を実行しても繰り返し“Could not Restore Some Clips”とメッセージが表示されるようになったSxSメモリーカードは、以下の手順で正常に戻せる場合があります。
 - ① 本機のコピー機能（104ページ）または付属の専用アプリケーションソフトウェア（161ページ参照）を用いて、必要なクリップを他のSxSメモリーカードへコピーする。
 - ② 問題のあるSxSメモリーカードを本機でフォーマットする。

- ③ 必要なクリップをフォーマットしたSxSメモリーカードにコピーして戻す。

修復中の記録・再生

修復中でも、もう一方のカードスロットに装着したSxSメモリーカードを使用して、記録・再生が可能です。

ご注意

本機で記録されたメディアは、本機で修復してください。

本機以外で記録されたメディアや、本機と同一機種であってもバージョンが異なる機器で記録されたメディアは、本機では修復できない場合があります。

基本操作

ここでは、撮影・記録の基本操作手順を説明します。

実際に撮影に出発する際は、事前に点検を行って、カメラシステムが正常に機能することを確認してください。

- 1 充電したバッテリーパックを取り付ける (39ページ参照)。
- 2 SxSメモリーカードを入れる (74ページ参照)。
2枚入れておくと、1枚目がフルになった時点で自動的に2枚目に切り換わります。
- 3 本機のPOWERスイッチ (17ページ参照) をONにする。
- 4 次の設定を行う。
マーカー表示：オン (119ページ参照)
アイリス：オート (63ページ参照)
ズーム：オート (64ページ参照)
カメラ出力：撮影中の映像 (カメラ画) を選択し、DCC機能オン (22ページ参照)
タイムコードの歩進：F-RUN (フリーラン) またはR-RUN (レックラン) (69ページ参照)
オーディオ入力チャンネルの選択：オート (26ページ参照)
- 5 AUTO W/B BALスイッチをBLK側に押し、ブラックバランスを調整する (57ページ参照)。
- 6 照明条件に合わせてフィルターを選び、ホワイトバランスを調整する (58ページ参照)。
- 7 本機を被写体に向け、フォーカス (65ページ参照) とズームを調整する。

- 8 電子シャッターを使用する場合は、適切なシャッターモード/スピードに設定する (61ページ参照)。

- 9 次のいずれかの操作を行って記録を開始する。

- REC STARTボタン (20ページ参照) を押す。
- レンズのVTRボタン (33ページ参照) を押す。
- Rec機能が割り当てられたアサインブルスイッチをオンにする (147ページ参照)。

記録中は、TALLYランプ、ビューファインダー前面のタリーランプ、ビューファインダー画面のREC表示が点灯します。必要に応じて、ズームとフォーカスを調整してください。

ご注意

- 記録中は (右側面のACCESSランプが青で点灯、カードスロット部のACCESSランプがオレンジで点灯)、絶対にバッテリーパックを取りはずさないでください。もし取りはずすと、記録処理が正常に終了しないため、記録中断直前の数秒間のデータが失われるおそれがあります。
- 記録中は、再生コントロールボタン (EJECT、F REV、F FWD、NEXT、PREV、PLAY/PAUSE、STOP) は動きません。

- 10 記録を停止するには、手順9のいずれかの操作を行う。

TALLYランプ、ビューファインダー前面のタリーランプ、ビューファインダー画面のREC表示が消えます、本機は記録待機 (STBY) 状態になります。手順9と10の間に記録した画像・音声と付随データが、1つのクリップとして記録されます。

記録内容を確認するには (レックレビュー)

記録待機中 (STBY時) に、Rec Review機能またはFreeze Mix機能が割り当てられたアサインブルスイッチをオンにします (146ページ参照)。

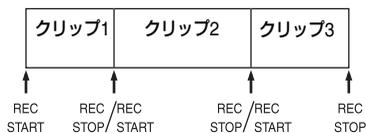
最終クリップの全体または最後の数秒（3秒または10秒）が再生され、STBY状態に戻ります。

再生時間は、メニューのMaintenance > Camera Config > Rec Review（137ページ参照）で変更することができます。

レンズのRETボタンにRec Review機能が割り当てられている場合は、レンズのRETボタンを押してレックレビューすることもできます。

11 手順9と10を繰り返して、記録を繰り返す。

メモリーカード上に順次クリップが作成されます。



ご注意

- 記録を停止してから約1秒間は次の記録を再開できません。
- 1枚のメモリーカードに記録できるクリップ数は、最大600個です。クリップが600個記録されると、メモリーカードに空き容量があっても、記録できなくなります。

クリップのファイルサイズについて

XDCAM EXシリーズでは、HDクリップのファイルサイズの上限は4GB、SDクリップのファイルサイズの上限は2GBです。

長時間の連続記録を行うと、ファイルサイズの関係で、記録された素材が複数のファイルに分割されることがあります（最大分割数は99）。

複数のファイルに分割された場合でも、本機上では1つのクリップとして扱います。

クリップ名について

本機で記録されるクリップには、自動的に8文字のクリップ名（前半4文字の英数字＋後半4桁の番号）が生成されます。

例：ABCD0001

クリップ名の前半部分（文字の英数字）は、メニューのOPERATION > Clip > Title Prefix

（125ページ参照）で設定開始前に任意の文字列（4～46文字）にすることも可能です。（記録後に変更することはできません。）クリップ名の後半部分（4桁の番号）は、記録順に自動的にカウントアップされます。

記録したクリップを再生する

本機が記録停止中（STBY時）の場合は、レックレビュー機能（78ページ参照）により最後に記録したクリップの全体または一部を再生することもできます。

1 再生するSxSメモリーカードを入れる（74ページ参照）。

2 PREVボタン（24ページ参照）またはF REVボタン（24ページ参照）を押して、再生したいクリップを頭出しする。

3 PLAY/PAUSEボタンを押す。PLAY/PAUSEインジケータが点灯し、ビューファインダー画面に再生画が表示されます。

再生を一時停止するには

PLAY/PAUSEボタンを押します。一時停止中はPLAY/PAUSEインジケータが点滅します。もう一度押すと再生モードに戻ります。

高速再生するには

F FWDボタン（24ページ参照）またはF REVボタン（24ページ参照）を押します。標準再生に戻るには、PLAY/PAUSEボタンを押します。

メモリーカードを切り換えるには

メモリーカードを2枚装着しているときは、SLOT SELECT ボタン（28ページ参照）を押して切り換えます。

再生中にメモリーカードを切り換えることはできません。

再生を終了するには

STOPボタンを押す：再生が停止し、本機はE-Eモードになります。

THUMBNAILボタンを押す：再生が停止し、ビューファインダー画面にサムネイル画面（93ページ参照）が表示されます。再生中に記録を開始したりSxSメモリーカードを取り出した場合も、再生が停止し、ビューファインダー画面にカメラ画が表示されます。

記録したクリップを削除する

アサインブルスイッチを使用して直前に記録したクリップを削除することができます（Last Clip DEL機能）。

◆THUMBNAILメニューを使用して、記録した全クリップを一括削除したり（All Clips DEL機能）、任意のクリップを選択して削除する方法については、「クリップを削除する」（106ページ）をご覧ください。

- 1 Last Clip DEL機能が割り当てられたアサインブルスイッチをオンにする（147ページ参照）。確認メッセージが表示されます。
- 2 MENUつまみを回して「Execute」を選択し、つまみを押す。

応用操作

ショットマークを記録する

本機では、HDモードで記録したクリップに対して、2種類のショットマークを任意の位置に記録できます。ショットマークを記録しておくと、編集時にすばやく頭出しすることができます。

1つのクリップに記録できるショットマークの数は127個です。

ご注意

SDモードでショットマークを記録することはできません。

◆THUMBNAILメニューを使用して、任意のクリップにショットマークを追加／削除することもできます。詳しくは、「ショットマークを追加／削除する（HDモードのみ）」（108ページ）をご覧ください。

ショットマークを記録するには

次の2つの方法があります。

- Shot Mark 1またはShot Mark 2機能が割り当てられたアサインブルスイッチをオンにする（146ページ参照）。
- レンズのRETボタンにLens RET機能が割り当てられている場合は、レンズのRETボタンを次のように操作する。
ショットマーク1を記録するには：1回押す。
ショットマーク2を記録するには：すばやく2回押す。

ショットマークが記録されると、ビューファインダー画面のタイムコード表示付近に「ShotMark1」または「ShotMark2」が約3秒間表示されます。

OKマークを設定する

編集時にクリップを選別する目安として、HDモードで記録したクリップに対してOKマークを設定することができます。

ご注意

- SDモードでOKマークを記録することはできません。
- 記録または再生中にOKマークを設定／削除することはできません。

設定／削除するには

THUMBNAILメニューを使用して、任意のクリップに対してOKマークを設定／削除することもできます。詳しくは、「クリップにOKマークを付ける／削除する（HDモードのみ）」（104ページ）をご覧ください。

数秒前の映像から記録する（ピクチャーキャッシュ機能）

本機では、内蔵の大容量メモリーに、本機で撮影している映像／音声データを常時数秒間（最大15秒間）分蓄えておくことにより、記録を開始したとき、その数秒前からの映像を記録することができます。

ピクチャーキャッシュモード／ピクチャーキャッシュ時間の設定

ピクチャーキャッシュモードで記録を始めるには、あらかじめOPERATIONメニューでピクチャーキャッシュモードおよびメモリーへの画像の蓄積時間（ピクチャーキャッシュ時間）を選択しておく必要があります。

記録を開始したときに、記録開始操作の実行から何秒前にさかのぼって記録できるかは、ピクチャーキャッシュ時間によって決まります。次の「ご注意」に挙げるような特殊な場合では、さかのぼって記録できる時間が短くなる場合があります。

ご注意

- メモリーへの画像の蓄積は、ピクチャーキャッシュモードを選択してから開始されます。したがって、選択後すぐに記録を開始した場合は、ピクチャーキャッシュモード選択以前に撮影した映像は記録されません。
- 再生、レックレビュー、およびサムネイル表示を行っている間は、メモリーに画像を蓄えないため、再生やレックレビューを行っていた間の映像をさかのぼって記録することはできません。

ピクチャーキャッシュモード／ピクチャーキャッシュ時間を設定するには

ご注意

- ピクチャーキャッシュレックは、フレームレック、インターバルレック、スロー&クイックモーションと同時に使用することはできません。ピクチャーキャッシュモードを選択すると、フレームレック、インターバルレック、スロー&クイックモーションは無効になります。また、インターバルレック、フレームレック、スロー&クイックモーションのいずれかを有効にすると、ピクチャーキャッシュモードは自動的に解除されます。
- ビデオフォーマットなどのシステム設定を変更すると、メモリーに蓄えられていた画像がクリアされます。変更直後に記録を開始しても、変更前に撮影した映像は記録されません。ピクチャーキャッシュモードは自動的に解除されます。
- 記録中にピクチャーキャッシュ時間を設定することはできません。

1 MENUのOPERATION >Rec Function >Picture Cache Recを選択する。

- ◆メニューの操作については、「セットアップメニューの基本操作」（112ページ）をご覧ください。

2 MENUつまみを回してOnを選択し、つまみを押す。

3 P. Cache Rec Timeを選択し、MENUつまみを回して希望のピクチャーキャッシュ時間を選択し、つまみを押す。

0-2sec、2-4sec、4-6sec、6-8sec、8-10sec、10-12sec、12-14sec、13-15secから選択できます。

一度選択したピクチャーキャッシュモードは、設定を変更するまで保持されます。手順1、2を行う代わりに、Picture Cache機能を割り当てたアサイナブルスイッチを使用して（146ページ参照）ピクチャーキャッシュモードを選択することもできます。

ピクチャーキャッシュモードで記録する場合の本機の動作について

記録の手順は通常とほぼ同じですが、本機の動作には通常と異なる点がありますので、以下の点に充分ご注意ください。

- メディアへのアクセスが行われている間に記録を開始した場合、実際に記録される映像の開始点が、設定されたピクチャーキャッシュ時間よりも遅くなる場合があります。記録クリップ数が多いほど遅くなるため、ピクチャーキャッシュモードでは、すばやい記録停止、記録開始操作はなるべく避けてください。
- F-RUN/SET/R-RUNスイッチの設定にかかわらず、F-RUNモードになります。
- ピクチャーキャッシュモードでは、F-RUN/SET/R-RUNスイッチをSETにしてタイムデータの設定を行うことはできません。タイムデータを設定する場合は、いったんピクチャーキャッシュモードを解除してください。
- 現在選択されているスロット内のメディアの記録可能残量がピクチャーキャッシュ時間よりも少ない場合は、選択されていないスロット内のメディア（十分な記録可能残量があれば）に対して記録が行われます。ただし、選択されていないスロット内にメディアがない場合や、スロット内のメディアの記録可能残量が不十分な場合は、記録は行われません。（ビューファインダー画面に、メディア残量が不足している旨を知らせるメッセージが表示されます。）

- 記録開始操作前にショットマークを設定しても、ショットマークは記録されません。
- ビデオフォーマットがi.LINK HDV出力可能な設定の場合に、ピクチャーキャッシュ記録したクリップを再生すると、同じ画像とタイムコードが数フレーム連続することがあります。
- ピクチャーキャッシュ記録中もi.LINK出力は可能です。ただしピクチャーキャッシュ時間に制限があります。

記録中に本機の電源が切れた場合

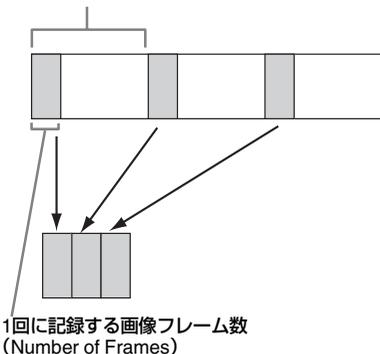
- 本機のPOWERスイッチをOFFにした場合は、その瞬間までメモリーに蓄えられていた映像を記録するため、数秒間メディアにアクセスしてから、自動的に電源が切れます。
- 記録中にバッテリーを取りはずしたり、DCケーブルを引き抜いたり、ACアダプター側の電源を切ったりした場合は、メモリーに蓄積されている映像／音声データが消滅するため、その瞬間までの映像は記録されません。バッテリー交換の際は、充分ご注意ください。

間欠的に映像を記録する（インターバルレック機能）

本機のメモリーを利用して間欠的に映像を取り込み、記録するインターバルレック機能は、主に動きの少ない被写体を撮影するときに有効です。

記録を開始すると、設定したフレーム数（Number of Frames）分の映像を、任意のインターバル（Interval Time）で自動記録できます。

撮影の間隔 (Interval Time)



インターバルレックを有効にしているときは、撮影開始前にビデオライトを自動的に点灯させ、光量、色温度を安定させた状態で撮影を行うことができます（プリライティング機能）。

インターバルレックの設定と撮影

ご注意

- インターバルレックは、ピクチャーキャッシュレック、フレームレック、スロー&クイックモーションと同時に使用することはできません。インターバルレックモードを選択すると、ピクチャーキャッシュレック、フレームレック、スロー&クイックモーションは無効になります。また、ピクチャーキャッシュレック、フレームレック、スロー&クイックモーションのいずれかを有効にすると、インターバルレックモードは自動的に解除されます。
- ビデオフォーマットなどのシステム設定を変更すると、メモリーに蓄えられていた画像がクリアされます。変更直後に記録を開始しても、変更前に撮影した映像は記録されません。インターバルレックモードは自動的に解除されます。
- 記録中にインターバルレックの設定を変更することはできません。
- 以下のフォーマット設定ではインターバルレックは無効です。
 - SP 1440/59.94i または SP 1440/50i で、出力設定が HD、メニューの OPERATION >Input/Output >i.LINK I/O の設定が Enable
 - SP 1440/23.98P（ブルダウン記録）

- HQ 1920/23.98P または HQ 1280/23.98P 以外で、出力設定が SD、メニューの OPERATION >Input/Output >i.LINK I/O の設定が Enable

設定するには

- 1 **メニューのOPERATION >Rec Function >Interval Recを選択する。**
◆メニューの操作については、「セットアップメニューの構成と階層」（110ページ）をご覧ください。
- 2 **MENUつまみを回してOnを選択し、つまみを押す。**
本機はインターバルレックモードになり、ビューファインダー画面で「Interval」の表示が点滅します。
- 3 **Number of Framesを選択し、MENUつまみを回して1回に記録する希望のフレーム数を選択し、つまみを押す。**
1、3、6、9（フォーマットの設定が720/59.94Pまたは720/50Pの場合は2、6、12）から選択できます。
- 4 **Interval Timeを選択し、MENUつまみを回して希望のインターバル選択し、つまみを押す。**
1~10/15/20/30/40/50 sec、1~10/15/20/30/40/50 min、1~4/6/12/24 hourから選択できます。
- 5 **必要に応じてPre-Lightingを選択し、MENUつまみを回して記録開始前のビデオライト点灯時間を選択し、つまみを押す。**
1~10/15/20/30/40/50 sec、1~10/15/20/30/40/50 min、1~4/6/12/24 hourから選択できます。

ご注意

- ビデオライトを記録前に点灯させる場合は、本機のLIGHTスイッチを「AUTO」に設定してください。ビデオライトのスイッチもオンしておく必要があります。このときビデオライトが自動点灯/消灯します。ただし、消灯時間が5秒以下の場合、ビデオライトは連続して点灯します。

- LIGHTスイッチを「MANUAL」に設定し、ビデオライトのスイッチをオンにすると、ビデオライトは常時点灯します。(ビデオライトは自動点灯/消灯しません。)

本機の電源を切るとインターバルレックモードは解除されますが、Number of Frames、Interval Time、Pre-Lightingの設定は保持されます。次回インターバルレックモードで撮影するときに再設定する必要はありません。

撮影するには

「基本操作」(78ページ)にしたがって、記録のための設定や準備を行った後、本機が動かないように固定して撮影を行います。

記録を開始すると、ビューファインダー画面の「Interval」表示が点滅から点灯に変わり、REC表示位置に「INT REC」と「INT STBY」が交互に表示されます。通常の記録時と同様に、TALLYランプとビューファインダー前面のタリーランプが点灯します。プリライティング機能を使用する場合は、記録が始まる前にビデオライトが点灯します。

撮影を終了するには

記録停止の操作を行います。

撮影を終了すると、その瞬間までメモリーに蓄えられていた映像がメディアに記録されます。

インターバルレックモードを解除するには

次のいずれかを実行します。

- POWERスイッチをOFFにする。
- 記録待機中に、メニューのOPERATION > Rec Function > Interval RecをOffに設定する。

記録中の動作制限

- i.LINK (HDV/DV) 端子を使用できません。
- 内蔵タイムコードジェネレーターの歩進モードは、F-RUN/SET/RRUNスイッチの

設定にかかわらず、R-RUNモードになります。

- 音声は記録されません。
- レックレビュー操作は行えません。
- SLOT SELECTボタンを押すと、「Number of Frames」で設定されたフレーム数分の記録を終了してクリップを作成し、別のメディアに切り換えます。
- ゲンロックはかかりません。

本機の電源が切れた場合

- 本機のPOWERスイッチをOFFにした場合は、その瞬間までメモリーに蓄えられていた映像を記録するため、メディアにアクセスしてから、自動的に電源が切れません。
- 記録中にバッテリーを取りはずしたり、DC電源コードを引き抜いたり、ACアダプター側の電源を切ったりした場合は、その瞬間以前に撮影したショット(最大15秒)が記録されないことがあります。バッテリー交換の際は充分ご注意ください。

コマ撮りする(フレームレック機能)

フレームレック機能は、クレイアニメなどの撮影をするときに有効です。

記録開始ボタンを押すたびに、あらかじめ設定したフレーム数(Number of Frames)だけ間欠的に映像を記録します。

フレームレックの設定と撮影

ご注意

- フレームレックは、ピクチャーキャッシュレック、インターバルレック、スロー&クイックモーションと同時に使用することはできません。フレームレックモードを選択すると、ピクチャーキャッシュレック、インターバルレック、スロー&クイックモーションは無効になります。また、ピクチャーキャッシュレック、インターバルレック、スロー&クイックモーションのいずれかを有効にすると、フレームレックモードは自動的に解除されます。

- ビデオフォーマットなどのシステム設定を変更すると、メモリーに蓄えられていた画像がクリアされます。変更直後に記録を開始しても、変更前に撮影した映像は記録されません。フレームレックモードは自動的に解除されます。
- 記録中にフレームレックの設定を変更することはできません。
- 以下のフォーマット設定ではフレームレックは無効です。
 - SP 1440/59.94i または SP 1440/50i で、出力設定が HD、メニューの OPERATION >Input/Output >i.LINK I/O の設定が Enable
 - SP 1440/23.98P（ブルダウン記録）
 - HQ 1920/23.98P または HQ 1280/23.98P 以外で、出力設定が SD、メニューの OPERATION >Input/Output >i.LINK I/O の設定が Enable

設定するには

- 1** **メニューのOPERATION >Rec Function >Frame Recを選択する。**
◆メニューの操作については、「セットアップメニューの基本操作」（112ページ）をご覧ください。
- 2** **MENUつまみを回してOnを選択し、つまみを押す。**
本機はフレームレックモードになり、ビューファインダー画面で「Frame Rec」の表示が点滅します。
- 3** **Number of Framesを選択し、MENUつまみを回して1回に記録する希望のフレーム数を選択し、つまみを押す。**
1、3、6、9（フォーマットの設定が720/59.94Pまたは720/50Pの場合は2、6、12）から選択できます。

本機の電源を切るとフレームレックモードは解除されますが、Number of Framesの設定は保持されます。次回フレームレックモードでの撮影時に再設定する必要はありません。

撮影するには

「基本操作」（78ページ）にしたがって、記録のための設定や準備を行った後、本機が動かないように固定して撮影を行います。

記録を開始すると、ビューファインダー画面の「Frame Rec」表示が点滅から点灯に変わり、REC表示位置に「FRM REC」と「FRM STBY」が交互に表示されます。通常の記録時と同様に、TALLYランプとビューファインダー前面のタリーランプが点灯します。

撮影を終了するには

記録停止の操作を行います。

撮影を終了すると、その瞬間までメモリーに蓄えられていた映像がメディアに記録されます。

フレームレックモードを終了するには 次のいずれかを実行します。

- POWERスイッチをOFFにする。
- 記録待機中に、メニューのOPERATION >Rec Function >Frame RecをOffに設定する。

記録中の動作制限

- i.LINK（HDV/DV）端子を使用できません。
- 内蔵タイムコードジェネレーターの歩進モードは、F-RUN/SET/RRUNスイッチの設定にかかわらず、R-RUNモードになります。
- 音声は記録されません。
- レックレビュー操作は行えません。
- SLOT SELECTボタンを押すと、「Number of Frames」で設定されたフレーム数分の記録を終了してクリップを作成し、別のメディアに切り換えます。
- ゲンロックはかかりません。

本機の電源が切れた場合

- 本機のPOWERスイッチをOFFにした場合は、その瞬間までメモリーに蓄えられていた映像を記録するため、メディアにアクセスしてから、自動的に電源が切れます。
- 記録中にバッテリーを取りはずしたり、DC電源コードを引き抜いたり、ACアダプター側の電源を切ったりした場合は、その瞬間以前に撮影したショット（最大10

秒)が記録されないことがあります。
バッテリー交換の際は充分ご注意ください。

スロー&クイックモーション撮影する

本機がHDモードで、ビデオフォーマット(56ページ)が下記のいずれかに設定されているときは、記録時のフレームレートを再生時のフレームレートと異なる値に設定することができます。

Countryの設定がNTSC Area/NTSC

Area(J)の場合: HQ 1920/29.97P、HQ 1920/23.98P、HQ 1280/59.94P、HQ 1280/29.97P、HQ 1280/23.98P

Countryの設定がPAL Areaの場合:

HQ 1920/25P、HQ 1280/50P、HQ 1280/25P

再生フレームレートと異なるフレームレートで撮影することによって、通常の数値で撮影した映像を低速再生したり高速再生するよりも、滑らかなスローモーション、クイックモーション映像が得られます。

例

ビデオフォーマットがHQ 1280/23.98Pのとき、フレームレートを1~23に設定して撮影するとクイックモーション映像になり、フレームレートを25~60に設定して撮影するとスローモーション映像になります。

スロー&クイックモーションの設定と撮影

設定するには

ご注意

- スロー&クイックモーションは、ピクチャーキャッシュレック、インターバルレック、フレームレックと同時に使用することはできません。スロー&クイックモーションモードを選択すると、ピクチャーキャッシュレック、インターバルレック、フレームレックは無効になります。

また、ピクチャーキャッシュレック、インターバルレック、フレームレックのいずれかを有効にすると、スロー&クイックモーションモードは自動的に解除されます。

- スローシャッター設定時(シャッター表示が「SLS」の場合)は、スロー&クイックモーションは無効になります。また、スロー&クイックモーションモード時は、スローシャッター設定は無効になります。
- メニューのOPERATION > Input/Output > i.LINK I/Oの設定がEnableの場合、スロー&クイックモーションは無効になります。また、スロー&クイックモーションモード時は、i.LINK I/OはDisableに固定されます。
- 記録中にスロー&クイックモーションの設定を変更することはできません。

1 メニューのOPERATION > Rec Function > Slow & Quickを選択する。

◆メニューの操作については、「セットアップメニューの基本操作」(112ページ)をご覧ください。

2 MENUつまみを回してOnを選択し、つまみを押す。

本機はスロー&クイックモーションモードになり、ビューファインダー画面で「S&Q STBY」の表示が点灯されます。

3 Frame Rateを選択し、MENUつまみを回して記録フレームレートを選択し、つまみを押す。

フレームレートの設定範囲は次のとおりです。

システム周波数	フレームレート
1080	1~30
720	1~60

設定完了後、ビューファインダー画面上部にシステム周波数とフレームレートが表示されます。この表示を見ながら、MENUつまみでフレームレートを変更することもできます。

本機の電源を切ってもスロー&クイックモーションモードとFrame Rateの設定は保持されます。

撮影するには

「基本操作」(78ページ)にしたがって撮影を行います。

記録を開始すると、ビューファインダー画面の「S&Q STBY」表示が「● S&Q REC」になります。通常の記録時と同様に、TALLYランプ、ビューファインダー前面のタリランプも点灯します。

撮影を終了するには

記録停止の操作を行います。

ご注意

Frame Rateを小さい値(遅いフレームレート)に設定すると、記録停止操作を行ってから記録を停止するまでの時間が長くなります。

スロー&クイックモーションモードを終了するには

記録待機中に、メニューのOPERATION >Rec Function >Slow & QuickをOffに設定します。

記録中の動作制限

- i.LINK (HDV/DV) 端子を使用できません。
- 内蔵タイムコードジェネレーターの歩進モードは、F-RUN/SET/RRUNスイッチの設定にかかわらず、R-RUNモードになります。
- 再生フレームレートと異なる記録フレームレートを選択した場合、音声は記録されません。
- レックレビュー操作は行えません。
- 記録フレームレートを現在のシャッタースピードの設定値より速い値に変更すると、シャッタースピードは撮影可能な最も遅い値に変更されます。
例：フレームレート32でシャッタースピード $\frac{1}{40}$ のときに、フレームレートを55に変更するとシャッタースピードは $\frac{1}{60}$ に変更される。
また、記録フレームレートより遅いシャッタースピードを選択することはできません。
- ゲンロックはかかりません。

フリーズミックス機能を使ってフレーミングする

フリーズミックス機能を使うと、HDモードで記録したクリップの映像の静止画(フリーズ画)と、カメラ入力画像を一時的に重ね合わせて表示することができるため、フレーミング(位置合わせ)が容易に行えます。

ご注意

以下の場合、フリーズミックス機能は使用できません。

- 記録フォーマットがSP 1440/23.98Pに設定されている
- 記録画像とカメラ画のビデオフォーマットが異なる
- スロー&クイックモーションモード時またはスローシャッター撮影時
- i.LINK入力時

フリーズミックス表示する

- 1 カメラ入力画像と同じフォーマットのクリップを再生またはレックレビューする。
- 2 位置合わせをしたい画像が表示されたら、Freeze Mix機能を割り当てたアサインナブルスイッチをオンにする。レビュー画像が、フリーズ画としてカメラ画に重ねて表示されます。

ご注意

フリーズミックス表示中は、以下の操作や表示は無効になります。

- メニュー操作
- フォーカス拡大
- マーカー表示
- ゼブラ表示
- ピーキング表示
- スキンディテール表示

フリーズミックス表示を解除する

次のいずれかを行います。

- Freeze Mix機能を割り当てたアサイナブルスイッチを再度押す。
フリーズミックス表示が解除され、通常のカメラ画が表示されます。
- 記録を開始する（78ページ参照）。
通常の記録が始まります。

プランニングメタデータの操作

プランニングメタデータとは、撮影・記録の計画情報が記述されているXMLファイルです。

```
<?xmlsversion="1.0"spencoding="UTF-8"?>
<PlanningMetadata
xmlns="http://xmihs.sony.net/pro/metadata/planningmetadata"
assignId="P0001" creationDate="2011-08-20T17:00:00+09:00"
lastUpdate="2011-09-28T10:30:00+09:00" load="false" version="1.00">
<PropertyssppropertyId="assignment" update="2011-08-20T09:00:00+09:00"
modifiedBy="Chris">
<TitlesusAscii="Typhoon" xml:lang="ja">台風上陸</Title>
</Properties>
</PlanningMetadata>
```

プランニングメタデータファイルの例

プランニングメタデータファイルで、あらかじめ定義したクリップ名やショットマーク名を使用して、撮影を行うことができます。

本機では、以下の言語で定義されたクリップ名やショットマーク名を表示することができます。

- 英語
- 中国語
- ドイツ語
- フランス語¹⁾
- イタリア語
- スペイン語
- オランダ語¹⁾
- ポルトガル語
- スウェーデン語
- ノルウェー語
- デンマーク語
- フィンランド語¹⁾

1)一部の文字が他の類似のフォントで表示されます。

ご注意

- 上記以外の言語でクリップ名やショットマーク名を定義した場合、ビューファインダー画面に表示されない場合があります。

- 日本語でクリップ名やショットマーク名を定義すると、一部の文字が他のフォントに置き換えられ、正しく表示されないことがあります。ビューファインダー画面には、アルファベット、数字、記号のみ表示できます。

プランニングメタデータファイル をカムコーダーのメモリーに読 み込む

クリップの記録時にプランニングメタデータファイルを一緒に記録するには、撮影前にプランニングメタデータファイルをカムコーダーのメモリーに読み込んでおく必要があります。

次の2つの方法で、ファイルを読み込むことができます。

- SxSメモリーカードの下表に示すディレクトリーに保存されたファイルを読み込む。

メディア	保存先ディレクトリー
SxSメモリーカード	BPAV/General/Sony/Planning
SDHC	PRIVATE/SONY/BPAV/General/Sony/Planning

- 本機とコンピューターをWi-Fi接続している場合は、コンピューターから本機のWebメニューにアクセスしてファイルを送信する。
 - ◆ Webメニューを使用してプランニングメタデータファイルを読み込む方法については、「Manuals for Solid-State Memory Camcorder」のCD-ROMに収録されているSupplement（サプリメント）をご覧ください。

メニュー操作で読み込むには

メニューのOPERATION >Plan.Metadataで以下の操作を行います。

- メモリーカードスロットAまたはBにSxSメモリーカードを挿入し、Load/

Slot(A)またはLoad/Slot(B)をExecuteに設定する。

ファイルリストが表示されます。

ご注意

ファイルリストには、ファイルは64個まで表示されます。プランニングメタデータファイルの総数が64個以下であっても、SxSメモリーカード内のプランニングメタデータファイルと同じディレクトリー（General/Sony/Planning）に512個以上のファイルがあると、すべてのプランニングメタデータファイルが表示されないことがあります。

- MENUつまみを回してファイルリストから読み込みたいファイルを選択し、つまみを押す。

読み込んだプランニングメタデータの 詳細情報を確認するには

本機のメモリーに読み込んだプランニングメタデータのファイル名や作成日時、タイトルなどの詳細情報を確認することができます。

- メニューのOPERATION >Plan.Metadata >PropertiesでExecuteを選択する。
- MENUつまみを回して「Execute」を選択して、つまみを押す。PLANNING METADATA PROPERTIESリストが表示されます。以下の情報が表示されます。

項目	情報
File Name	ファイル名
Assign ID	アサインID
Created	ファイルの生成日時
Modified	ファイルの最終更新日時
Modified by	ファイルの更新者
Title	ファイルで指定されたTitle1の内容（ASCII形式のクリップ名）

項目	情報
Title2	ファイルで指定されたTitle2の内容 (UTF-8形式のクリップ名)
Material Gp	マテリアルグループ ^{a)} の数
Shot Mark0~ Shot Mark9	ファイルで定義されたショットマーク0~ショットマーク9の名前

a)マテリアルグループ：同じプランニングメタデータを使用して収録したクリップ群

MENUつまみを回してリストをスクロールすることができます。
MENUつまみを回して項目を選択し、SETボタンを押すと、選択した項目だけを表示することができます。

読み込んだプランニングメタデータを消去するには

- 1 **メニューのOPERATION**
>Plan.Metadata >ClearでExecuteを選択する。
- 2 **MENUつまみを回して「Execute」を選択して、つまみを押す。**
消去が始まります。
消去が完了すると、「Clear Planning Metadata File OK」が表示されます。

プランニングメタデータでクリップ名を設定する

プランニングメタデータには、次の2種類のクリップ名文字列を記述することができます。

- ビューファインダー画面上に表示されるASCII形式の名称
- 実際にクリップ名として登録されるUTF-8形式の名称

メニューのOPERATION >Plan.Metadata >Clip Name Dispで、どちらのクリップ名を表示するか選択することができます。

プランニングメタデータでクリップ名を設定すると、ビューファインダー画面の被写界深度表示の下にクリップ名が表示されません。

【注意】

プランニングメタデータでクリップ名を設定するときに、ASCII形式の名称とUTF-8形式の名称が両方とも定義されている場合はUTF-8形式の名称がクリップ名となります。プランニングメタデータで、ASCII形式の名称またはUTF-8形式の名称のどちらか一方しか定義していない場合は、メニューの設定にかかわらず定義されているクリップ名が表示されます。

クリップ名文字列の記述例

テキストエディターを使用して、<Title>タグの内容を変更します。

網掛け部分がクリップ名文字列です。

「Typhoon」はASCII形式（44文字以下）で記述しています。「台風東京上陸」はUTF-8形式（44バイト以下）で記述しています。「sp」はスペース、←は改行を表します。

```
<?xmlspversion="1.0"spencoding="UTF-8"?>←
<PlanningMetadataspxmlns="http://xmlns.sony.net/pro/metadata/planningmetadata"spassignId="P0001"spcreationDate="2011-08-20T17:00:00+09:00"splastUpdate="2011-09-28T10:30:00+09:00"spversion="1.00">←
  <PropertiessppropertyId="assignment"spupdate="2011-09-28T10:30:00+09:00"spmodifiedBy="Chris">←
    <TitlespusAscii="Typhoon"spxml:lang="ja">台風東京上陸
  </Title>←
</Properties>←
</PlanningMetadata>←
```

ご注意

- 実際にファイルを作成する場合は、改行位置でのみ改行し、「sp」が表示されていない位置にはスペースを入れずに1つの文として記述してください。
 - クリップ名に使用できる有効文字数は44バイト（または44文字）です。
UTF-8形式で44バイトを超えるクリップ名を定義すると、44バイトまでの文字列がクリップ名に使用されます。
ASCII形式のクリップ名のみ定義している場合は、ASCII形式の44文字までの文字列がクリップ名に使用されます。
ASCII形式で記述した文字列、UTF-8形式で記述した文字列が、いずれもクリップ名として使用できない場合、クリップ名は標準形式となります。
- ◆ Wi-Fiアダプター CBK-WA01に付属のSony Planning Metadata Add-inを使用して、クリップ名を設定することもできます。詳しくは、CBK-WA01の取扱説明書をご覧ください。

クリップ名を設定するには

- 1 クリップ名を記述したプランニングメタデータファイルを本機のメモリーに読み込む。
- 2 メニューのOPERATION >Clip >Auto NamingをPlanに設定する。
記録を行うたびに、プランニングメタデータファイルに記述したクリップ名が、アンダーバー (_) と5桁の通し番号 (00001~99999) が付加された形式で自動生成されます。
例：台風東京上陸_00001、台風東京上陸_00002、...

通し番号が99999に達したら、次の記録操作で00001に戻ります。

ご注意

他のプランニングメタデータを読み込むと、次の記録操作で通し番号は00001に戻ります。

クリップ名の表示形式を選択するには

ASCII形式とUTF-8形式の両方の名前を定義しているときは、どちらの形式の名前をビューファインダー画面に表示するかを、メニューのOPERATION >Clip >Clip Name Dispで選択することができます。

ASCII形式の名前を表示するときは：

Title1(ASCII)を選択します。
クリップ名は「台風東京上陸_通し番号」となりますが、画面には「Typhoon_通し番号」が表示されます。

UTF-8形式の名前を表示するときは：

Title2(UTF-8)を選択します。
クリップ名は「台風東京上陸_通し番号」となり、画面に表示されます。

ご注意

日本語のクリップ名は、一部の文字が他のフォントで表示されることがあります。

プランニングメタデータでショットマーク名を設定する

プランニングメタデータでショットマークを設定する場合、Shot Mark0~Shot Mark9の名前を設定することができます。
ショットマークを記録するときに、プランニングメタデータで定義したショットマーク名文字列を付けて記録することができます。

ご注意

ショットマーク1、2のみ本機の操作で記録できます。本機とコンピューターをWi-Fi接続している場合は、コンピューターからの操作によりショットマーク3~9およびショットマーク0を記録できます。

ショットマーク名文字列の記述形式

テキストエディターを使用して、<Meta name>タグの内容を変更します。

網掛け部分がショットマーク名文字列です。
ASCII形式（32文字以下）、またはUTF-8形
式（16文字以下）で記述します。

「sp」はスペース、← は改行を表します。

ご注意

ASCII形式以外の文字が1文字以上含まれてい
れば、その文字列の最大長は16文字になりま
す。

```
<?xml_sp version="1.0" _sp encoding="
UTF-8"?>←
<PlanningMetadata xmlns="http://
xmlns.sony.net/pro/metadata/
planningmetadata" _sp assignId="
H00123" _sp creationDate="
2011-04-15T08:00:00Z" _sp lastUpdate="
2011-04-15T15:00:00Z" _sp version="
"1.00">←
<Properties_sp propertyId=
"assignment" _sp class="original" _sp
update="2011-04-15T15:00:00Z" _sp
modifiedBy="Chris">←
  <Title_sp usAscii="Football
  Game" _sp xml:lang="ja">
  Football Game 15/04/2011</
  Title>←
    <Meta_sp name="_ShotMark1" _sp
    content="Goal" />←
    <Meta_sp name="_ShotMark2" _sp
    content="Shoot" />←
    <Meta_sp name="_ShotMark3" _sp
    content="Corner Kick" />←
    <Meta_sp name="_ShotMark4" _sp
    content="Free Kick" />←
    <Meta_sp name="_ShotMark5" _sp
    content="Goal Kick" />←
    <Meta_sp name="_ShotMark6" _sp
    content="Foul" />←
    <Meta_sp name="_ShotMark7" _sp
    content="PK" />←
    <Meta_sp name="_ShotMark8" _sp
    content="1st Half" />←
    <Meta_sp name="_ShotMark9" _sp
    content="2nd Half" />←
```

```
<Meta_sp name="_ShotMark0" _sp
content="Kick Off" />←
</Properties>←
</PlanningMetadata>←
```

ご注意

実際にファイルを作成する場合は、改行位置での
み改行し、ショットマーク名文字列以外では
「sp」が表示されていない位置にスペースを入
れずに1つの文として記述してください。

- ◆ Wi-Fiアダプター CBK-WA01に付属のSony
Planning Metadata Add-inを使用して、
エッセンスマーク名を設定することもできま
す。詳しくは、CBK-WA01の取扱説明書を
ご覧ください。

5章 クリップ操作

クリップの再生

E-E/再生モード時にTHUMBNAILボタンを押すと、「サムネイル画面」が表示され、SxSメモリーカードに収録されているクリップの代表画がサムネイル（縮小画）として一覧表示されます。（クリップが記録さ

れていないメモリーカードを入れた場合は、メッセージが表示されます。）

サムネイル画面では、任意のクリップを選択し（96ページ参照）、そのクリップから再生を開始する（96ページ参照）ことができます。

サムネイル画面

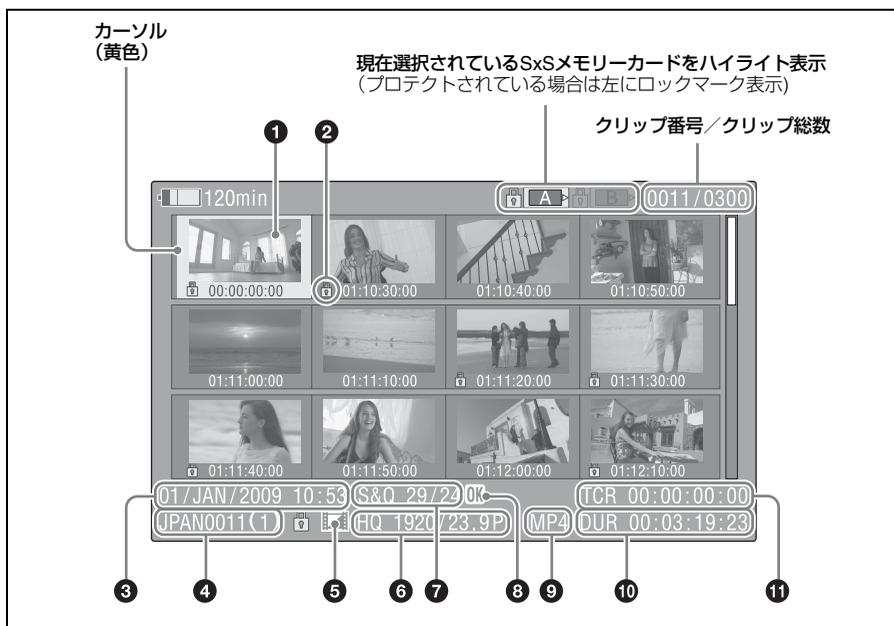
各クリップのサムネイルの下に、代表画のタイムコードが表示されます（OKマークが付加されている場合はOKマークも表示）。

ご注意

通常のサムネイル画面では、同じSxSメモリーカードにHDモードとSDモードのクリップが混在して記録されている場合でも、現在メニューのOPERATION >Format >HD/SD で選択されているモード（115ページ参照）のクリップのみ表示されます。

HD/SDモードにかかわらず記録されている全クリップを表示したい場合は、オールクリップサムネイル画面（102ページ）に切り換えます。ただし、オールクリップサムネイル画面から再生を開始することはできません。

HDモード時のサムネイル画面



① 代表画

記録時にはクリップの先頭フレームが自動的に代表画に設定されます。任意のフレームに変更することもできます（109ページ参照）。

② ロックマーク

選択したクリップにOKマークが付加され、かつプロテクトされていることを示します。

③ 収録日と録画開始時刻

④ クリップ名

⑤ AV単独ファイルアイコン

選択したクリップがAV単独ファイルの場合のみ表示されます。コンピューターでSxSメモリーカードに直接追加したファイルなど正規の管理ファイルがない場合、すべての操作と表示ができない可能性があることを示します。

⑥ 記録時のビデオフォーマット

⑦ 特殊記録撮影情報

特殊記録モード（スロー&クイックモーション／インターバルレック／フレームレック）で記録されたクリップの場合は、そのモードが表示されます。スロー&クイックモーション記録されたクリップの場合は、右に[撮影フレームレート／再生フレームレート]が表示されます。

⑧ OKマーク

選択したクリップにOKマーク（104ページ参照）が付加されている場合のみ表示されます。

⑨ ファイルフォーマット表示

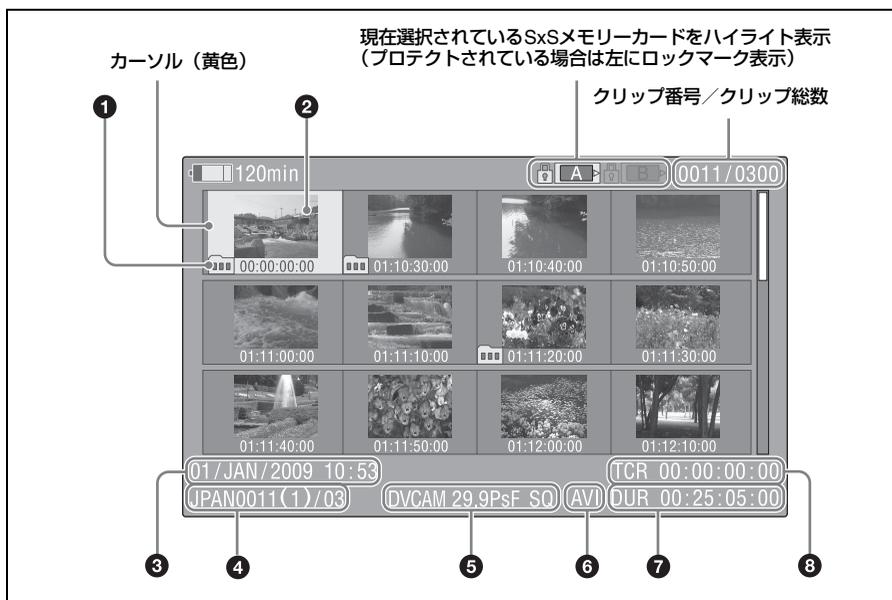
選択したクリップのファイルフォーマット（MP4）が表示されます。

⑩ クリップの収録時間（Duration）

⑪ タイムコード

代表画のタイムコードが表示されます。

SDモード時のサムネイル画面

**① テイクマーク**

ファイルサイズが2GBを超えて分割保存されたクリップであることを示します。それぞれの分割ファイルは、エクスパンドサムネイル画面（106ページ参照）のみでみることができます。

② 代表画

記録時にはクリップの先頭フレームが自動的に代表画に設定されます。

③ 収録日と録画開始時刻**④ クリップ名/分割数**

ファイルサイズが2GBを超えて分割保存されたクリップの場合のみ、クリップ名の後に（/スラッシュ）で区切ってクリップの分割数を表示します。

⑤ 記録時のビデオフォーマット**⑥ ファイルフォーマット表示**

選択したクリップのファイルフォーマット（AVI）が表示されます。

⑦ クリップの収録時間（Duration）**⑧ タイムコード**

代表画のタイムコードが表示されます。

SxSメモリーカードを切り換えるには

SxSメモリーカードが2枚装着されているときは、SLOT SELECTボタンを押して切り換えます。

ご注意

エクスパンドサムネイル画面（106ページ参照）またはショットマーク（エッセンスマーク）サムネイル画面（108ページ参照）を表示しているときは、SxSメモリーカードを切り換えられません。

サムネイル画面を消すには

THUMBNAILボタンを押します。

クリップを再生する

クリップのサムネイルを選択するには

以下のいずれかの操作により、選択したいサムネイルに黄色いカーソルを合わせます。

- 矢印 (↑、↓、←、→) ボタンを押す。
- MENUつまみを回す。
- PREVまたはNEXTボタンを押す。

先頭のサムネイルを選択するには

F REVボタンを押したままPREVボタンを押します。

最終のサムネイルを選択するには

F FWDボタンを押したままNEXTボタンを押します。

選択したクリップ以降のクリップを連続再生するには

- 1 再生を開始したいクリップのサムネイルを選択する。
- 2 PLAY/PAUSEボタンを押す。
選択したクリップの先頭から再生が始まります。

選択したクリップ以降のすべてのクリップを連続再生します。

最後のクリップの再生が終わると、最後のクリップの最終フレームで一時停止（静止画）モードになります。

THUMBNAILボタンを押すと、サムネイル画面に戻ります。

ご注意

- クリップとクリップの境界では、一時的に画像が乱れたり、静止画になる場合があります。またこの間は、再生コントロールボタンやTHUMBNAILボタンは操作できません。
- サムネイル画面でクリップを選択して再生を開始すると、クリップの先頭部分の再生映像が乱れる場合があります。クリップの先頭から乱れない映像で再生するには、一度再生モードに

した後で一時停止にし、PREVボタンを押してクリップの先頭に戻して再生を行ってください。

- HDモードとSDモードのクリップが混在記録されているSxSメモリーカードでは、すべてのクリップを連続して再生することはできません。たとえば、HDモード時のサムネイル画面が表示されている場合は、HDモードのクリップのみが連続再生されます。

再生を一時停止するには

PLAY/PAUSEボタンを押します。

一時停止中はPLAY/PAUSEインジケーターが点滅します。

もう一度押すと再生モードに戻ります。

高速再生するには

F FWDボタン（24ページ参照）またはF REVボタン（24ページ参照）を押します。標準再生に戻るには、PLAY/PAUSEボタンを押します。

再生を終了するには

STOPボタンを押す：再生が停止し本機はE-Eモードになります。

THUMBNAILボタンを押す：再生が停止し、ビューファインダー画面にサムネイル画面（93ページ参照）が表示されます。

再生中にメモリーカードを取り出した場合も、再生が停止し、ビューファインダー画面にカメラ画が表示されます。

頭出しするには

現在のクリップの先頭に戻るには

PREVボタンを押します。

- 再生中またはF FWD中に押すと、現在のクリップの先頭にジャンプして再生を開始します。
- F REV中または一時停止中に押すと、現在のクリップの先頭にジャンプして静止画を表示します。
- 続けて押すと、押すたびに1つずつ前のクリップに移動します。

最初のクリップの先頭から再生するには

PREVボタンとF REVボタンを同時に押すと、SxSメモリーカードの最初に記録されたクリップの先頭にジャンプします。

後ろのクリップの先頭にジャンプするには

NEXTボタンを押します。

- 再生中またはF FWD中に押すと、次のクリップの先頭にジャンプして再生を開始します。
- F REV中または一時停止中に押すと、次のクリップの先頭にジャンプして静止画を表示します。
- 続けて押すと、押すたびに1つずつ後ろのクリップに移動します。

最後のクリップの先頭から再生するには

F FWDボタンとNEXTボタンを同時に押すと、SxSメモリーカードの最後に記録されたクリップの先頭にジャンプします。

再生中にショットマークを追加するには (HDモードのみ)

記録時と同じ操作で (80ページ参照)、再生中のクリップにショットマークを追加することができます。

ご注意

- SxSメモリーカードがプロテクトされている場合にはショットマークは記録できません。
- 各クリップの先頭フレームと末尾クリップの最終フレームにはショットマークは記録できません。

クリップをサムネイルサーチする

サムネイル画面を次のようなサーチ画面に切り換えて、目的のクリップを見つけやすくすることができます。

- エクスパンドサムネイル画面

- ショットマークサムネイル画面 (HDモード時)

いずれの画面でも、通常のサムネイル画面やOKクリップサムネイル画面と同様に、クリップのサムネイルを選択したり (96ページ参照)、クリップの再生を開始する (96ページ参照) ことができます。

エクスパンドサムネイル画面でクリップをサーチするには

エクスパンドサムネイル画面は、サムネイル画面でクリップを選択し、EXPANDボタン (24ページ参照) を押すかメニューのTHUMBNAIL >Thumbnail View >Forward Expansionを選択すると、次のように表示されます。

HDモード時：選択したクリップを時間で12分割し、各ブロックの先頭フレームをサムネイルとして表示します。

SDモード時：ファイルサイズが2GBを超えて分割保存されたクリップの場合のみ、分割されたファイルの先頭のフレームをサムネイルとして表示します。

記録時間の長いクリップの目的のシーンをすばやく頭出ししたい場合に有効です。

- ◆ エクスパンドサムネイル画面について詳しくは、「エクスパンドサムネイル画面を表示する」(106ページ) をご覧ください。

ショットマークサムネイル画面でクリップをサーチするには (HDモードのみ)

ショットマークサムネイル画面は、クリップに1つ以上のショットマークが記録されている場合に、ショットマークの付加されているフレームだけをサムネイル形式で表示します。サムネイル画面を表示して、ESSENCE MARKボタン (26ページ参照)

を押すかメニューのTHUMBNAIL
>Thumbnail View >Essence Mark
Thumbnailを選択すると表示されます。

- ◆ショットマークサムネイル画面について詳しくは、「ショットマークサムネイル画面を表示する（HDモードのみ）」（108ページ）をご覧ください。

サムネイル操作

THUMBNAILメニューを使用してクリップのサムネイル操作、詳細情報の確認、付随データの変更などが可能です。

THUMBNAILメニュー構成

メニュー項目	細目	内容
Clip Properties	—	詳細情報を表示する (103ページ参照)
Set Index Picture ^{a)}	—	エクスパンドサムネイル画面およびショットマークサムネイル画面で代表画を変更する (109ページ参照)
Thumbnail View	Forward Expansion	<ul style="list-style-type: none"> エクスパンドサムネイル画面を表示する (106ページ参照) エクスパンドサムネイル画面で、クリップの分割数を増やす (107ページ参照)
	Back Expansion	エクスパンドサムネイル画面で、クリップの分割数を減らす
	Essence Mark Thumbnail ^{a)}	ショットマークサムネイル画面を表示する (108ページ参照)
	Clip Thumbnail	通常のサムネイル画面を表示する
	All Clip Thumbnail	オールクリップサムネイル画面を表示する (102ページ参照)
Set Shot Mark ^{a)}	Add Shot Mark1	エクスパンドサムネイル画面およびショットマークサムネイル画面でショットマーク1を付加する (108ページ参照)
	Delete Shot Mark1	エクスパンドサムネイル画面およびショットマークサムネイル画面でショットマーク1を削除する (109ページ参照)
	Add Shot Mark2	エクスパンドサムネイル画面およびショットマークサムネイル画面でショットマーク2を付加する (108ページ参照)
	Delete Shot Mark2	エクスパンドサムネイル画面およびショットマークサムネイル画面でショットマーク2を削除する (109ページ参照)
Add OK Mark ^{a)}	—	OKマークを付加し、クリップを保護する (104ページ参照)
Delete OK Mark ^{a)}	—	OKマークを削除し、クリップの保護を解除する (104ページ参照)
Copy Clip	—	クリップをコピーする (104ページ参照)
Delete Clip	—	クリップを削除する (106ページ参照)
Divide Clip ^{a)}	—	クリップを分割する (109ページ参照)
Filter Clips ^{a)}	—	OKクリップサムネイル画面を表示する (101ページ参照)
Copy All	All Clips	クリップ/ファイルを一括コピーする (105ページ参照)
	General Files	
	All Clips & General Files	

メニュー項目	細目	内容
Delete All Clips	Execute/Cancel	保護されていないすべてのクリップを削除する（106ページ参照）

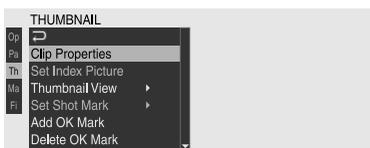
a)HDモードのみ

THUMBNAILメニューの基本操作

- ◆メニューの操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(112ページ)をご覧ください。

THUMBNAILメニューを表示するには

- 1 THUMBNAILボタンを押してサムネイル画面を表示する。
- 2 MENU ON/OFFスイッチをONにするかMENUボタンを押す。
- 3 MENUつまみを回して「TH」を選択し、つまみを押す。または、、ボタンを押して「TH」を選択し、SETボタンを押す。
THUMBNAILメニューが表示されます。



THUMBNAILメニューを消すときは、もう一度MENUボタンを押します。

メニュー項目／細目を選択するには

次のいずれかの操作を行います。

- MENUつまみを回して項目／細目を選択し、つまみを押す。
- 矢印(, , , )ボタンを押して項目／細目を選択し、SETボタンを押す。選択したメニュー項目／細目に応じて、選択リストまたはクリップの詳細情報画面(103ページ参照)が表示されます
MENU CANCEL/PRST/ESCAPEスイッチをESCAPE側に押し下げると、1つ上の階層に戻ります。

ご注意

- SxSメモリーカードがプロテクトされているときは、クリップのコピー・削除・分割、代表画の変更、OKマーク・ショットマークの付加／削除はできません。
- メニューを表示させたときの状態によって選択できない項目があります。

クリップの詳細情報画面を消すには

次のいずれかの操作を行います。

RESET/RETURNボタンを押す：

THUMBNAILメニュー画面に戻ります。

THUMBNAILボタンを押す：本機はE-Eモードになり、カメラ画が表示されます。

PLAY/PAUSEボタンを押す：選択されているクリップから再生が始まります。

サムネイル画面の種類を変更する

OKクリップサムネイル画面を表示するには (HDモード)

OKクリップサムネイル画面には、選択されているSxSメモリーカードに記録されたクリップの中で、OKマークが付加されたクリップのみが表示されます。通常のサムネイル画面が表示されているときにメニューのTHUMBNAIL > Filter Clipsを選択すると、OKクリップサムネイル画面に切り替わります。

- ◆OKマークを付加する方法については、「クリップにOKマークを付ける／削除する (HDモードのみ)」(104ページ)をご覧ください。

オールクリップサムネイル画面を表示するには

オールクリップサムネイル画面に切り換えると、HDモード、SDモードにかかわらず、記録されているすべてのクリップが表示され、選択されているSxSメモリーカードに他のモードのクリップも記録されているかどうかを確認することができます。

通常のサムネイル画面が表示されているときに、メニューのTHUMBNAIL > All Clip Thumbnailを選択すると、オールクリップサムネイル画面に切り替わります。

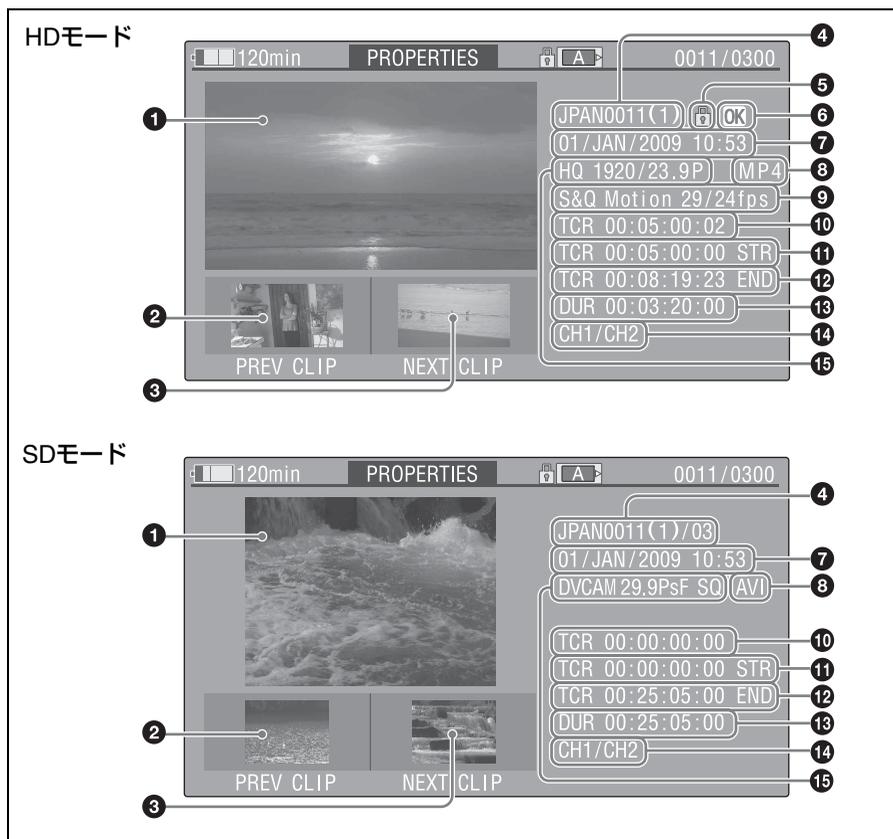
RESET/RETURNボタンを押すと通常のサムネイル画面に戻り、再生やクリップ操作が可能になります。

注意

オールクリップサムネイル画面から再生を開始することはできません。

クリップの詳細情報を表示する

THUMBNAILメニューでClip Propertiesを選択すると、クリップの詳細情報画面が表示されます。



- 1 現在のクリップの画像
- 2 前のクリップの画像
PREVボタンを押すと、1つ前のクリップの詳細情報画面になります。
- 3 次のクリップの画像
NEXTボタンを押すと、次のクリップの詳細情報画面になります。
- 4 クリップ名
SDモードでは、ファイルサイズが2GBを超えて分割保存されたクリップの場合のみ、

クリップ名の後にクリップ分割数が表示されます。

12文字以上のクリップ名の場合、最初の5文字と最後の5文字のみ表示されます。省略された部分を確認したいときは、MENUつまみを押しながロング表示モードに切り替わります。ロング表示モードではクリップ名が最大53文字表示されます。もう一度MENUつまみを押しながロング表示モードは解除されます。PREVまたはNEXTボタンで前または次のクリップに切り換え

た場合にも、ロング表示モードは解除されます。

ロング表示モードは最大53文字まで表示できます。

⑤ ロックマーク (HDモードのみ)

OKマークが付加され、かつプロテクトされている場合に表示されます。

⑥ OKマーク (HDモードのみ)

OKマークが付加されている場合のみ表示されます。

⑦ 収録日と録画開始時刻

⑧ ファイルフォーマット表示

ファイルフォーマット (MP4またはAVI) が表示されます。

⑨ 特殊記録撮影情報 (HDモードのみ)

特殊記録されたクリップの場合は、S&Q Motion / Interval Rec / Frame Recのいずれかを表示します。

スロー&クイックモーション撮影で記録されたクリップの場合は、右に[撮像フレームレート/再生フレームレート]が表示されます。

⑩ 表示されている画像のタイムコード

⑪ 記録開始点のタイムコード

⑫ 記録終了点のタイムコード

⑬ 収録時間

⑭ 記録音声チャンネル

⑮ 記録時のビデオフォーマット

クリップにOKマークを付ける／削除する (HDモードのみ)

クリップにOKマークを付加するとTHUMBNAILボタンを押したときに必要なクリップのみサムネイル画面に表示されるように設定することができます。

OKマークを付加したクリップは、削除・分割が禁止されます。削除・分割したいときは、OKマークを削除してから操作してください。

OKマークを付加するには

1 サムネイル画面で、メニューのTHUMBNAIL >Add OK Markを選択する。

クリップの詳細情報画面に切り換わり、代表画の下に確認メッセージが表示されます。

2 「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。

選択されているクリップにOKマークが付加されます。

OKマークを削除するには

すでにOKマークが付加されているクリップを選択している場合は、THUMBNAILメニューにDelete OK Markが表示されます。

1 サムネイル画面で、メニューのTHUMBNAIL >Delete OK Markを選択する。

クリップの詳細情報画面に切り換わり、代表画の下に確認メッセージが表示されます。

2 「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。

選択しているクリップからOKマークが削除されます。

クリップをコピーする

クリップを別のSxSメモリーカードにコピーすることができます。コピー先のSxSメモリーカードには同じクリップ名でコピーされます。

ご注意

- コピー先のSxSメモリーカードに同名のクリップが存在している場合は、オリジナルのクリップ名に1桁の括弧数字を付加したクリップ名でコピーされます。
括弧数字は、コピー先に存在しない最小値になります。
例:
ABCD0002→ABCD0002(1)
ABCD0002(1)→ABCD0002(2)
ABCD0005(3)→ABCD0005(4)
- コピー回数が10回を超えた場合など、括弧数字(1)～(9)がすでに存在するカードには、それ以上コピーできません。
- コピー先のSxSメモリーカードの残量が不足しているときはメッセージが表示されますので、コピー先のSxSメモリーカードを交換してください。
- コピー元のSxSメモリーカードに複数のクリップが記録されている場合は、コピー先のSxSメモリーカードが同じ容量であっても、使用条件やメモリーの特性などにより、すべてのクリップを最後までコピーできない場合があります。

1 サムネイル画面でコピーするクリップのサムネイルを選択し、メニューの THUMBNAIL >Copy Clipを選択する。
クリップの詳細情報画面に切り換わり、代表画の下に、確認メッセージが表示されます。

2 「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。
コピーが始まります。

コピー中は実行メッセージと進捗バーが表示されます。

コピーが完了すると、サムネイル画面に戻ります。

コピーを中止するには

RESET/RETURNボタンを押します。

コピーを中止して、サムネイル画面に戻ります。

クリップ／ファイルを一括コピーするには

同じSxSメモリーカードに記録されているクリップを、別のSxSメモリーカードにまとめてコピーすることができます。

HDモードとSDモードのクリップが混在記録されているSxSメモリーカードでは、現在選択されているモードのクリップのみコピーされますので、同一モードのクリップのみ抽出したいときにも便利です。
また、Generalディレクトリー内のファイルをクリップと別にまたはクリップと一緒に一括コピーすることもできます。

1 サムネイル画面でコピーするクリップのサムネイルを選択し、メニューの THUMBNAIL >Copy All >All Clipsを選択する。

「Copy All Clip?」の確認メッセージが表示されます。

2 「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。

コピーが始まります。

コピー実行中は進捗状況が表示されます。

HDモードで実行した場合は、HDモードのクリップのみコピーされます。

SDモードで実行した場合は、SDモードのクリップのみコピーされます。

コピーを中断するには

RESET/RETURNボタンを押します。

コピーが完了したら

完了メッセージが表示され、THUMBNAILメニュー画面が再表示されます。

Generalディレクトリー内の全ファイルをコピーするには

クリップをコピーしないでファイルのみ一括コピーする場合は、手順1でTHUMBNAIL >Copy All >General Filesを選択します。クリップとファイルを合わせて一括コピーする場合は、手順1でTHUMBNAIL >Copy All >All Clips & General Filesを選択します。

クリップを削除する

SxSメモリーカードからクリップを削除することができます。

ご注意

OKマークが付加されたHDクリップは削除できません。

削除したいときは、先にOKマークを削除してください（104ページ参照）。

1 サムネイル画面で削除するクリップを選択し、メニューのTHUMBNAIL

>Delete Clipを選択する。

クリップの詳細情報画面に切り換わり、代表画の下に確認メッセージが表示されます。

2 「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。

クリップが削除されます。

サムネイル画面では、削除したクリップの次以降が1つずつ繰り上がります。

クリップを一括削除するには

同じSxSメモリーカードに記録されているクリップをまとめて削除することができます。

ご注意

- HDモードとSDモードのクリップが混在記録されているSxSメモリーカードでは、現在選択されているモードのクリップのみ削除されます。
- HDモードで削除を実行しても、OKマークが付加されたクリップは削除されません。

1 サムネイル画面で削除するクリップのサムネイルを選択し、メニューのTHUMBNAIL >Delete All Clipsを選択する。

「Delete All Clips?」の確認メッセージが表示されます。

2 「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。

削除が始まります。

削除実行中は進捗状況が表示されます。HDモードで実行した場合は、HDモードのクリップのみ削除されます。

SDモードで実行した場合は、SDモードのクリップのみ削除されます。

削除を中断するには

RESET/RETURNボタンを押します。

削除が完了したら

完了メッセージが表示され、THUMBNAILメニュー画面が再表示されます。

エクスパンドサムネイル画面を表示する

エクスパンドサムネイル画面では、サムネイルサーチ（97ページ参照）や代表画の変更（109ページ参照）、ショットマークの付加／削除（108ページ参照）を行うことができます。

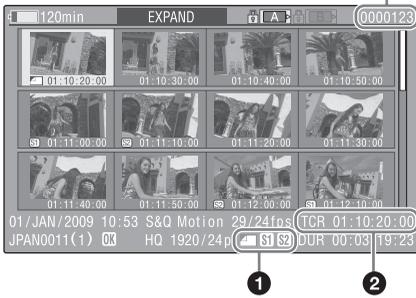
表示するには

サムネイル画面でサムネイルを選択し、EXPANDボタン（24ページ参照）を押すか、メニューのTHUMBNAIL >Thumbnail View >Forward Expansionを選択します。選択したクリップのエクスパンドサムネイル画面が表示されます。

HDモードのエクスパンドサムネイル画面

HDモードでは、選択したクリップを時間で12分割した各ブロックの先頭フレームがサムネイル表示されます。

選択されているフレームの番号



画面下部にクリップの詳細情報が表示されます。

下記の項目以外は、通常のサムネイル画面で表示される項目と共通です。

① フレーム情報

選択したフレームの情報をアイコンで表示します。

	代表画
	ショットマーク1が付加されたフレーム
	ショットマーク2が付加されたフレーム

それぞれのサムネイル画像の下にも同じアイコンが表示されます。ただし、同じフレームに複数の情報が付加されている場合には、代表画→ショットマーク1→ショットマーク2の優先順位で表示されます。

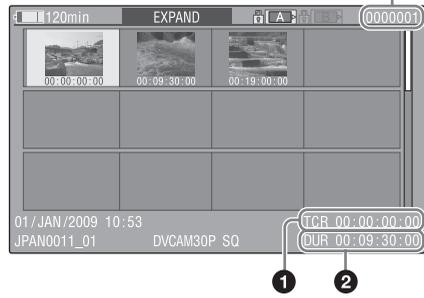
② タイムコード表示

エクスパンドサムネイル画面で選択したフレームのタイムコードを表示します。

SDモードのエクスパンドサムネイル画面

SDモードでは、ファイルサイズが2GBを超えて分割保存されたクリップの場合のみ、分割されたファイルの先頭のフレームがサムネイル表示されます。

選択されているフレームの番号



画面下部にクリップの詳細情報が表示されます。

下記の項目以外は、通常のサムネイル画面で表示される項目と共通です。

① タイムコード表示

選択されている分割されたファイルのタイムコードを表示します。

② 収録時間 (Duration)

選択されている分割されたファイルの収録時間を表示します。

分割数を増やすには

EXPANDボタンを押すか、メニューの THUMBNAIL >Thumbnail View >Forward Expansionを選択すると、分割表示されているクリップ/ファイルが時間でさらに12分割されます (12分割したクリップ/ファイルをさらに12分割して、 $12 \times 12 = 144$ 分割)。同じ操作を繰り返して、分割数を増やすことができます。

1段階前の分割数に戻すには

SHIFTボタンを押したままEXPANDボタンを押すか、メニューのTHUMBNAIL >Thumbnail View >Back Expansionを選択すると、分割数が1段階少ないエクスパンドサムネイル画面に戻ります。

ショットマークサムネイル画面 を表示する（HDモードのみ）

ショットマークサムネイル画面（HDモード時のみ表示）では、サムネイルサーチ（97ページ参照）や代表画の変更（109ページ参照）、ショットマークの付加／削除（108ページ参照）を行うことができます。

- 1 サムネイル画面でサムネイルを選択し、ESSENCE MARKボタン（26ページ参照）を押すか、メニューの THUMBNAIL >Thumbnail View >Essence Mark Thumbnailを選択する。

ショットマークサムネイル画面が表示され、選択リストが表示されます。

- 2 エッセンスマークサムネイル画面の種類を選択する。

All：エッセンスマークが付加されたフレームがすべてサムネイル表示されます。

Shot Mark1：ショットマーク1が付加されているフレームのみサムネイル表示されます。

Shot Mark2：ショットマーク2が付加されているフレームのみサムネイル表示されます。

Shot Mark0とShot Mark3～Shot Mark9も選択できます。

ショットマーク0～ショットマーク9の名前を定義したプランニングメタデータを使用してクリップを記録した場合は、リストの選択項目が定義した名前になります。

ショットマークサムネイル画面例 （Shot Mark1選択時）



画面下部にクリップの詳細情報が表示されます。

以下の項目以外は、エクスパンドサムネイル画面で表示される項目と共通です。

① タイムコード表示

ショットマークサムネイル画面で選択されているフレームのタイムコード

ショットマークを追加／削除する（HDモードのみ）

ショットマークサムネイル画面（108ページ参照）またはエクスパンドサムネイル画面（106ページ参照）では、HDモードで記録したクリップの任意のフレームにショットマークを追加したり、記録されているショットマークを削除することができます。

ショットマークを追加するには

- 1 ショットマークを追加したいフレームのサムネイルを選択し、メニューの THUMBNAIL >Set Shot Mark >Add Shot Mark1（またはAdd Shot Mark2）を選択する。

選択したフレームの詳細表示画面になり、画像の下に確認メッセージが表示されます。

- 2 **Execute**を選択し、MENUつまみを押す。

ショットマークを削除するには

- 1 ショットマークを削除したいフレームのサムネイルを選択し、メニューのTHUMBNAIL >Set Shot Mark >Delete Shot Mark1（またはDelete Shot Mark2）を選択する。
選択したフレームの詳細表示画面になり、画像の下に確認メッセージが表示されます。
- 2 「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。

クリップの代表画を変更する（HDモードのみ）

HDモードのクリップでは、エクスパンドサムネイル画面（106ページ参照）やショットマークサムネイル画面（108ページ参照）で選択したフレームを代表画に設定することができます。

- 1 代表画にしたいフレームのサムネイルを選択し、メニューのTHUMBNAIL >Set Index Pictureを選択する。
選択したフレームの詳細表示画面になり、画像の下に確認メッセージが表示されます。
- 2 「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。

ご注意

先頭以外のフレームを代表画に設定しても、サムネイル画面で再生を開始した場合は、常に先頭フレームから再生されます。

クリップを分割する（HDモードのみ）

HDモードのクリップは、エクスパンドサムネイル画面（106ページ参照）やショットマークサムネイル画面（108ページ参照）で選択したフレーム位置で2つのクリップに分割することができます。

- 1 分割したい位置にあたるフレームのサムネイルを選択し、メニューのTHUMBNAIL >Divide Clipを選択する。
選択したフレームの詳細表示画面になり、画像の下に確認メッセージが表示されます。
- 2 「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。
選択したフレーム位置で分割され、2つの別の名前のクリップが新たに作成されます。

クリップ名の前半4文字は元のクリップの名前を引き継ぎ、後半4文字は最新の連続番号になります。

例：新たに記録した場合にEFGH0100というクリップが作られる状態で、ABCD0002という名前のクリップを分割した場合、ABCD0100とABCD0101の2つのクリップが作成されます。

ご注意

SxSメモリーカードの残量が、クリップ分割に必要な容量に満たない場合は、残量不足を知らせるメッセージが表示されます。

セットアップメニューの構成と階層

本機では、ビューファインダー画面に表示されるセットアップメニューを使用して、撮影や再生に必要な各種の設定を行います。セットアップメニューは、外部ビデオモニターに表示する（157ページ参照）こともできます。

セットアップメニューの構成

下記のメニューで構成されています。

Op : OPERATIONメニュー

画質以外の撮影に関する設定を行います（115ページ参照）。

Pa : PAINTメニュー

画質に関する設定を行います（126ページ参照）。

Th : THUMBNAILメニュー

クリップのサムネイルに関する設定を行います（99ページ参照）。

ご注意

THUMBNAILメニューは、サムネイル画面（93ページ参照）を表示しているときのみ使用できます。サムネイル画面を表示していないときは無効です。

Ma : MAINTENANCEメニュー

オーディオとタイムコードに関する設定を行います（131ページ参照）。

Fi : FILEメニュー

各種ファイル操作を行います（143ページ参照）。

セットアップメニューの階層

- ◆ THUMBNAILメニューの構成については、「THUMBNAILメニュー構成」（99ページ）をご覧ください。

OPERATIONメニュー（115ページ参照）

OPERATION

—	Format
—	Format Media
—	Input/Output
—	Super Impose
—	Rec Function
—	Assignable SW
—	VF Setting
—	Marker
—	Gain Switch
—	T LCS
—	Zebra
—	Display On/Off
—	Auto Iris
—	White Setting
—	Offset White
—	Shutter Select
—	Time Zone
—	Cliip
—	Plan.Metadata

PAINTメニュー（126ページ参照）

PAINT

- Switch Status
- White
- Black
- Flare
- Gamma
- Black Gamma
- Knee
- White Clip
- Detail(HD Mode)
- Detail(SD Mode)
- Aperture
- Skin Detail
- Matrix
- Multi Matrix
- V Modulation
- Low Key Saturation

FILEメニュー（143ページ参照）

FILE

- All
- Scene
- Reference
- Lens

MAINTENANCEメニュー（131ページ参照）

MAINTENANCE

- White Shading
- Battery
- Audio
- WRR Setting
- Timecode
- Essence Mark
- Camera Config
- Preset White
- White Filter
- Auto Iris2
- Flicker Reduce
- Genlock
- ND Comp
- Lens
- Trigger Mode
- Network Setting
- Wi-Fi Setting
- Clock set
- Language
- Hours Meter
- Version

セットアップメニューの基本操作

セットアップメニューを表示するには

MENU ON/OFFスイッチをONにするかMENUボタンを押します。

本機がメニューモードになり、画面にメニューリストが表示されます。

前回設定したメニューの頭文字（2文字）にカーソルが表示され、右に対応するメニュー項目選択エリアが表示されます。

例：OPERATIONメニューにカーソルがある場合

メニューリスト



メニュー項目選択エリア

ご注意

拡大フォーカス（Focus Mag）モードになっていると、セットアップメニューは操作できません。Focus Magが割り当てられているアサインパルススイッチで拡大フォーカスモードを解除してください。

メニューを設定するには

1 MENUつまみを回すか、↑、↓ボタンを押して、設定したいメニューにカーソルを合わせる。

アイコン右のメニュー項目選択エリアに、選択できるメニュー項目が表示されます。

2 MENUつまみまたはSETボタンを押す。

カーソルがメニュー項目選択エリアに移動します。

⇒ボタンを押してカーソルをメニュー項目選択エリアに移動することもできます。

- メニュー項目選択エリアは最大7行表示です。選択できる項目が一度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。項目選択エリアの右上隅または右下隅に、スクロール可能なことを示す三角マークが表示されます。



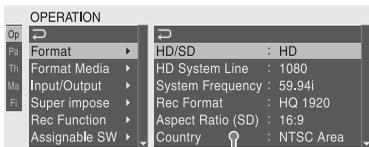
メニュー項目がまだ下にあるとき表示されます（上にあるときは上端に▲）。

メニュー項目選択エリア

- さらに設定細目を選択する項目の場合は、右に▶が表示されます。
- 細目のない項目の場合は、右に現在の設定値が表示されます。
- ◀を選択すると一つ上の階層に戻ります。

3 MENUつまみを回すか、↑、↓ボタンを押して、設定したいメニュー項目にカーソルを合わせ、MENUつまみまたはSETボタンを押して決定する。

メニュー項目選択エリアの右に設定エリアが表示され、カーソルが先頭の細目に移動します。

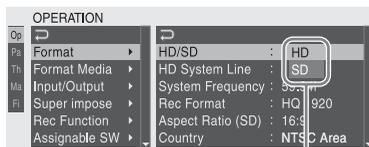


設定エリア

- 細目と現在の設定値が表示されます。
- を選ぶか ボタンを押す、または MENU CANCEL/PRST/ESCAPEスイッチをESCAPE側に押し下げると一つ上の階層に戻ります。

4 MENUつまみを回すか、, ボタンを押して、設定したい細目にカーソルを合わせ、MENUつまみまたはSETボタンを押して決定する。

選択した細目の選択肢が表示され、現在選択されている値にカーソルが移動します。



選択肢エリア

- 選択肢エリアは最大7行表示です。選択肢が一度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。選択肢エリアの右上隅または右下隅に、スクロール可能なことを示す三角マークが表示されます。
- 選択肢の範囲が大きい項目の場合（例：-99～+99）は、選択肢エリアは表示されません。文字がハイライト表示になり設定変更が可能な状態であることを示します。

5 MENUつまみを回すか、, ボタンを押して、設定したい値を選び、MENUつまみまたはSETボタンを押して決定する。

設定が変更され、変更後の状態が表示されます。

実行項目でExecuteを選択した場合は、対応する機能が実行されます。

実行前に確認が必要な項目では

手順3で、実行前に確認が必要な項目を選択すると、いったんメニューが消え、確認メッセージが表示されます。メッセージにしたがって、実行するかキャンセルするかを選択してください。

文字列を入力するには

タイムデータやファイル名など、文字列を設定する項目を選択した場合は、文字列の入力エリアがハイライト表示になり、右端にSETが表示されます。

1 MENUつまみを回すか、, ボタンを押して、文字を選択し、MENUつまみまたはSETボタンを押して決定する。

カーソルが次の欄に移動します。前の欄に戻りたいときは、MENU CANCEL/PRST/ESCAPEスイッチをESCAPE側に押し下げます。

2 同様に最後の桁・欄まで設定する。カーソルがSETに移動します。

3 MENUつまみまたはSETボタンを押す。設定が完了します。

設定変更を取り消すには

MENU CANCEL/PRST/ESCAPEスイッチをESCAPE側に押し下げます。

標準設定（初期設定）に戻す（リセットする）には

1 設定を変更する前または設定変更を取り消した後に、MENU CANCEL/PRST/ESCAPEスイッチをCANCEL/PRST側に押し上げる。

2 現在の設定を標準設定（初期設定値）にリセットするかどうかを確認する

表示が出たら、再度スイッチを
CANCEL/PRST側に押し上げる。
現在の設定が標準設定にリセットされ
ます。

メニュー操作を終了するには

MENU ON/OFFスイッチをOFFにする
かMENUボタンを押す。
通常のカメラ画に戻ります。

メニュー一覧

OPERATIONメニュー

太字で表示されている設定値は、出荷時の初期設定値です。

OPERATION				
項目	細目	選択肢	内容	
Format 本機の動作モードおよび記録フォーマットを設定します。	HD/SD	HD/SD	動作モードをHDモードまたはSDモードに切り換える (Executeで実行)	
	HD System Line	1080/720	HDモード時の走査線数を1080または720に設定する (Executeで実行)	
	System Frequency	HD/SD、HD System Line、Countryの設定に応じて変わる		システム周波数を選択する (Executeで実行)
		59.94i/29.97P/23.98P		HD/SDの設定がHD、HD System Lineの設定が1080、Countryの設定がPAL Area以外るとき
		59.94P/29.97P/23.98P		HD/SDの設定がHD、HD System Lineの設定が720、Countryの設定がPAL Area以外るとき
		59.94i/29.97P		HD/SDの設定がSD、Countryの設定がPAL Area以外るとき
		50i/25P		<ul style="list-style-type: none"> HD/SDの設定がHD、HD System Lineの設定が1080、Countryの設定がPAL Areaのとき HD/SDの設定がSD、Countryの設定がPAL Areaのとき
	50P/25P		HD/SDの設定がHD、HD System Lineの設定が720、Countryの設定がPAL Areaのとき	
	Rec Format	HD/SD、HD System Line、System Frequencyの設定に応じて変わる		記録フォーマットを選択する (Executeで実行)
		HQ 1920/HQ 1440		HD/SDの設定がHD、HD System Lineの設定が1080、System Frequencyの設定が29.97Pまたは25Pのとき
HQ 1920/HQ 1440/SP 1440			HD/SDの設定がHD、HD System Lineの設定が1080、System Frequencyの設定が29.97Pおよび25P以外るとき	
HQ 1280			HD/SDの設定がHD、HD System Lineの設定が720のとき	
DVCAM			HD/SDの設定がSDのとき	
Aspect Ratio (SD)	16:9/4:3		SDモード (記録フォーマットはDVCAM) のアスペクト比を選択する (Executeで実行)	
Country	NTSC Area/NTSC(J) Area/PAL Area		使用地域を設定する (Executeで実行)	

OPERATION			
項目	細目	選択肢	内容
Format Media メディアのフォーマット を実行します。	Media(A)	Execute/Cancel	スロットAのSxSメモリーカードを初期化する (Executeで実行)
	Media(B)	Execute/Cancel	スロットBのSxSメモリーカードを初期化する (Executeで実行)
Input/Output 入/出力信号に関する設定を行います。	Output & i.LINK	HD&HDV/SD&HDV/SD&DV/480P (576P)	各ビデオ端子とi.LINK (HDV/DV) 端子からの出力信号を選択する <ul style="list-style-type: none"> HD/SDの設定がSDの場合、SD&DVが選択される 480P (576P) は、Countryの設定がPAL Area以外の場合は480Pが選択可能で、Countryの設定がPAL Areaの場合は576Pが選択可能
	23.98P Output	Psf/Pull Down	ビデオフォーマットがHQ 1920/23.98PまたはHQ 1440/23.98Pの場合に、プログレッシブ出力 (Psf) にするか、プルダウン出力 (Pull Down) にするかを選択する
	Source Select	Camera/i.LINK	ビデオ入力ソースをカメラ画 (Camera) にするかi.LINK (HDV/DV) 端子からの入力信号 (i.LINK) にするかを選択する
	i.LINK I/O	Enable/ Disable	i.LINK (HDV/DV) 端子の信号入出力を有効 (Enable) にするか無効 (Disable) にするかを選択する Enable選択時はi.LINK出力中にオートブラックバランスを実行できる。
	SDI Output	On/Off	HD/SD SDI OUT端子からの出力信号をオン/オフする
	HDMI Output	On/Off	HDMI端子からの出力信号をオン/オフする
	SDI/HDMI Out Super	On/ Off	HD/SD SDI OUT端子とHDMI端子からの出力にスーパーインポーズされる文字情報をオン/オフする
	Video Out Super	On/ Off	VIDEO OUT端子からの出力にスーパーインポーズされる文字情報をオン/オフする
	Down Converter	Crop/Letter/ Squeeze	SD信号を出力するときの信号変換モードを設定する Crop : 16:9画像の両端をカットして4:3画像として出力 Letter : 4:3画像の上下をマスクして、画面中央に16:9映像を表示 Squeeze : 16:9画像を左右方向に縮小して4:3画像として出力
	Wide ID	Through/Auto	SD出力信号にワイド識別信号を付加するかどうかを選択する Through : ワイド識別信号を付加せずにそのまま出力する Auto : Down Converterの設定がSqueezeのとき、ビデオ信号にワイド識別信号を付加して出力する

OPERATION			
項目	細目	選択肢	内容
Super Impose スーパーインポーズされる文字情報／マーカーに関する設定を行います。	Super(VF Display)	On/Off	Input/Output >SDI/HDMI Out SuperまたはVideo Out Superの設定がOnのときに、HD/SD SDI OUT端子、HDMI端子またはVIDEO OUT端子からの出力にスーパーインポーズされる文字情報を、項目ごとにオン／オフする
	Super(Menu)	On/Off	
	Super(Timecode)	On/Off	
	Super(Marker)	On/Off	Input/Output >Video Out SuperがOnのとき、VIDEO OUT端子からの出力にスーパーインポーズされるマーカー表示をオン／オフする
	Super(Rec Status Indicator)	On/Off	下記の2つの出力に記録状況表示をスーパーインポーズするかどうかをオン／オフする <ul style="list-style-type: none"> Input/Output >Video Out SuperがOnのときのVIDEO OUT端子からの出力 Input/Output >SDI/HDMI Out SuperがOnのときのSDI端子とHDMI端子からの出力
Rec Function 特殊記録モードに関する設定を行います。	Slow & Quick	On/Off	スロー&クイックモーションモードをオン／オフする (この設定をOnにすると、Picture Cache Rec、Interval Rec、Frame Recの設定がOffになる。)
ご注意 アサインブルスイッチにPicture Cacheを割り当てると、この項目は無効(グレー表示)になります。	Frame Rate	Format >HD System Lineの設定に応じて変わる	Slow & Quickの設定がOnの場合に、スロー&クイックモーション撮影時のフレームレートを設定する
		Format >Countryの設定がPAL Area以外：1～30	HD System Lineの設定が1080のとき
		Format >Countryの設定がPAL Area：1～25～30	
		Format >Countryの設定がPAL Area以外：1～30～60	HD System Lineの設定が720のとき
	Format >Countryの設定がPAL Area：1～25～60		
	Picture Cache Rec	On/Off	ピクチャーキャッシュレックモードをオン／オフする (この設定をOnにすると、Slow & Quick、Interval Rec、Frame Recの設定がOffになる。)
	P. Cache Rec Time	0-2sec/2-4sec/4-6sec/6-8sec/8-10sec/10-12sec/12-14sec/13-15sec	Picture Cache Recの設定がOnの場合に、ピクチャーキャッシュレック時間を設定する
	Interval Rec	On/Off	インターバルレックモードをオン／オフする (この設定をOnにすると、Slow & Quick、Picture Cache Rec、Frame Recの設定がOffになる。)
	Frame Rec	On/Off	フレームレックモードをオン／オフする (この設定をOnにすると、Slow & Quick、Picture Cache Rec、Interval Recの設定がOffになる。)

OPERATION				
項目	細目	選択肢	内容	
Rec Function 特殊記録モードに関する設定を行います。 ご注意 アサインナブルスイッチにPicture Cacheを割り当てると、この項目は無効(グレー表示)になります。	Number of Frames	Format >HD System Line、Format >System Frequency	Interval RecまたはFrame Recの設定がOnの場合に、インターバルレック撮影またはフレームレック撮影時の1回の記録フレーム数を設定する	
		2frame/6frame/12frame	HD System Lineの設定が720、System Frequencyの設定が59.94Pまたは50P	
		1frame/3frame/6frame/9frame	HD System Lineの設定が720以外、またはSystem Frequencyの設定が59.94Pおよび50P以外	
	Interval Time	1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/15/20/30/40/50 (sec) 1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/15/20/30/40/50 (min) 1/2/3/4/6/12/24 (hour)		Interval Recの設定がOnの場合に、インターバルレック撮影時の録画間隔(インターバル)を設定する
	Pre-Lighting	Off/2sec/5sec/10sec	インターバルレック撮影開始前にビデオライトを点灯させる場合は何秒前に点灯させるかを選択、点灯させない場合はOffを選択する	
Assignable SW アサインナブルスイッチに機能を割り当てます。 ◆ 機能の割り当てについて詳しくは、「アサインナブルスイッチに機能を割り当てる」(146ページ)をご覧ください。	<0>	146ページ参照	ASSIGN. 0スイッチに機能を割り当てる	
	<1>		ASSIGN. 1スイッチに機能を割り当てる	
	<2>		ASSIGN. 2スイッチに機能を割り当てる	
	<3>		ASSIGN. 3スイッチに機能を割り当てる	
	<4>		ASSIGNABLE 4スイッチに機能を割り当てる	
	<5>		ASSIGNABLE 5スイッチに機能を割り当てる	
	RET		レンズのRETボタンに機能を割り当てる	
	C. Temp		COLOR TEMP.ボタンに機能を割り当てる	
	Zoom Speed	0~ 20 ~99		ASSIGNABLE 4または5スイッチにZoomを割り当てた場合のズームスピードを設定する
			ご注意	PMW-320Kに付属するレンズを使用した場合、低速ズーム時にむらが出る場合があります。

OPERATION			
項目	細目	選択肢	内容
VF Setting ビューファインダー画面に関する設定を行います。	Color	-99~±0~+99	ビューファインダー画面に表示される映像の色の濃さを調整する
	Mode	Color /B&W	ビューファインダー画面の表示をカラー (Color) にするか白黒 (B&W) にするかを選択する (白黒に設定した場合も、タリーやサムネイル、スキンゲートのエリアはカラーで表示される)
	Peaking Type	Normal /Color/Both	ピーキングの種類を選択する Normal : 通常のピーキング Color : カラーピーキング Both : 両方
	Peaking Frequency	Normal /High	ピーキング周波数を標準 (Normal) にするか高く (High) するかを選択する
	Peaking Color	White /Red/Yellow/Blue	Peaking Typeの設定がColorの場合に、ピーキングの色を選択する (White : 白、Red : 赤、Yellow : 黄、Blue : 青)
	Peaking Level	Low/ Mid /High	Peaking Typeの設定がBothの場合に、カラーピーキングのレベルを低 (Low)、中 (Mid)、高 (High) から選択する
	DXF Rec Tally	Upper /Both	別売のビューファインダーを使用する場合に、タリーランプを上側だけ点灯させるか (Upper)、上側と下側の両方を点灯させるか (Both) を選択する
	Marker ビューファインダー画面のマーカ表示に関する設定を行います。	Setting	On /Off
Center Marker		1/2/3/4/ Off	センターマーカを表示する場合はその種類を選択、表示しない場合はOffを選択する ご注意 Safety Zone、User Box、Guide FrameがOnに設定されている場合、この設定をオンにすることはできません。
Center H Position		-40~ 0 ~40	センターマーカの水平位置を設定する
Center V Position		-40~ 0 ~40	センターマーカの垂直位置を設定する
Safety Zone		On/ Off	セーフティーゾーンの表示をオン/オフする ご注意 Center Marker、User Box、Guide FrameがOnに設定されている場合、この設定をオンにすることはできません。
Safety Area		80%/ 90% /92.5%/95%	セーフティーゾーンの範囲を選択する
Aspect Marker		Line/Mask/ Off	アスペクトマーカを表示する場合は表示方法を選択、表示しない場合はOffを選択する Line : 白線で表示 Mask : マーカ範囲外のビデオ信号レベルを下げた表示

OPERATION			
項目	細目	選択肢	内容
Marker ビューファインダー画面のマーカー表示に関する設定を行います。	Aspect Select	15.9/14.9/13.9/ 4:3 / 1.66:1/1.85:1/ 2.35:1/2.4:1	マーカーのアスペクト比を選択する
	Aspect Mask	0%~ 30% ~90% (10%ステップ)	Aspect MarkerがMaskの場合、マーカー範囲内のビデオ信号レベルに対するマーカー範囲外のビデオ信号レベルをパーセンテージで設定する
	User Box	On/ Off	ボックスカーソルの表示をオン/オフする ご注意 Center Marker、Safety Zone、Guide FrameがOnに設定されている場合、この設定をオンにすることはできません。
	User Box Width	40~ 500 ~999	ボックスカーソルの幅（中心から左右端までの距離）を設定する
	User Box Height	70~ 500 ~999	ボックスカーソルの高さ（中心から上下端までの距離）を設定する
	User Box H Position	-479~ 0 ~479	ボックスカーソルの中心の水平位置を設定する
	User Box V Position	-464~ 0 ~464	ボックスカーソルの中心の垂直位置を設定する
	Guide Frame	On/ Off	ガイドフレームの表示をオン/オフする ご注意 Center Marker、Safety Zone、User BoxがOnに設定されている場合、この設定をオンにすることはできません。
	Gain Switch ゲイン値の切り換えに関する設定を行います。	Gain Low	-3dB/ 0dB /3dB/ 6dB/9dB/12dB/ 18dB
Gain Mid		-3dB/0dB/3dB/ 6dB /9dB/12dB/ 18dB	GAINスイッチの設定がMの場合のゲイン値を設定する
Gain High		-3dB/0dB/3dB/ 6dB/9dB/ 12dB / 18dB	GAINスイッチの設定がHの場合のゲイン値を設定する
Gain Turbo		-3dB/0dB/3dB/ 6dB/9dB/12dB/ 18dB/ 24dB	Turbo Gain機能を割り当てたアサインボタンスイッチをオンにしたときのゲイン値を設定する。
Shockless Gain		On/ Off	ショックレスゲイン（ゲイン切り換え時にスムーズに値が切り替わる機能）をオン/オフする

OPERATION			
項目	細目	選択肢	内容
TLCS トータルレベルコントロールに関する設定を行います。	Mode	Backlight/ Standard / Spotlight	TLCS時のオートアイリスモードを選択する Backlight ：バックライトモード（メインの被写体が逆光のときに黒沈みを軽減する） Standard ：標準モード Spotlight ：スポットライトモード（メインの被写体にスポットライトがあたっているときに白つぶれを軽減する）
	Speed	-99～±0～+99	TLCS時の制御スピード*（映像の変化に対する反応速度）を設定する（値が大きいほど反応は速くなる）
	AGC	On/ Off	AGC（オートゲインコントロール）機能をオン/オフする
	AGC Limit	3dB/6dB/9dB/ 12dB / 18dB	AGC時の最大ゲイン値を設定する
	AGC Point	F5.6/F4/ F2.8	AGC時にオートアイリスからAGCに制御方法を切り換えるF値を設定する
	Auto Shutter	On/ Off	オートシャッター機能をオン/オフする
	Auto Shutter Limit	1/100 / 1/150 / 1/200 / 1/250	オートシャッター時の最大シャッター速度を選択する
	Auto Shutter Point	F5.6/F8/F11/ F16	オートシャッター時にオートアイリスからオートシャッターに制御方法を切り換えるF値を設定する
	Zebra ゼブラ表示に関する設定を行います。	Zebra Select	1 /2/BOTH
Zebra1 Level		50%～ 70% ～107%	ゼブラ1を表示するレベルを設定する
Zebra1 Aperture Level		1～ 10% ～20%	ゼブラ1のアパーチャーレベルを設定する
Zebra2 Level		52%～ 100% ～109%	ゼブラ2を表示するレベルを設定する

OPERATION			
項目	細目	選択肢	内容
Display On/Off ビューファインダー画面 に表示する項目を選択し ます。	Video Level Warnings	On/Off	映像が明るすぎる場合または暗すぎる場合の警告表示をオン/オフする
	Brightness Display	On/Off	映像の明るさを示す数値の表示をオン/オフする
	Histogram Display	On/Off	映像の信号レベル分布を示すヒストグラム表示をオン/オフする (HDモード時のみ)
	Lens Info	Off/Meter/Feet	被写界深度を表示するかどうか表示単位を選択する Off : 表示しない Meter : メートル表示 Feet : フィート表示
	Focus Position	On/Off	レンズのフォーカスポジション表示をオン/オフする
	Zoom Position	On/Off	レンズのズームポジション表示をオン/オフする
	Audio Level Meter	On/Off	オーディオレベルメーターの表示をオン/オフする
	Timecode	On/Off	タイムデータ (タイムコード、ユーザービット、カウンター、デュレーション) 表示をオン/オフする
	Battery Remain	On/Off	バッテリー残量/入力電圧表示をオン/オフする
	Media Remain	On/Off	メディア残量表示をオン/オフする
	TLCS Mode	On/Off	TLCS動作モード表示をオン/オフする
	Focus Mode	On/Off	フォーカス動作モード表示をオン/オフする
	White Balance Mode	On/Off	ホワイトバランスモード表示をオン/オフする
	Filter Position	On/Off	NDフィルター設定の表示をオン/オフする
	Iris Position	On/Off	アイリスポジション表示をオン/オフする
	Gain Setting	On/Off	ゲイン設定表示をオン/オフする
	Shutter Setting	On/Off	シャッターモードとシャッタースピードの表示をオン/オフする
	Color Temp	On/Off	色温度表示をオン/オフする
	Video Format	On/Off	ビデオフォーマット表示をオン/オフする
	System Line	On/Off	システムライン表示をオン/オフする
	Rec Mode	On/Off	特殊記録モード表示 (S&Q、Interval、Frame Rec、Picture Cache Rec) をオン/オフする
	Extender	On/Off	レンズエクステンダー表示をオン/オフする
	WRR RF Level	On/Off	デジタルワイヤレスレシーバーの受信レベルの表示をオン/オフする
	Clip Number(PB)	On/Off	クリップ情報の表示をオン/オフする

OPERATION			
項目	細目	選択肢	内容
Auto Iris オートアイリスに関する設定を行います。	Iris Override	On/ Off	絞りを開きぎみまたは閉じぎみにする設定をオン/オフする
	Iris Speed	-99~±0~+99	制御スピード（映像の変化に対する反応速度）を設定する（値が大きいほど反応は速くなる）
	Clip High light	On/ Off	高輝度部の検出を無視して、高輝度に対する反応を鈍くさせる機能をオン/オフする
	Iris Window	1/2/3/4/5/6/ Var	オートアイリス検出ウィンドウの種類を選択する Var ：可変
	Iris Window Indication	On/ Off	オートアイリス検出ウィンドウの枠をマーカーで表示する機能をオン/オフする
White Setting ホワイトバランス調整に関する設定を行います。	White Switch	Memory /ATW	WHITE BALスイッチの設定がBの場合の動作モードを設定する Memory ：オートホワイトバランス ATW ：自動追尾ホワイトバランス
	Shockless White	Off/1/2/3	WHITE BALスイッチ切り換え時の反応速度を設定する（Offは瞬時に反応、1、2、3の中では1が最も反応が速い）
	ATW Speed	1/2/3/4/5	White Switchの設定がATWの場合の反応速度を設定する（1が最も反応が速い）
	AWB Fixed Area	On/ Off	オートホワイトバランスを画面中央部で実行する機能をオン/オフする On ：画面の高さおよび幅の25%にあたる範囲で実行 Off ：画面の高さおよび幅の70%にあたる範囲で実行
	Filter White Memory	On/ Off	FILTERつまみのポジションごとにホワイトバランスメモリー領域を設定する機能をオン/オフする On ：フィルターポジションごとにホワイトバランスメモリーを設定 Off ：フィルターポジションにかかわらずA/Bのメモリーを使用

OPERATION			
項目	細目	選択肢	内容
Offset White ホワイトバランスオフ セット値に関する設定を 行います。	Offset White<A>	On/Off	メモリー Aのホワイトバランスにオフ セット値を付加する (On) か付加しな いか (Off) を選択する
	Warm Cool <A>	目安の色温度を表示	Offset White<A>がOnの場合に、メモ リー Aのホワイトバランスに付加する オフセットを色温度で設定する (オフ セットの色温度が高いと誤差が大き くなるため実際の映像を見ながら調整)
	Warm Cool Balance<A>	-99~±0~+99	Warm Cool <A>の設定で希望の映像が 得られなかった場合に、さらに細かく 色温度を設定する
	Offset White	On/Off	Onにするとここで調整したオフセット がBチャンネルのホワイトバランスに 付加される。
	Warm Cool 	目安の色温度を表示	Offset WhiteがOnの場合に、メモ リー Bのホワイトバランスに付加する オフセットを色温度で設定する (オフ セットの色温度が高いと誤差が大き くなるため実際の映像を見ながら調整)
	Warm Cool Balance	-99~±0~+99	Warm Cool の設定で希望の映像が 得られなかった場合に、さらに細かく 色温度を設定する
	Offset White<ATW>	On/Off	Onにするとここで調整したオフセット が、ATWのホワイトバランスに付加さ れる
	Warm Cool <ATW>	目安の色温度を表示	Offset White<ATW>がOnの場合に、 ATWのホワイトバランスに付加するオ フセットを色温度で設定する (オフ セットの色温度が高いと誤差が大き くなるため実際の映像を見ながら調整)
Shutter Select シャッタースピードに関 する設定を行います。	Shutter Select	Second /Degree	シャッタースピードの選択方法を設定 する Second ：秒単位で選択する Degree ：角度単位で選択する
Time Zone 時差を設定します。	Zone	-12:00~+0.00~ +14:00 (30分単位)	UTC (グリニッジ標準時) からの時差 を30分単位で設定する
Clip クリップの名称や管理に 関する設定を行います。	Auto Naming	Title/Plan	クリップ名の設定方法を選択する
			Title ：Title Prefixで任意に設定する Plan ：プランニングメタデータで設定 した名称にする (プランニングメタ データで設定した名称がない場合 は、Title Prefixで設定した名称にす る)
ご注意			
クリップ名の最初の文字 を「」の記号にしない てください。 クリップ名の最初の文字 が「」になっているク リップは、コンピュ ーター上のアプリケーショ ンソフトウェアで閲覧で きません。			

OPERATION			
項目	細目	選択肢	内容
Clip	Title Prefix	文字入力	クリップ名のタイトル部分（4～46文字の英数字）を設定する。 現在設定されているタイトルが8文字以下の場合、全文字が表示される。8文字以上の場合、先頭から7文字目までが表示され、8文字目の位置に“...”の記号が表示される。 Character Set画面を呼び出す。
ご注意			<p>クリップ名の最初の文字を「.」の記号にしないでください。</p> <p>クリップ名の最初の文字が「.」になっているクリップは、コンピューター上のアプリケーションソフトウェアで閲覧できません。</p> <p>Character Set画面の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字選択エリア（3行） Title Prefixのカーソル位置に挿入する文字を選択する。 !#\$(+)-.:=@[^_~0123456789 abcdefghijklmnopqrstuvwxy ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ カーソル操作エリア（1行） <p>Space：カーソル位置の文字をスペースに変更する</p> <p>INS：カーソル位置にスペースを挿入する</p> <p>DEL：カーソル位置の文字を削除する</p> <p>←：カーソルを左に移動する</p> <p>→：カーソルを右に移動する</p> <p>ESC：変更をキャンセルして通常メニューに戻る</p> <p>END：変更を実行して通常メニューに戻る</p> <ul style="list-style-type: none"> Title Prefix設定エリア（1行） タイトルを入力するエリア <p>タイトルを設定するには</p> <ol style="list-style-type: none"> MENUつまみを回すか、矢印ボタンを押して、文字選択エリアからTitle Prefix設定エリアのカーソル位置に入れる文字を選択（ハイライト表示）し、MENUつまみまたはSETボタンを押す。（選択した文字が入り、カーソルが右に移動する。） 手順1を繰り返し、タイトルを設定する。（必要に応じて、Space、INS、DELを使用する。） タイトル名の設定が終わったら、ENDを選択してCharacter Set画面を閉じる。
	Number Set	0001 ～9999	クリップ名の番号部分（4桁）を設定する（ただし、Auto NamingをPlanに設定し、プランニングメタデータで設定した名称にしている場合を除く）
	Name Display	Off/ On	E-Eモード時にクリップ名をビューファインダー画面に表示するか（On）しないか（Off）を選択する。
	Update	Media<A>/ Media	選択しているスロット内のメディアに記録された管理ファイルを更新する（Executeで実行）

OPERATION			
項目	細目	選択肢	内容
Plan.Metadata プランニングメタデータの操作に関する設定を行います。	Load/Slot(A)	Execute/Cancel	スロットAのSxSメモリーカードからプランニングメタデータをロードする。Executeを選択すると、スロットAのSxSメモリーカードに保存されているプランニングメタデータのファイルリストが表示され、ファイルを選択してロードを実行する。
	Load/Slot(B)	Execute/Cancel	スロットBのSxSメモリーカードからプランニングメタデータをロードする。Executeを選択すると、スロットBのSxSメモリーカードに保存されているプランニングメタデータのファイルリストが表示され、ファイルを選択してロードを実行する。
	Properties	Execute/Cancel	本機にロードされているプランニングメタデータの内容を表示する (Executeで実行)
	Clear	Execute/Cancel	本機にロードされているプランニングメタデータを消去する (Executeで実行)
	Clip Name Disp	Title1(ASCII) Title2(UTF-8)	

PAINTメニュー

太字で表示されている設定値は、出荷時の初期設定値です。

PAINT			
項目	細目	選択肢	内容
Switch Status 各種補正機能とテスト信号をオン/オフします。	Gamma	On /Off	ガンマ補正機能をオン/オフする
	Black Gamma	On/ Off	ブラックガンマ補正機能をオン/オフする
	Matrix	On /Off	リニアマトリクスおよびユーザーマトリクス補正機能全体をオン/オフする
	Knee	On /Off	ニー補正機能をオン/オフする
	White Clip	On /Off	ホワイトクリップ補正機能をオン/オフする
	Detail	On /Off	ディテール補正機能をオン/オフする
	Aperture	On /Off	アパーチャー補正機能をオン/オフする
	Flare	On /Off	フレア補正機能をオン/オフする
	Test Saw	On/ Off	テスト信号をオン/オフする

PAINT			
項目	細目	選択肢	内容
White 色温度を設定して、手動でホワイトバランス調整を行います。	Color Temp <A>	1500K~ 3200K ~50000K (可変範囲は目安)	メモリー Aに保存されたホワイトバランスの色温度を表示する
	Color Temp BAL <A>	-99~ ±0 ~+99	メモリー Aに保存されたホワイトバランスのゲイン値 (Rゲイン、Bゲイン連動) を設定する
	R Gain <A>	-99~ ±0 ~+99	メモリー Aに保存されたホワイトバランスのRゲイン値を設定する
	B Gain <A>	-99~ ±0 ~+99	メモリー Aに保存されたホワイトバランスのBゲイン値を設定する
	Color Temp 	1500K~ 3200K ~50000K (可変範囲は目安)	メモリー Bに保存されたホワイトバランスの色温度を表示する
	Color Temp BAL 	-99~ ±0 ~+99	メモリー Bに保存されたホワイトバランスのゲイン値 (Rゲイン、Gゲイン連動) を設定する
	R Gain 	-99~ ±0 ~+99	メモリー Bに保存されたホワイトバランスのRゲイン値を設定する
	B Gain 	-99~ ±0 ~+99	メモリー Bに保存されたホワイトバランスのBゲイン値を設定する
Black ブラックレベル (光があたっていないときの映像のレベル) を設定します。ブラックレベルを調整して、黒を浮かせる、黒を沈めるといった絵作りが可能です。	Master Black	-99~ ±0 ~+99	マスターブラックレベルを設定する
	R Black	-99~ ±0 ~+99	Rブラックレベルを設定する
	B Black	-99~ ±0 ~+99	Bブラックレベルを設定する
Flare フレア補正に関する設定を行います。フレアは、画面上の明るい部分の影響を受けて映像のレベル全体が上がってしまい、黒い部分が明るくなる現象で、レンズ内部での光の乱反射により発生します。	Flare	On/Off	フレア補正機能をオン/オフする
	Master Flare	-99~ ±0 ~+99	マスターフレア補正レベルを設定する
	R Flare	-99~ ±0 ~+99	Rフレア補正レベルを設定する
	G Flare	-99~ ±0 ~+99	Gフレア補正レベルを設定する
	B Flare	-99~ ±0 ~+99	Bフレア補正レベルを設定する

PAINT				
項目	細目	選択肢	内容	
Gamma ガンマ補正に関する設定を行います。 ガンマ補正により、画面のコントラストを調整して、映像の印象を大きく変えることができます。	Gamma	On/Off	ガンマ補正機能をオン/オフする	
	Step Gamma	0.35～ 0.45 ～0.90 (0.05ステップ)	ガンマ補正値を0.05ステップで設定する	
	Master Gamma	-99～ ±0 ～+99	マスターガンマレベルを設定する	
	R Gamma	-99～ ±0 ～+99	Rガンマレベルを設定する	
	G Gamma	-99～ ±0 ～+99	Gガンマレベルを設定する	
	B Gamma	-99～ ±0 ～+99	Bガンマレベルを設定する	
	Gamma Select	Gamma Categoryの選択により変わる（「内容」欄参照）	ガンマ補正に使用するガンマテーブルを選択する	Gamma CategoryがSTDの場合 1 DVW ：DVWカムコーダー相当 2 ×4.5 ：×4.5ゲイン 3 ×3.5 ：×3.5ゲイン 4 240M ：SMPTE-240M相当 5 R709 ：ITU-R709相当（初期設定） 6 ×5.0 ：×5.0ゲイン Gamma CategoryがHGの場合 1 3250 ：325%のビデオ入力を100%のビデオ出力に圧縮する 2 4600 ：460%のビデオ入力を100%のビデオ出力に圧縮する 3 3259 ：325%のビデオ入力を109%のビデオ出力に圧縮する 4 4609 ：460%のビデオ入力を109%のビデオ出力に圧縮する（初期設定）
	Gamma Category	STD/HG	スタンダードガンマ (STD) とハイパーガンマ (HG) のどちらを使用するかを選択する	
Black Gamma ブラックガンマ補正に関する設定を行います。 ブラックガンマ補正により、映像の黒または黒に近い（暗い）部分の階調や色合いが再現することができます。	Black Gamma	On/Off	ブラックガンマ補正機能をオン/オフする	
	Gamma Level	-99～ ±0 ～+99	マスターブラックガンマレベルを設定する	
	Range	Low/L.Mid/H.Mid/ High	ブラックガンマ補正の有効範囲を選択する LOW ：0～3.6 % L.MID ：0～7.2 % H.MID ：0～14.4 % HIGH ：0～28.8 %	
Knee ニー補正に関する設定を行います。 ニー補正は、映像の明るい部分を記録/出力する映像のダイナミックレンジの上限に応じて圧縮し、白つぶれを防ぐ処理です。ニーをかけた始める信号レベルを「ニーポイント」、ニーによる圧縮の傾きを「ニースロープ」と呼びます。	Knee	On/Off	ニー補正機能をオン/オフする	
	Knee Point	50.0%～ 90.0% ～109.0%	ニーポイントを設定する	
	Knee Slope	-99～ ±0 ～+99	ニースロープを設定する	
	Knee Saturation	On/Off	ニーサチュレーション機能をオン/オフする	
	Knee Saturation Level	-99～ ±0 ～+99	ニーサチュレーションレベルを設定する	

PAINT			
項目	細目	選択肢	内容
White Clip ホワイトクリップ調整に関する設定を行います。ホワイトクリップは、ビデオ出力信号の最大レベルに制限をかける処理です。ビデオ出力信号の最大値を「ホワイトクリップレベル」と呼びます。	White Clip	On/Off	ホワイトクリップ調整機能をオン/オフする
	Level	90.0%~ 109.0%	ホワイトクリップレベルを設定する
Detail(HD Mode)/ Detail(SD Mode) HDモード時またはSDモード時のディテール調整に関する設定を行います。ディテール調整は、被写体の輪郭部分にディテール信号を加えて輪郭を強調し、クリアな映像を作成する処理です。	Detail	On/Off	ディテール調整機能をオン/オフする
	Level	-99~±0~+99	ディテールレベルを設定する
	H/V Ratio	-99~±0~+99	HディテールレベルとVディテールレベルのミックス比を設定する
	Crispensing	-99~±0~+99	クリस्पニングレベルを設定する
	Level Depend	On/Off	レベルディペンド調整機能をオン/オフする
	Level Depend Level	-99~±0~+99	レベルディペンドレベルを設定する
	Frequency	-99~±0~+99	Hディテール信号の中心周波数を設定する（値を大きくするほどディテールは細くなる）
	Knee Aperture	On/Off	ニアパーチャー補正機能をオン/オフする
	Knee Aperture Level	-99~±0~+99	ニアパーチャーレベルを設定する
	Limit	-99~±0~+99	白側、黒側両方向のディテールリミッターを設定する
	White Limit	-99~±0~+99	白側のディテールリミッターを設定する
	Black Limit	-99~±0~+99	黒側のディテールリミッターを設定する
	V-BLK Limit	-99~±0~+99	黒側のVディテールリミッターを設定する
	V Detail Creation	NAM/G/R+G/ Y	Vディテール信号を生成するためのソース信号を選択する NAM ：R信号から作られたVディテール信号とG信号から作られたVディテール信号とB信号から作られたVディテール信号のうち最もレベルの高い信号 G ：G信号 G+R ：G信号とR信号を1：1で合成した信号 Y ：Y信号
Aperture アパーチャー補正に関する設定を行います。アパーチャー補正は、ビデオ信号に、高周波数のアパーチャー信号を加えて周波数特性による劣化を補正し、解像度を高める処理です。	Aperture	On/Off	アパーチャー補正機能をオン/オフする
	Level	-99~±0~+99	アパーチャーレベルを設定する

PAINT			
項目	細目	選択肢	内容
Skin Detail スキンディテール補正に関する設定を行います。スキンディテール補正は、人物の肌をきれいに見せるなどの目的で、特定の色（肌色）の範囲を選んでディテールレベルを増減させる処理です。	Skin Detail	On/Off	スキンディテール補正機能をオン/オフする
	Area Detection	色検出画面	スキンディテール補正の対象となる色を検出する
	Area Indication	On/Off	スキンディテール補正の対象となる色のエリアにゼブラを表示する機能をオン/オフする
	Level	-99~±0~+99	スキンディテールレベルを設定する
	Saturation	-99~±0~+99	スキンディテール補正の対象となる色の飽和度（サチュレーション）を設定する
	Hue	0~359	スキンディテール補正の対象となる色の色相（ヒュー）を設定する
	Width	0~40~90	スキンディテール補正の対象となる色の色相の範囲を設定する
Matrix マトリクス補正に関する設定を行います。マトリクス補正により、映像の色味、鮮やかさを調整することができます。「プリセットマトリクス」としてあらかじめ用意されたパラメーターセットから目的に合うマトリクスを選択したり、「ユーザーマトリクス」として自分でパラメーターを設定することができます。	Matrix	On/Off	マトリクス補正機能をオン/オフする
	Preset Matrix	On/Off	プリセットマトリクス機能をオン/オフする
	Preset Select	1/2/3/4/5/6	プリセットマトリクスを選択する 1： SMPTE-240M相当 2： ITU-709相当 3： SMPTE WIDE相当 4： SD相当 5： EBU相当 6： Standard
	User Matrix	On/Off	ユーザーマトリクス補正機能をオン/オフする
	User Matrix R-G	-99~±0~+99	R-Gのユーザーマトリクスを任意に設定する
	User Matrix R-B	-99~±0~+99	R-Bのユーザーマトリクスを任意に設定する
	User Matrix G-R	-99~±0~+99	G-Rのユーザーマトリクスを任意に設定する
	User Matrix G-B	-99~±0~+99	G-Bのユーザーマトリクスを任意に設定する
	User Matrix B-R	-99~±0~+99	B-Rのユーザーマトリクスを任意に設定する
	User Matrix B-G	-99~±0~+99	B-Gのユーザーマトリクスを任意に設定する

PAINT			
項目	細目	選択肢	内容
Multi Matrix マルチマトリクス補正に関する設定を行います。マルチマトリクス補正は、16軸の色相 (Hue) 空間で飽和度 (Saturation) を設定します。	Multi Matrix	On/Off	マルチマトリクス補正機能をオン/オフする
	Area Indication	On/Off	マルチマトリクス補正の対象となる色のエリアにゼブラを表示する機能をオン/オフする
	Color Detection	色検出画面	マルチマトリクス補正の対象となる色を検出する
	Axis	B/B+/MG-/MG/MG+/R/R+/YL-/YL/YL+/G-/G/G+/CY/CY+/B-	マルチマトリクス補正の対象となる色 (16軸モード) を設定する
	Hue	-99~ ±0 ~+99	マルチマトリクス補正の対象となる色の色相 (ヒュー) を16軸モードごとに設定する
	Saturation	-99~ ±0 ~+99	マルチマトリクス補正の対象となる色の飽和度 (サチュレーション) を16軸モードごとに設定する
V Modulation Vモジュレーションシェーディング補正に関する設定を行います。レンズとプリズムの関係で発生する垂直方向の感度の傾きを補正します。	V Modulation	On/Off	Vモジュレーションシェーディング補正機能をオン/オフする
	Master V Modulation	-99~ ±0 ~+99	マスターVモジュレーションレベルを設定する
	R V Modulation	-99~ ±0 ~+99	R信号のVモジュレーションレベルを設定する
	G V Modulation	-99~ ±0 ~+99	G信号のVモジュレーションレベルを設定する
	B V Modulation	-99~ ±0 ~+99	B信号のVモジュレーションレベルを設定する
Low Key Sat. ローキーサチュレーション補正に関する設定を行います。映像の暗い部分の色の濃さだけを補正できます。	Low Key Saturation	On/Off	ローキーサチュレーション補正機能をオン/オフする
	Level	-99~ ±0 ~+99	低輝度エリアの色の飽和度 (サチュレーション) を設定する
	Range	Low/L.Mid/H.Mid/ High	ローキーサチュレーション補正を有効にする輝度レベルを選択する

MAINTENANCEメニュー

太字で表示されている設定値は、出荷時の初期設定値です。

MAINTENANCE			
項目	細目	選択肢	内容
White Shading ホワイトシェーディング補正に関する設定を行います。ホワイトシェーディングはレンズの特性により発生する明るい部分の輝度ムラや色ムラで、レンズごとに補正が必要です。	Channel Select	Red /Green/Blue	ホワイトシェーディング補正の対象を選択する
	R/G/B White H Saw	-99~ ±0 ~+99	水平方向のSAWホワイトシェーディング補正値を設定する
	R/G/B White H Para	-99~ ±0 ~+99	水平方向のパラボラホワイトシェーディング補正値を設定する
	R/G/B White V Saw	-99~ ±0 ~+99	垂直方向のSAWホワイトシェーディング補正値を設定する
	R/G/B White V Para	-99~ ±0 ~+99	垂直方向のパラボラホワイトシェーディング補正値を設定する
	White Saw/Para	On /Off	ホワイトシェーディングのSAW/パラボラ補正機能をオン/オフする

MAINTENANCE

項目	細目	選択肢	内容
Battery バッテリーに関する設定を行います。	Info Before End	5%/10%/15%...95%/100%	バッテリーパックBP-GL95A使用時に「Battery Near End」を表示するしきい値を設定する
	Info End	0%/1%/2%/3%/4%/5%	バッテリーパックBP-GL95A使用時に「Battery End」を表示するしきい値を設定する
	Sony Before End	11.5V～17V (0.1Vステップ)	バッテリーパックBP-L60S/L80S使用時に「Battery Near End」を表示するしきい値を設定する
	Sony End	11.0V～11.5V (0.1Vステップ)	バッテリーパックBP-L60S/L80S使用時に「Battery End」を表示するしきい値を設定する
	Other Before End	11.5V～11.8V～17.0V (0.1Vステップ)	ソニー製以外のバッテリーパック使用時に「Battery Near End」を表示するしきい値を設定する
	Other End	11.0V～14.0V (0.1Vステップ)	ソニー製以外のバッテリーパック使用時に「Battery End」を表示するしきい値を設定する
	DC In Before End	11.5V～11.8V～17.0V (0.1Vステップ)	DC IN端子に外部電源を接続している場合に「Battery Near End」を表示するしきい値を設定する
	DC In End	11.0V～14.0V (0.1Vステップ)	DC IN端子に外部電源を接続している場合に「Battery End」を表示するしきい値を設定する
	Detected Battery	Info/Sony/Other/DC IN	バッテリーの種類を自動判別した結果を表示する
	Type Detection	Auto/Other	Auto ：バッテリーの種類を自動判別する Other ：バッテリーの種類を「Other」に固定して判別する
Segment No.10	11.0V～17.0V (0.1Vステップ)	「Other」判定時、バッテリー残量表示 (35ページ参照) の各残量セグメントが消灯する電圧のしきい値を設定する (設定した値未満で消灯する)	
Segment No.9	11.0V～16.0V～17.0V (0.1Vステップ)		
Segment No.8	11.0V～15.0V～17.0V (0.1Vステップ)		
Segment No.7	11.0V～14.0V～17.0V (0.1Vステップ)		
Segment No.6	11.0V～13.5V～17.0V (0.1Vステップ)		
Segment No.5	11.0V～13.0V～17.0V (0.1Vステップ)		
Segment No.4	11.0V～12.5V～17.0V (0.1Vステップ)		
Segment No.3	11.0V～12.0V～17.0V (0.1Vステップ)		
Segment No.2	11.0V～11.5V～17.0V (0.1Vステップ)		
Segment No.1	11.0V～17.0V (0.1Vステップ)		

MAINTENANCE			
項目	細目	選択肢	内容
Audio オーディオに関する設定 を行います。	Front MIC Select	Mono/Stereo	フロントマイクをモノラル (Mono) にするか、ステレオ (Stereo) にするかを選択する
	Audio CH3/4 Mode	Ch1/2 / Switch	AUDIO IN CH3/CH4端子の入力信 号を選択する Ch1/2 : AUDIO IN CH1/ CH2端子 と同じ信号 Switch : AUDIO IN CH3/CH4ス イッチで選択された入力信号
	Front MIC CH1 Ref	-70dB/-60dB/- 50dB / -40dB/-30dB/-20dB	フロントマイクのチャンネル1の基 準入力レベルを選択する
	Front MIC CH2 Ref	-70dB/-60dB/- 50dB / -40dB/-30dB/-20dB	フロントマイクのチャンネル2の基 準入力レベルを選択する
	Rear MIC CH1 Ref	-70dB/- 60dB /-50dB/ -40dB/-30dB/-20dB	AUDIO IN CH1スイッチの設定が MICの場合の基準入力レベルを選択 する
	Rear MIC CH2 Ref	-70dB/- 60dB /-50dB/ -40dB/-30dB/-20dB	AUDIO IN CH2スイッチの設定が MICの場合の基準入力レベルを選択 する
	Line Input Ref	+4dB /0dB/-3dB/EBUL	AUDIO IN CH1/CH2スイッチの設 定がLINEの場合の基準入力レベル を選択する
	Min Alarm Volume	Off /Set	ALARMつまみを絞りをきったときの 音量を選択する Off : ほぼ聞こえない Set : ある程度は聞こえる
	Speaker Attenuate	Off /3dB/6dB/9dB/12dB	モニタースピーカーからの音量を選 択する (イヤホンの音量には影響し ない)
	Headphone Out	Mono /Stereo	イヤホンをモノラル (Mono) にす るか、ステレオ (Stereo) にするか を選択する
	Reference Level	- 20dB /-18dB/-16dB/ -12dB/EBUL	1kHzテスト信号の出力レベルを設 定する
	Reference Out	0dB /+4dB/-3dB/EBUL	基準入力レベルに対する出力レベル を設定する
	CH1&2 AGC Mode	Mono /Stereo	チャンネル1、2に記録するアナロ グオーディオ信号の入力レベルの自 動調整を、各チャンネルで独立して 行うか (Mono)、ステレオモード で行うか (Stereo) を選択する
	CH3&4 AGC Mode	Mono /Stereo	チャンネル3、4に記録するアナロ グオーディオ信号の入力レベルの自 動調整を、各チャンネルで独立して 行うか (Mono)、ステレオモード で行うか (Stereo) を選択する
	AGC Spec	- 6dB /-9dB/-12dB/ -15dB/-17dB	AGCの特性 (飽和レベル) を選択 する
	Limiter Mode	Off /-6dB/-9dB/ -12dB/-15dB/-17dB	オーディオ入力レベルの手動調整 時、大きな入力信号に対するリミッ ター特性 (飽和レベル) を選択する リミッターを使用しない場合はOff を選択する
	Output Limiter	On/ Off	オーディオ出力リミッターをオン/ オフする
	CH1 Wind Filter	On/ Off	チャンネル1の風音低減フィルター をオン/オフする
	CH2 Wind Filter	On/ Off	チャンネル2の風音低減フィルター をオン/オフする

MAINTENANCE

項目	細目	選択肢	内容
Audio オーディオに関する設定を行います。	CH3 Wind Filter	On/ Off	チャンネル3の風音低減フィルターをオン/オフする
	CH4 Wind Filter	On/ Off	チャンネル4の風音低減フィルターをオン/オフする
	Audio SG (1KHz)	On/ Off /Auto	カラーバーモード時に1kHzのテスト信号を出力するか (On) 出力しないか (Off) を設定する Auto : AUDIO SELECT CH1スイッチの設定がAUTOの場合のみテスト信号を出力する
	MIC CH1 Level	Side1/ Front / Front+Side1	フロントマイクの入力音声をチャンネル1に記録する場合に、どのつまみで音声レベルを調節するかを選択する Side1 : サイドパネルのLEVELつまみ (左) Front : フロントパネルのMIC LEVELつまみ Front+Side1 : LEVELつまみ (左) とMIC LEVELつまみを連動させる
	MIC CH2 Level	Side2/ Front / Front+Side2	フロントマイクの入力音声をチャンネル2に記録する場合に、どのつまみで音声レベルを調節するかを選択する Side2 : サイドパネルのLEVELつまみ (右) Front : フロントパネルのMIC LEVELつまみ Front+Side2 : LEVELつまみ (右) とMIC LEVELつまみを連動させる
	Rear1/WRR Level	Side1 /Front/ Front+Side1	ワイヤレスマイクとリアパネルのAUDIO IN CH1端子に接続した機器をどのつまみで音声レベルを調節するかを選択する Side1 : サイドパネルのLEVELつまみ (左) Front : フロントパネルのMIC LEVELつまみ Front+Side1 : LEVELつまみ (左) とMIC LEVELつまみを連動させる
	Rear2/WRR Level	Side2 /Front/ Front+Side2	ワイヤレスマイクとリアパネルのAUDIO IN CH2端子に接続した機器をどのつまみで音声レベルを調節するかを選択する Side2 : サイドパネルのLEVELつまみ (右) Front : フロントパネルのMIC LEVELつまみ Front+Side2 : LEVELつまみ (右) とMIC LEVELつまみを連動させる
	Audio CH3 Level	Side3 /Front/ Front+Side3	チャンネル3に記録される音声レベルをどのつまみで調節するかを選択する Side3 : サイドパネルのLEVELつまみ Front : フロントパネルのMIC LEVELつまみ Front+Side3 : LEVELつまみとMIC LEVELつまみを連動させる

MAINTENANCE			
項目	細目	選択肢	内容
Audio オーディオに関する設定を行います。	Audio CH4 Level	Side4 /Front/Front+Side4	チャンネル4に記録される音声レベルをどのつまみで調節するかを選択する Side4 ：サイドパネルのLEVELつまみ Front ：フロントパネルのMIC LEVELつまみ Front+Side4 ：LEVELつまみとMIC LEVELつまみを連動させる
	WRR Setting ワイヤレスチューナーに関する設定を行います。	WRR Valid CH Sel	All /CH1
	WRR CH Select	TX1 /TX2	内容をメニューに表示する受信チャンネルを選択する TX1 ：チャンネル1の内容を表示する TX2 ：チャンネル2の内容を表示する
	WRR Delay Comp	On /Off	ワイヤレス入力音声の遅延補正機能を有効にするか (On) 無効にするか (Off) を選択する (Onを選択するとすべてのE-E出力の音声は約8ms遅延する)
	TX	---	WRR CH SELECTで選択したチャンネルで受信している送信機の名前を表示する
	TX Audio Peak	---/Peak	WRR CH SELECTで選択したチャンネルで受信している送信機のAFレベルがピークオーバーかどうかを表示する
	TX Input Level	---/Mic/Line	WRR CH SELECTで選択したチャンネルで受信している送信機の入力レベルがマイク (Mic) とライン (Line) のどちらに設定されているかを表示する
	TX ATT Level	---	WRR CH SELECTで選択したチャンネルで受信している送信機のATTレベルを設定する(設定値の可変範囲は、受信している送信機によって異なる場合がある)
	TX LCF Freq	---	WRR CH SELECTで選択したチャンネルで受信している送信機のローカットフィルター周波数を設定する(設定値の可変範囲は、受信している送信機によって異なる場合がある)
	TX System Delay	Auto /0.0ms~8.0ms	音声の遅延量を設定する Auto ：ワイヤレスレシーバーから送られてくる音声の遅延量が0になるように自動的に遅延量を補正する 0.0ms~8.0ms ：オーディオミキサーなどを介して複数のワイヤレスシステムを使用している場合に、予測されるワイヤレスシステムの遅延量を設定する

MAINTENANCE			
項目	細目	選択肢	内容
Timecode タイムコードに関する設定を行います。	TC Out	Auto/Generator	タイムコード出力を選択する Auto ：記録時はタイムコードジェネレーターの値を出力し、再生時はタイムコードリーダーの値を出力する Generator ：記録時、再生時ともタイムコードジェネレーターの値を出力する
	DF/NDF	DF/NDF	Countryの設定がPAL Area以外の場合に、ドロップフレームモード (DF) またはノンドロップフレームモード (NDF) を選択する
	LTC UBIT	Fix/Time	LTCのユーザービットに記録するデータを設定する Fix ：ユーザーが設定したデータを記録する Time ：現在の時刻を記録する
	Counter Display	Counter/Duration	ビューファインダーに表示されるカウンタ値のリセットの方法を選択する。 Counter ：RESETボタンを押すまで積算される Duration ：記録開始ごとにリセットされる
Essence Mark ショットマークとサムネイルの代表画に関する設定を行います。	Ret Shot Mark 1	On/Off	レンズのRETボタンを使用してShot Mark1を入力するかどうかを設定する。
	Ret Shot Mark 2	On/Off	レンズのRETボタンを使用してShot Mark2を入力するかどうかを設定する。

MAINTENANCE			
項目	細目	選択肢	内容
Camera Config カムコーダーの各種動作に関する設定を行います。	Rec Tally Blink	On/Off	バッテリー残量およびメディア残量がわずかになったときのタリー点滅をオン/オフする
	Rec Review	3sec /10sec/Clip	レビュー時間を選択する Clip ：直前に記録したクリップ全体をレビューする
	HD SDI Remote I/F	Off/Chara/G-Tally/R-Tally	HD/SD SDI OUT端子に接続された外部機器に対する記録動作制御機能を使用するかどうか設定し(HDSDI出力時)、使用する場合は外部機器が記録状態であることの表示方法を選択する Off ：記録動作制御機能を使用しない Chara ：ビューファインダー画面上の外部機器制御表示で表示する G-Tally ：ビューファインダー画面上のグリーントアリーで表示する R-Tally ：ビューファインダー画面上の記録モード/動作状態表示で表示する
	Color Bars Select	ARIB /100%/75%/SMPTE	カラーバーの種類を選択する
	RM Common Memory	On/Off	リモートコントロールユニット接続時とローカル操作時で設定を共有するか (On) 共有しないか (Off) を選択する
	RM Rec Start	RM /CAM/PARA	リモートコントロールユニット接続時にどちらの記録開始/停止ボタンを有効にするかを設定する RM ：リモートコントロールユニット CAM ：カムコーダー PARA ：両方
	Image Invert	On/ Off	画像の上下反転機能をオン/オフする
Rec Start/Stop Beep	On/ Off	記録開始/停止時の警告音をオン/オフする オンのとき、記録開始時に1回、記録停止時に2回ビープ音が鳴る。	
Rec Status Indicator	On/ Off	記録状態を示すインジケータをビューファインダーに表示するかどうかをオン/オフする	
Preset White ホワイトバランスのプリセット値に関する設定を行います。	Color Temp<P>	1500K~ 3200K ~50000K (可変範囲は目安)	ホワイトバランスのプリセット値を設定する
	Color Temp Balance<P>	-99~ ±0 ~+99	Color Temp<P>で希望の映像が得られなかった場合に、さらに細かく色温度を設定する
	R Gain <P>	-99~ ±0 ~+99	Rゲインのプリセット値を設定する
	B Gain <P>	-99~ ±0 ~+99	Bゲインのプリセット値を設定する
	AWB Enable <P>	On/ Off	WHITE BALスイッチがPRSTのとき、AWB (オートホワイトバランス) を実行する機能をオン/オフする

MAINTENANCE

項目	細目	選択肢	内容	
White Filter フィルタに関する設定を行います。	ND Filter	On/Off	電気的CCフィルタをNDフィルタに割り当てる機能をオン/オフする	
	C.Temp			
	ND FLT	3200K /4300K/5600K/6300K		電気的CCフィルタをNDフィルタに割り当てるときの色温度を選択する
	C.Temp<1>			
	ND FLT	3200K/4300K/ 5600K /6300K		電気的CCフィルタをNDフィルタに割り当てるときの色温度を選択する
	C.Temp<2-4>			
	Electrical CC<A>	3200K /4300K/5600K/6300K		電気的CCフィルタの切り換え機能をアサインパルススイッチに割り当てるときの色温度を選択する
Auto Iris2 オートアイリスに関する設定を行います。	Electrical CC	3200K/ 4300K /5600K/6300K	電気的CCフィルタの切り換え機能をアサインパルススイッチに割り当てるときの色温度を選択する	
	Electrical CC<C>	3200K/4300K/ 5600K /6300K/-----	電気的CCフィルタの切り換え機能をアサインパルススイッチに割り当てるときの色温度を選択する Cを使わないときは----を選択する	
	Electrical CC<D>	3200K/4300K/5600K/ 6300K /-----	電気的CCフィルタの切り換え機能をアサインパルススイッチに割り当てるときの色温度を選択する Dを使わないときは----を選択する	
	Iris Window	1/2/3/4/5/6/Var	オートアイリス検出ウィンドウの種類を選択する Var ：可変	
	Iris Window Ind	On/Off	オートアイリス検出ウィンドウの枠をマーカーで表示する機能をオン/オフする	
	Iris Level	-99~±0~+99	オートアイリスの目標値のレベルを調整する	
	Iris APL Ratio	-99~±0~+99	オートアイリス検出値のピーク値と平均値のミックス比を設定する (OPERATION > TLCS > Modeの設定がStandardの場合のみ有効)	
Iris Var Width	40~ 500 ~999	Iris Windowの設定がVarの場合に検出ウィンドウの幅を設定する		
Iris Var Height	70~ 500 ~999	Iris Windowの設定がVarの場合に検出ウィンドウの高さを設定する		
Iris Var H Position	-249~ 0 ~+249	Iris Windowの設定がVarの場合に検出ウィンドウの水平位置を設定する		
Iris Var V Position	-249~ 0 ~+249	Iris WindowがIris Windowの設定がVarの場合に検出ウィンドウの垂直位置を設定する		
Iris Speed	-99~±0~+99	制御スピード（映像の変化に対する反応速度）を設定する（値が大きいほど反応は速くなる）		
Clip High Light	On/Off	高輝度部の検出を無視して、高輝度に対する反応を鈍くさせる機能をオン/オフする		

MAINTENANCE			
項目	細目	選択肢	内容
Flicker Reduce フリッカー補正機能に関する設定を行います。蛍光灯など周期的に輝度に変化する照明下で被写体を撮影したとき、記録フレームレートとの関係で発生するフリッカーを補正できます。	Mode	Auto/On/Off	フリッカー補正機能の動作を設定する。 On ：常に動作させる Auto ：フリッカーを検出すると動作する Off ：動作させない
	Frequency	60Hz/50Hz	フリッカーの原因となっている照明の電源周波数に合わせる（工場出荷時の設定は、Countryの設定がPAL Areaの場合は50Hz、PAL Area以外の場合は60Hz）
Genlock ゲンロックに関する設定を行います。	H Phase(HD)	-999~±0~+999	ゲンロック時のHD出力のH位相を設定する
	H Phase(SD)	-99~±0~+99	ゲンロック時のSD出力のH位相を設定する
	Reference	Internal/Genlock	本機が使用している基準信号の種類を表示する
ND Comp NDフィルターの色ずれ補正に関する設定を行います。内蔵のNDフィルターはフィルターごとにごくわずかに色が異なるため、NDフィルターを切り換えたときにホワイトバランスがずれることがあります。フィルターごとの色の差をあらかじめ補正值として保存しておき、自動的に色ずれを補正することができます。	ND Offset Adjust	On/Off	NDフィルターの色ずれ補正機能
	Clear ND Offset	Execute/Cancel	NDフィルターの色ずれ補正值をクリアする（Executeで実行する）
Lens オートフランジバック調整を実行します。	Auto FB Adjust	Execute/Cancel	対応レンズに対してのみオートフランジバック調整を実行する（Executeで実行する）
Trigger Mode 記録開始/停止トリガーに関する設定を行います。	i.LINK Trigger Mode	Internal/Both/External	記録開始/停止の操作を、SxSメモリーカードに対してのみ行う場合はInternal、i.LINK（HDV/DV）端子やHD/SD SDI OUT端子に接続した機器に対してのみ行う場合はExternal、SxSメモリーカードと外部機器の両方に対して行う場合はBothを選択する

MAINTENANCE

項目	細目	選択肢	内容	
Network Setting ^{a)} ネットワーク接続に関する設定を行います。	DHCP	Enable/Disable	DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得するか (Enable) しないか (Disable) を選択する	
	ご注意	IP Address	0.0.0.0～255.255.255.255 (192.168.1.10)	DHCPがDisableの場合に、IPアドレスを設定する
	● Wi-Fiアダプター CBK-WA01が必要です。 ● 記録、再生中は無効です (グレー表示)。	Subnet Mask	0.0.0.0 ～255.255.255.255	DHCPがDisableの場合に、サブネットマスクを設定する
		Default Gateway	0.0.0.0～ 255.255.255.255	DHCPがDisableの場合に、デフォルトゲートウェイを設定する
	◆ ネットワーク接続について詳しくは、「Manuals for Solid-State Memory Camcorder」のCD-ROMに収録されている Supplement (サブリメント) をご覧ください。	User Name	admin	任意のユーザー名を設定する (英数字で1～31文字)
		Password	pmw-320 (機種名)	パスワード (機種名) を設定する (英数字で0～31文字)
		Set	Execute/Cancel	Network Settingで行った設定を確認する (Executeで実行)
		MAC Address		MACアドレスを表示する
		Net Config Reset	Execute/Cancel	ネットワークの設定を初期値に戻す (Executeで実行)

MAINTENANCE			
項目	細目	選択肢	内容
Wi-Fi Setting ^{a)} Wi-Fi接続に関する設定を行います。	Scan Networks	Execute/Cancel	Wi-FiがEnableのときに、接続先を自動検出する
	SSID	ネットワーク名	ネットワーク名を設定する (32文字以内)
ご注意 <ul style="list-style-type: none"> Wi-Fiアダプター CBK-WA01が必要です。 記録、再生中は無効です (グレー表示)。 	Network Type	Infra/ Adhoc	接続モードを選択する。 Infra ：インフラストラクチャモード Adhoc ：アドホックモード
	Ch	1~11	Network TypeがAdhocのときに、無線チャンネルを設定する
◆ Wi-Fi接続について詳しくは、「Manuals for Solid-State Memory Camcorder」のCD-ROMに収録されているSupplement (サブメント) をご覧ください。	Authentication	Open /Shared/WPA/WPA2	ネットワーク認証方法を選択する Open ：オープンシステム認証 Shared ：共有キー認証 WPA ：WPA (Wi-Fi Protected Access) 認証 WPA2 ：WPA2 (Wi-Fi Protected Access2) 認証 (Network TypeがInfraの場合のみ)
	Encryption	Disable /WEP/TKIP/AES	データを暗号化するかどうかと暗号化方式を選択する Disable ：暗号化しない WEP ：WEP (Wired Equivalent Privacy) 方式で暗号化 (AuthenticationがOpenまたはSharedの場合のみ) TKIP ：TKIP (Temporal Key Integrity Protocol) 方式で暗号化 (AuthenticationがWPAまたはWPA2の場合のみ) AES ：AES (Advanced Encryption Standard) 方式で暗号化 (AuthenticationがWPAまたはWPA2の場合のみ)
	WEP Key Index	1/2/3/4	EncryptionがWEPのときに、キーのインデックスを選択する
	Input Select	EncryptionがWEPの場合 ASCII5 、ASCII13、HEX10、HEX26、 EncryptionがTKIPまたはAESの場合 ASCII8-63、HEX64	ネットワークキー (またはセキュリティキー) に応じて入力形式を選択する ASCII5 ：ASCII形式で5文字 ASCII13 ：ASCII形式で13文字 HEX10 ：16進数形式で10桁 (文字) HEX26 ：16進数形式で26桁 (文字) ASCII8-63 ：ASCII8ビット形式で8~63文字 HEX64 ：16進数形式で64桁 (文字)
	Key		ネットワークキー (またはセキュリティキー) を設定する
	Set		Wi-FiがEnableのときに、Wi-Fi Settingで行った設定を有効にする (Executeで実行)
	Wi-Fi Status	■■■■■ Connecting	接続の実行中には「Connecting」を表示し、通信中には接続状態を■の数で表示する
	Wireless Mode	802.11b/802.11g/802.11n	IEEE802.11の規格を表示する
	Wi-Fi	Enable/ Disable	Wi-Fi接続を有効にするか無効にするかを選択する

MAINTENANCE			
項目	細目	選択肢	内容
Clock Set 内蔵時計を設定します。	Date/Time	12H/24H	現在の日時を設定する 時刻の表示形式を12時間表示 (12H) にするか24時間表示 (24H) にするかを選択する
	Date Mode	YYMMDD /MMDDYY/ DDMMYY	年月日の表示形式を選択する YYMMDD : 年月日の順 MMDDYY : 月日年の順 DDMMYY : 日月年の順
Language メッセージの表示言語を選択します。	Language	English /Chinese	メッセージ表示言語を英語 (English) にするか中国語 (Chinese) にするかを選択する
Hours Meter デジタル時計に関する設定を行います。	Hours(Sys)		積算使用時間を表示する (リセット不可)
	Hours(Reset)		積算使用時間を表示する (リセット可)
	Reset	Execute/Cancel	Hours(Reset)を0にリセットする (Executeで実行する)
Version 本機のバージョン表示およびバージョンアップを実行します。	Version		本機のソフトウェアバージョンを表示する (Vx.xx)
	Version Up	Execute/Cancel	本機をバージョンアップする (Executeで実行する)

ご注意

SxSメモリーカードが挿入されていないときは選択できません。

a)CBK-UPG02装着時

FILEメニュー

太字で表示されている設定値は、出荷時の初期設定値です。

FILE			
項目	細目	選択肢	内容
All ALLファイルの操作に関する設定を行います。	Display Mode	Date&Time /Model Name	保存や呼び出し時に表示されるリストボックスに表示する項目を選択する
	All File Load	Execute/Cancel	ALLファイルを呼び出す (Executeで実行する)
	All File Save	Execute/Cancel	ALLファイルを保存する (Executeで実行する)
	File ID		ファイルに最大16文字の名前を付ける
	All Preset	Execute/Cancel	すべての項目をプリセット値に戻す (Executeで実行する)
	Store All Preset	Execute/Cancel	すべての項目について現在の設定値をプリセット値として保存する (Executeで実行する)
	Clear All Preset	Execute/Cancel	すべての項目のプリセット値をクリアする (Executeで実行する)
	3Sec Clr Preset	On/Off	MENU CANCEL/PRST/ESCAPEスイッチをCANCEL/PRST側に3秒間押し上げたままにすると項目ごとにプリセット値がクリアされる機能をオン/オフする
	Network Data	Off /On	Allファイルを呼び出すときに、ネットワークに関する設定を読み込むか (On)、読み込まないか (Off) を選択する
	Scene シーンファイルの操作に関する設定を行います。	<input type="checkbox"/> 1	Standard
<input type="checkbox"/> 2		Standard	ファイル番号およびファイルID
<input type="checkbox"/> 3		Standard	ファイル番号およびファイルID
<input type="checkbox"/> 4		Standard	ファイル番号およびファイルID
<input type="checkbox"/> 5		Standard	ファイル番号およびファイルID
<input type="checkbox"/> Standard			標準設定値
Display Mode		Date&Time /Model Name	保存や呼び出し時に表示されるリストボックスに表示する項目を選択する
Scene Recall Mem		Execute/Cancel	内蔵メモリーからファイルを呼び出す (Executeで実行する)
Scene Store Mem		Execute/Cancel	内蔵メモリーにファイルを保存する (Executeで実行する)
Scene Recall SxS		Execute/Cancel	SxSメモリーカードからファイルを呼び出す (Executeで実行する)
Scene Store SxS	Execute/Cancel	SxSメモリーカードにファイルを保存する (Executeで実行する)	
File ID		ファイルに最大16文字の名前を付ける	

FILE			
項目	細目	選択肢	内容
Reference リファレンスファイルの操作に関する設定を行います。	Reference Store	Execute/Cancel	リファレンス項目の現在の状態を内部メモリーのリファレンスファイルに保存する (Executeで実行する)
	Reference Clear	Execute/Cancel	リファレンスファイルをクリアする (Executeで実行する)
	Reference Load SxS	Execute/Cancel	SxSメモリーカードからファイル呼び出す (Executeで実行する)
	Reference Save SxS	Execute/Cancel	SxSメモリーカードにファイルを保存する (Executeで実行する)
	File ID		ファイルに最大16文字の名前を付ける
	Scene White Data	On/ Off	Scene >Scene RecallまたはScene >Standardの実行時、ホワイトバランスのデータを読み込むかどうかを選択する
Lens レンズファイルの操作に関する設定を行います。	Display Mode	Date&Time /Model Name	保存や呼び出し時に表示されるリストボックスに表示する項目を選択する
	Lens Recall Mem	Execute/Cancel	内蔵メモリーからファイル呼び出す (Executeで実行する)
	Lens Store Mem	Execute/Cancel	内蔵メモリーにファイルを保存する (Executeで実行する)
	Lens Recall SxS	Execute/Cancel	SxSメモリーカードからファイル呼び出す (Executeで実行する)
	Lens Store SxS	Execute/Cancel	SxSメモリーカードにファイルを保存する (Executeで実行する)
	File ID		最後に呼び出したファイルに最大16文字の名前を付ける
	Source		選択しているファイルの番号が表示される
	Lens No Offset	Execute/Cancel	ファイルをクリアする (Executeで実行する)
	Lens Auto Recall	Off /On/Serial Number	シリアル通信対応レンズ装着時に、該当するレンズファイルを自動的に呼び出すかどうかを設定する Off : この機能を使用しない On : 機種名に対応するレンズファイル呼び出し、その内容を反映する Serial Number : シリアル番号の通信が可能なレンズの場合は、機種名とシリアル番号に対応するレンズファイル呼び出し、その内容を反映する。シリアル番号の通信ができないレンズの場合は、機種名に対応するレンズファイル呼び出す (Onに設定したときと同じ)
	Serial Number		装着されたシリアル通信対応レンズのシリアルナンバーが表示される (対応レンズのみ)
	Lens ID		装着されたシリアル通信対応レンズの機種名が表示される (対応レンズのみ)

FILE			
項目	細目	選択肢	内容
Lens レンズファイルの操作に関する設定を行います。	L Manufacturer		装着されたシリアル通信対応レンズのメーカー名が表示される（対応レンズのみ）
	M V Modulation	-99~±0~+99	レンズファイルに垂直方向のSAWシェーディング補正値を設定する
	Lens Center H	-40~0~40	レンズファイルにセンターマーカの水平位置を設定する
	Lens Center V	-40~0~40	レンズファイルにセンターマーカの垂直位置を設定する
	Lens R Flare	-99~±0~+99	レンズファイルにRフレアレベルを設定する
	Lens G Flare	-99~±0~+99	レンズファイルにGフレアレベルを設定する
	Lens B Flare	-99~±0~+99	レンズファイルにBフレアレベルを設定する
	Lens W-R Offset	-99~±0~+99	レンズファイルにRホワイトバランス補正値を設定する
	Lens W-B Offset	-99~±0~+99	レンズファイルにBホワイトバランス補正値を設定する
	Shading Ch Sel	Red/Green/Blue	ホワイトシェーディング補正の対象を選択する。
	L R/G/B H Saw	-99~±0~+99	レンズファイルに水平方向のSAWホワイトシェーディング補正値を設定する
	L R/G/B H Para	-99~±0~+99	レンズファイルに水平方向のパラボラホワイトシェーディング補正値を設定する
	L R/G/B V Saw	-99~±0~+99	レンズファイルに垂直方向のSAWホワイトシェーディング補正値を設定する
	L R/G/B V Para	-99~±0~+99	レンズファイルに垂直方向のパラボラホワイトシェーディング補正値を設定する

アサインブルスイッチに機能を割り当てる

OPERATIONメニューのAssignable SWで、ASSIGN. 0～3スイッチ、ASSIGNABLE 4/5スイッチとCOLOR TEMP.ボタン、レンズのRETボタンに任意の機能を割り当てることができます。工場出荷時には、それぞれ下表に示す機能が割り当てられています。

スイッチ／ボタン	機能	Assignable SW の設定
ASSIGN. 0スイッチ	未設定	Off
ASSIGN. 1スイッチ	OPERATION > TLCSの設定に基づいてEZモードを実行する	EZ Mode
ASSIGN. 2スイッチ	未設定	Off
ASSIGN. 3スイッチ	未設定	Off
ASSIGNABLE 4スイッチ	未設定	Off
ASSIGNABLE 5スイッチ	未設定	Off
RETボタン	記録中または再生中：ショットマークを記録する 上記以外：レックレビュー（再生可能な場合）	Lens RET
COLOR TEMP.ボタン	ホワイトバランスを5600Kのプリセット値でホワイトバランス調整を行う	Color Temp SW 5600K

ASSIGN. 0スイッチに割り当て可能な機能

Assignable SW の設定	機能	電源再投入時の状態
Off	未設定	—
Marker	すべてのマーカー表示をオン／オフする	設定を保持する
ATW Hold	ATW（自動追尾ホワイトバランス）によるホワイトバランス設定値を保持する	—
Picture Cache	ピクチャーキャッシュレックモードをオン／オフする	設定を保持する
Freeze Mix	フリーズミックスを実行する	—
Focus Mag	拡大フォーカス機能をオン／オフする	設定を保持しない
Zebra	ゼブラ表示をオン／オフする	設定を保持しない
Shot Mark1	ショットマーク1を書き込む	—
Shot Mark2	ショットマーク2を書き込む	—
OK Mark	OKマークを記録／削除する	—

ASSIGN. 2スイッチに割り当て可能な機能

ご注意

ASSIGN. 2スイッチに機能を割り当てた直後と記録フォーマットの切り換え直後は、その時点のスイッチの設定と本機の状態が一致しないことがあります。機能の割り当て後にASSIGN. 2スイッチを切り換えるか、電源を再投入すると一致します。

Assignable SW の設定	機能
Off	未設定
Front Mic	ステレオマイク接続時、ステレオ／モノラルを切り換える
Marker	すべてのマーカー表示をオン／オフする

Assignable SW の設定 機能	
Picture Cache a)	ピクチャーキャッシュレックモードをオン/オフする
Zebra	ゼブラ表示をオン/オフする
Digital Extender b)	別売の50ピンインターフェースアンドデジタルエクステンダー CBK-CE01の装着時に、画面拡大機能をオン/オフする

ご注意

a) Picture Cacheをオンすると、メニューの OPERATION > Rec Functionは無効（グレー表示）になり、設定できなくなります。

b) デジタルエクステンダー機能がOnのときは、リターンビデオを表示できません。

ASSIGN. 1/3スイッチ、ASSIGNABLE 4/5スイッチとCOLOR TEMP. ボタンに割り当て可能な機能

Assignable SW の設定 機能	電源再投入時の状態
Off	未設定 —
Front Mic	ステレオマイク接続時、ステレオ（オン）/モノラル（オフ）を切り換える 設定を保持する
Marker	すべてのマーカー表示をオン/オフする 設定を保持する
Last Clip Delete	直前に撮影したクリップを削除する —
ATW	ATW（自動追尾ホワイトバランス）モードをオン/オフする 設定を保持しない
ATW Hold	ATWによるホワイトバランス設定値を保持する —
EZ Mode	OPERATION > TLCSの設定に基づいてEZモードを実行する 設定を保持する
Turbo Gain	OPERATION > Gain Switch > Gain Turboの設定に基づいてターボゲインを実行する 設定を保持しない
Rec Review	レックレビューを実行する —
Rec	記録開始/停止を実行する —
Picture Cache	ピクチャーキャッシュレックモードをオン/オフする 設定を保持する
Freeze Mix	フリーズミックスを実行する 設定を保持しない
Spotlight	オートアイリスモードをスポットライトに設定/解除する 設定を保持する
Backlight	オートアイリスモードをバックライトに設定/解除する 設定を保持する
EVF Mode	ビューファインダー画面の白黒（オン）/カラー（オフ）を切り換える 設定を保持する
BRT Disp	輝度レベル表示をオン/オフする 設定を保持する
Histogram	ヒストグラム表示をオン/オフする 設定を保持する
Lens Info	被写界深度表示のオフ、メーター表示、フィート表示を切り換える 設定を保持する
Zoom Tele/Wide	シリアル通信対応レンズ使用時に、ASSIGNABLE 4にZoom Tele機能を、ASSIGNABLE 5にZoom Wide機能をそれぞれ割り当てる（<4>、<5>の設定時のみ表示する） —
Zoom Wide/Tele	シリアル通信対応レンズ使用時に、ASSIGNABLE 4にZoom Wide機能を、ASSIGNABLE 5にZoom Tele機能をそれぞれ割り当てる（<4>、<5>の設定時のみ表示する） —
Manual Focus Assist	マニュアルフォーカスアシスト機能をオン/オフする 設定を保持する
Focus Mag	拡大フォーカス機能をオン/オフする 設定を保持しない

Assignable SW の設定	機能	電源再投入時の状態
Zebra	ゼブラ表示をオン/オフする	設定を保持しない
Lens RET	別売のCBK-CE01を装着してカメラエクステンションユニットと接続している場合に、リターンビデオ信号を表示する カメラエクステンションユニットを接続していない場合は、以下の機能 記録中または再生中 :ショットマークを記録する 上記以外 :レックレビュー(再生可能な場合)	—
Return Video ^{a)}	別売のCBK-CE01を装着してカメラエクステンションユニットと接続している場合に、リターンビデオ信号を表示する	—
Return Video2	将来のシステム拡張用です。現在、機能しません。	—
Return Video3	将来のシステム拡張用です。現在、機能しません。	—
Return Video4	将来のシステム拡張用です。現在、機能しません。	—
Shot Mark1	ショットマーク1を書き込む	—
Shot Mark2	ショットマーク2を書き込む	—
OK Mark	OKマークを記録/削除する	—
Color Temp SW 3200K	ホワイトバランスを3200Kのプリセット値でホワイトバランス調整を行う	設定を保持する
Color Temp SW 4300K	ホワイトバランスを4300Kのプリセット値でホワイトバランス調整を行う	設定を保持する
Color Temp SW 5600K	ホワイトバランスを5600Kのプリセット値でホワイトバランス調整を行う	設定を保持する
Color Temp SW 6300K	ホワイトバランスを6300Kのプリセット値でホワイトバランス調整を行う	設定を保持する
Electrical CC	ホワイトバランス調整値に対して電気的CCフィルターを切り換える(3200K/4300K/5600K/6300K)機能 スイッチ/ボタンを押すたびに 3200K→4300K→5600K→6300Kと切り替わる Menu設定で変更可能(Electrical CC<A><C><D>で設定)	設定を保持する
	ご注意 メニューのMaintenance >White Filter >ND Filter C.TempがOnの場合は設定できません。 機能を割り当てたあとでND Filter C.TempをOnすると、そのアサインナブルスイッチは機能しなくなります。	
CC5600K	ホワイトバランス調整値に対して5600Kの電気的CCフィルターをかける	設定を保持する
Digital Extender ^{a)}	別売の50ピンインターフェースアンドデジタルエクステンダー CBK-CE01の装着時に、画面拡大機能をオン/オフする	設定を保持しない

a) デジタルエクステンダー機能がOnのときは、リターンビデオを表示できません。

レンズのRETボタンに割り当て可能な機能

Assignable SW の設定	機能	電源再投入時の状態
Off	未設定	—
Lens RET	別売のCBK-CE01を装着してカメラエクステンションユニットと接続している場合に、リターンビデオ信号を表示する カメラエクステンションユニットを接続していない場合は、以下の機能 記録中または再生中 ：ショットマークを記録する 上記以外 ：レックレビュー（再生可能な場合）	—
Return Video ^{a)}	別売のCBK-CE01を装着してカメラエクステンションユニットと接続している場合に、リターンビデオ信号を表示する	—
Rec Review	レックレビューを実行する	—
Shot Mark1	ショットマーク1を書き込む	—
Shot Mark2	ショットマーク2を書き込む	—
OK Mark	OKマークを記録／削除する	—
Focus Mag	拡大フォーカス機能をオン／オフする	設定を保持しない

a) デジタルエクステンダー機能がOnのときは、リターンビデオを表示できません。

PMW-EX1Rと画質を合わせる

以下のメニュー設定を行うことにより、本機とPMW-EX1Rの画質を合わせることができます。

メニュー項目	設定	
	HD	SD
PAINT >Black Gamma	Black Gamma : OFF	Black Gamma : ON
		Gamma Level : -16
PAINT >Matrix	Preset Select : 6	Preset Select : 4
PAINT >Gamma	Gamma Select : 5 R709	Gamma Select : 4 240M

設定の保存と呼び出し

セットアップメニューの設定内容は、本機の内蔵メモリーとSxSメモリーカードに保存することができます。このデータを使って、適切なセットアップ状態をすばやく再現できます。

設定データは、次のように分類されて保存されます。

ALLファイル：全メニューの設定データを保存します。SxSメモリーカードに64個まで保存することができます。

ご注意

機器固有のデータ（機器ごとに調整が必要なシェーディングや出力レベルなど）は保存されません。

シーンファイル：撮影シーンに合わせて設定したペイント項目の設定値を保存します。本機の内蔵メモリーに5個、SxSメモリーカードに64個まで保存することができます。

リファレンスファイル：メニューのFILE >SceneでStandardを実行するときの基準となる設定値を保存します。本機の内蔵メモリーとSxSメモリーカードに1個ずつ保存することができます。

レンズファイル：レンズ固有の特性を補正する設定データ（フレア、ホワイトシェーディング、ホワイトバランス、センターマーカー）を保存します。本機の内蔵メモリーに32個、SxSメモリーカードに64個まで保存することができます。

ファイルを最初に保存したときの設定値を「プリセット値」と呼びます。

ファイルを呼び出して本機をセットアップし、さらに設定変更を行った状態で元のファイルを上書き保存した場合でも、プリセット値を復活させて、ファイルの内容を初期状態にリセットすることができます（153ページ参照）。

設定データを保存する

設定データをALLファイルとして保存する手順を説明します。

あらかじめ、書き込み可能なSxSメモリーカードをメモリーカードスロットに挿入しておきます。

◆メニューの操作については、「セットアップメニューの基本操作」（112ページ）をご覧ください。

1 メニューのFILE >Allを選択する。

保存するデータに名前を付けるときは手順2に進む前に、名前を設定します。

◆詳しくは、「ファイルに名前を付けるには」（152ページ）をご覧ください。

2 All File Save >Executeを選択する。

ALLファイルのリストボックスが表示されます。

「No File」と表示されているファイル番号は空き番号です。すでにデータが保存されているファイル番号には、日付、時刻やファイル名が表示されます。

3 MENUつまみを回して希望のファイル番号を選択する。

4 MENUつまみを押す。

実行待ちメッセージが表示されます。

5 保存を実行するときは、「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。保存を中止するときは、「Cancel」を選択し、MENUつまみを押す。

保存を実行すると、ACCESSランプが点灯します（右側面：青、カードスロット部：オレンジ）。SxSメモリーカードへの保存が完了すると、完了メッセージが表示され、ACCESSランプが消灯します。

ファイルの保存が実行されないときは
SxSメモリーカードへの保存操作中または操作後に次のエラーメッセージが表示されたときは、ファイルは保存されません。

エラーメッセージ	状況	対策
NG:Cannot Save	記録可能なメディアが挿入されていない	記録可能なメディアを挿入する
NG:Media Full	メディア残容量がない	残容量のあるメディアを使用する

ファイルに名前を付けるには

データをALLファイルとして保存する前に名前を付けておくと、ファイルの識別に役立ちます。

以下の文字を使用できます。

数字、アルファベット、特殊文字（!、#、\$、%、&、'、(、)、*、+、,、-、.、/、:、;、<、=、>、?、@、[、\、]、~）

- 1 メニューのFILE >All >File IDを選択する。
- 2 MENUつまみを回して文字を選択し、つまみを押す。
- 3 手順3を繰り返す。
- 4 文字の入力が終了したら、MENUつまみを押してカーソルを「SET」に合わせ、つまみを押す。
設定した名前が表示されます。
ファイルの保存操作（151ページ参照）を行うと、この名前前でデータが保存されます。

設定データを呼び出す

ご注意

SxSメモリーカードからファイルを呼び出すと、本機内部に保存されているデータは上書きされます。

◆メニューの操作については、「セットアップメニューの基本操作」（112ページ）をご覧ください。

- 1 メニューのFILE >Allを選択する。
- 2 All File Load >Executeを選択する。
ALLファイルのリストボックスが表示されます。
「No File」と表示されているファイル番号は空き番号です。すでにデータが保存されているファイル番号には、日付、時刻やファイル名が表示されます。
- 3 MENUつまみを回して、希望のファイル番号を選択する。
- 4 MENUつまみを押す。
実行待ちメッセージが表示されます。
- 5 呼び出しを実行するときは、「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。
呼び出しを中止するときは、「Cancel」を選択し、MENUつまみを押す。
呼び出しを実行すると、ACCESSランプが点灯します（右側面：青、カードスロット部：オレンジ）。SxSのメモリーカードからの呼び出しが完了すると、完了メッセージが表示され、ACCESSランプが消灯します。

ファイルの呼び出しが実行されないとき

SxSメモリーカードからの呼び出し操作中または操作後に次のエラーメッセージが表示された場合は、ファイルの呼び出しは行われません。

エラーメッセージ	状況	対策
NG:No Data	<ul style="list-style-type: none"> 読み出し可能なメディアがない メディアに該当のファイルがない 	ファイルを保存したメディアを挿入する

変更されたファイルの内容を初期状態にリセットする

- ◆メニューの操作については、「セットアップメニューの基本操作」(112ページ)をご覧ください。

- 1 メニューのFILE >Allを選択する。
- 2 All Presetを選択し、MENUつまみを押す。
- 3 リセットを実行するときはExecuteを選択し、MENUつまみを押す。リセットを中止するときはCancelを選択し、MENUつまみを押す。リセットを実行すると、すべてのALLファイル内の設定値が、すべてプリセット値にリセットされます。

シーンファイルの保存と呼び出し

次のデータをシーンファイルに保存できません。

- PAINTメニューを使用して設定した値
 - 標準モードおよびECSモードでのシャッタースピードの設定
 - ホワイトバランスのデータ
- 保存されるデータおよび呼び出されるデータは、FILEメニューのReference >Scene White Dataの設定によって異なります。

シーンファイルを保存する

SxSメモリーカードにファイルを保存するときは、SxSメモリーカードをメモリーカードスロットに入れてから以下の操作を行います。

- ◆メニューの操作については、「セットアップメニューの基本操作」(112ページ)をご覧ください。

- 1 メニューのFILE >Sceneを選択する。
保存するデータに名前を付けるときは手順2に進む前に、名前を設定します。
◆詳しくは、「ファイルに名前を付けるには」(152ページ)をご覧ください。

- 2 Scene Store MemまたはScene Store SxSを選択する。
内蔵メモリーに保存する場合はScene Store Mem、SxSメモリーカードに保存する場合はScene Store SxSを選択します。

- 3 MENUつまみを押す。
シーンファイルのリストボックスが表示されます。ファイルが保存されていないファイル番号には、「No File」と表示されます。

- 4 保存したいファイル番号を選択し、MENUつまみを押す。
実行待ちメッセージが表示されます。
- 5 保存を実行するときは「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。
保存を中止するときは「Cancel」を選択し、MENUつまみを押す。
手順2でScene Store SxSを選択したときは、保存を実行するとACCESSランプが点灯します（右側面：青、カードスロット部：オレンジ）。
SxSメモリーカードへの保存が完了すると、完了メッセージが表示され、ACCESSランプが消灯します。

シーンファイルを読み出す

SxSメモリーカードからファイルを読み出すときは、SxSメモリーカードをメモリーカードスロットに入れてから以下の操作を行います。

- ◆メニューの操作については、「セットアップメニューの基本操作」（112ページ）をご覧ください。

- 1 メニューのFILE >Sceneを選択する。
- 2 Scene Recall MemまたはScene Recall SxSを選択する。
内蔵メモリーから読み出す場合はScene Recall Mem、SxSメモリーカードから読み出す場合はScene Recall SxSを選択します。
- 3 MENUつまみを押す。
シーンファイルのリストボックスが表示されます。ファイルが保存されていないファイル番号には、「No File」と表示されます。
- 4 希望のファイル番号を選択し、MENUつまみを押す。
実行待ちメッセージが表示されます。
- 5 読み出しを実行するときは、「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。

読み出しを中止するときは「Cancel」を選択し、MENUつまみを押す。
手順2でScene Recall SxSを選択したときは、読み出しを実行するとACCESSランプが点灯します（右側面：青、カードスロット部：オレンジ）。
指定したファイルがSxSメモリーカードから読み出されると、完了メッセージが表示され、ACCESSランプが消灯します。

注意

本機とPMW-350の間で設定データ（ALLファイル、シーンファイル、リファレンスファイル、レンズファイル）の互換性はありません。

レンズファイルの保存と呼び出し

レンズファイルを設定する

レンズファイルは、FILEメニューのLens (144ページ参照) で設定します。
以下のデータを設定し、レンズファイルとして保存できます。

設定データ	細目
Vモジュレーションシェーディング補正值	M V Modulation
センターマーカーの位置	Lens Center H Lens Center V
フレアレベル	Lens R Flare Lens G Flare Lens B Flare
ホワイトバランス補正值	Lens W-R Offset Lens W-B Offset
ホワイトシェーディング補正值	L R/G/B H Saw L R/G/B H Para L R/G/B V Saw L R/G/B V Para

◆メニューの操作については、「セットアップメニューの基本操作」(112ページ)をご覧ください。

レンズファイルを保存する

SxSメモリーカードにファイルを保存するときは、SxSメモリーカードをメモリーカードスロットに入れてから以下の操作を行います。

◆メニューの操作については、「セットアップメニューの基本操作」(112ページ)をご覧ください。

1 メニューのFILE >Lensを選択する。

保存するデータに名前を付けるときは手順2に進む前に、名前を設定します。

◆詳しくは、「ファイルに名前を付けるには」(152ページ)をご覧ください。

2 Lens Store MemまたはLens Store SxSを選択して、MENUつまみを押す。

内蔵メモリーに保存する場合はLens Store Mem、SxSメモリーカードに保存する場合はLens Store SxSを選択します。

3 保存を実行するときはExecuteを選択し、MENUつまみを押す。保存を中止するときはCancelを選択し、MENUつまみを押す。

Executeを選択すると、レンズファイルのリストボックスが表示されます。ファイルが保存されていないファイル番号には、「No File」と表示されます。

4 保存したいファイル番号を選択し、MENUつまみを押す。

実行待ちメッセージが表示されます。

5 保存を実行するときは「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。保存を中止するときは「Cancel」を選択し、MENUつまみを押す。

手順2でLens Store SxSを選択したときは、保存を実行するとACCESSランプが点灯します(右側面:青、カードスロット部:オレンジ)。SxSメモリーカードへの保存が完了すると、完了メッセージが表示され、ACCESSランプが消灯します。

レンズファイルを呼び出す

SxSメモリーカードからレンズファイルを呼び出すときは、SxSメモリーカードをメモリーカードスロットに入れてから以下の操作を行います。

◆メニューの操作については、「セットアップメニューの基本操作」(112ページ)をご覧ください。

1 メニューのFILE >Lensを選択する。

2 Lens Recall MemまたはLens Recall SxSを選択して、MENUつまみを押す。

内蔵メモリーから呼び出す場合はLens Recall Mem、SxSメモリーカードから呼び出す場合はLens Recall SxSを選択します。

- 3** 呼び出しを実行するときはExecuteを選択し、MENUつまみを押す。
呼び出しを中止するときはCancelを選択し、MENUつまみを押す。

Executeを選択すると、レンズファイルのリストボックスが表示されます。ファイルが保存されていないファイル番号には、「No File」と表示されます。

- 4** 希望のファイル番号を選択し、MENUつまみを押す。

実行待ちメッセージが表示されます。

- 5** 呼び出しを実行するときは「Execute」を選択し、MENUつまみを押す。

呼び出しを中止するときは「Cancel」を選択し、MENUつまみを押す。

手順2でLens Recall SxSを選択したときは、呼び出しを実行するとACCESSランプが点灯します（右側面：青、カードスロット部：オレンジ）。指定したレンズファイルがSxSメモリーカードから呼び出されると、完了メッセージが表示され、ACCESSランプが消灯します。

Serial Number：機種名とシリアル番号に対応するレンズファイルを呼び出す（シリアル番号の通信が可能なレンズの場合）

シリアル番号の通信に対応していないレンズを使用している場合は、いずれの設定でも、機種名に対応するレンズファイルを呼び出します。

レンズファイルを自動で呼び出す

シリアル通信対応レンズを使用しているときは、レンズの設定に対応するレンズファイルを自動的に呼び出して、本機をセットアップすることができます（Lens Auto Recall機能）。

Lens Auto Recall機能を使用するときは、FILEメニューのLens >Lens Auto Recallを以下のいずれかに設定します。

On：機種名に対応するレンズファイルを呼び出す

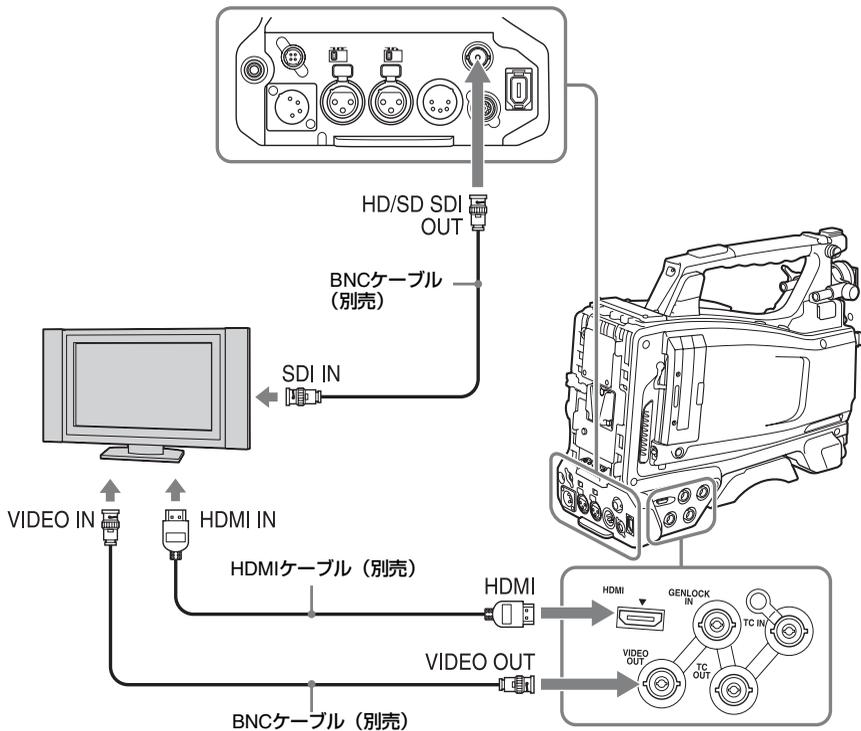
Off：機能を使用しない

8章 外部機器の接続

本機は、リモートコントロールユニットRM-B150/B170/B750やリモートコントロールパネルRCP-1001/1501などのコントロールユニットを使用して操作することもできます。コントロールユニットの接続や操作については、「Manuals for Solid-State Memory Camcorder」のCD-ROMに収録されているSupplement（サブプリメント）をご覧ください。

外部モニターを接続する

本機の出力信号を選択し、接続するモニターに応じた接続ケーブルを使用してください。



HD信号／SD信号を問わず、外部モニターにビューファインダー画面と同様の各種ステータス情報やメニューなどを表示させることができます。

ご注意

ダウンコンバートされて出力されるSD信号には、次のような制約があります。

50P/50i/25Pの映像はPAL信号、59.94P/59.94i/29.97Pの映像はNTSC信号、23.98Pの映像は2-3プルダウン処理されたNTSC信号として出力されます。

HD/SD SDI OUT端子 (BNC型)

HD/SD SDI OUT端子には、SDI対応のモニター、スイッチャーやVTRなどの記録装置を接続することができます。

本端子からの出力信号は、メニューのOPERATION >Input/Output >SDI Output (116ページ参照) でOn/Offすることができます。

接続には、別売のBNCケーブルを使用します。

HDMI端子

HDMI端子には、HDMI対応のモニターやVTRなどの記録装置を接続することができます。

本端子からの出力信号は、メニューのOPERATION >Input/Output >HDMI Output (116ページ参照) でOn/Offすることができます。

接続には、別売のHDMIケーブルを使用します。

VIDEO OUT端子

VIDEO OUT端子には、アナログコンポジット対応のモニターやVTRなどの記録装置を接続することができます。

本端子からのアナログコンポジット信号は、出力の設定がSD信号のときにHD/SD SDI OUT端子から出力される信号と同じ、NTSCまたはPALにエンコードしたのになります (メニューのOPERATION >Format >Country (115ページ参照) でNTSC/PALを切り換えます)。

アナログコンポジット対応機器に信号を入力するには、必要に応じて、VIDEO OUT端子からのアナログコンポジット信号の設定に合わせて、アナログコンポジット対応機器側の入力信号設定を変更します。

モニターやVTRなどの記録装置に音声を入力する場合は、AUDIO OUT端子からの音声

出力とモニターやVTR側のオーディオ入力を接続します。

接続には、別売のBNCケーブルを使用します。

i.LINK (HDV/DV) 端子

i.LINK (HDV/DV) 端子はHDVとDVの入出力に対応します。ただし、DVを入力しても本機では記録できません。

本端子には、i.LINK (HDV) 対応のモニター、VTRやHDDなどのi.LINK (HDV) 対応の記録再生装置、およびi.LINK (HDV) 対応のコンピューターを接続することができます。

HDV信号を入出力するには

HDV信号は、ビデオフォーマットがHDV互換フォーマット (SP 1440/59.94i、SP 1440/50i、SP 1440/23.98P) で、メニューのOPERATION >Input/Output >Output&i.LINKの設定がHD&HDVまたはSD&HDV、Input/Output >i.LINK I/Oの設定がEnableのときに入出力可能です。ビデオフォーマットがSP 1440/23.98Pのときは、2-3プルダウン処理された59.94iのHDV信号を出力します。

DV信号を入出力するには

DV信号は、以下の場合に入出力可能です。

- SDモードで、OPERATIONメニューのInput/Output >i.LINK I/Oの設定がEnable
- HDモードで、ビデオフォーマットがDV信号入出力不可フォーマット (HQ 1920/23.98P、HQ 1440/23.98P、HQ 1280/23.98P) 以外で、Input/Output >Output&i.LINKの設定がSD&DV、Input/Output >i.LINK I/Oの設定がEnable

コンピューターでクリップを管理・編集する

本機でSxSメモリーカードに記録したクリップを、コンピューター上で管理したり、別売のノンリニア編集ソフトで編集することができます。

SxSメモリーカードをコンピューターに直接装着したり、USBケーブルを使って本機またはSxSメモリーカードUSBリーダー／ライター SBAC-US10（別売）をコンピューターに接続して、本機で記録したクリップを管理・編集する方法を説明します。

コンピューターのExpressCardスロットを使う

ExpressCard/34またはExpressCard/54スロットがあるコンピューターの場合は、本機でクリップを記録したSxSメモリーカードを直接挿入して、ファイルにアクセスすることができます。

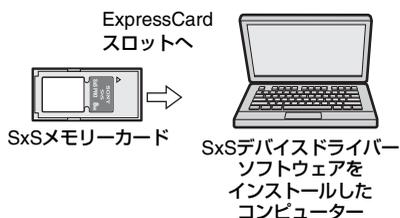
- ◆コンピューターの動作環境について詳しくは、「ソフトウェアの使いかた」（16ページ参照）をご覧ください。

ご注意

付属のCD-ROMに収録されているSxSデバイスドライバーソフトウェアおよびUDFドライバーソフトウェアのインストールが必要です。インストールの前に、必ず同梱されているSxSデバイスドライバーソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。

- ◆SxSデバイスドライバーソフトウェアのインストール方法について詳しくは、付属のCD-ROMに収録されているReadMeをご覧ください。
- ◆SxSデバイスドライバーソフトウェアのサポート関連情報については、下記URLをご覧ください。

<http://www.sony.net/SxS-Support/>



Windowsの場合

マイコンピューターにリムーバブルディスクが追加されていることを確認してください。追加されていれば正常に動作していません。

Macintoshの場合

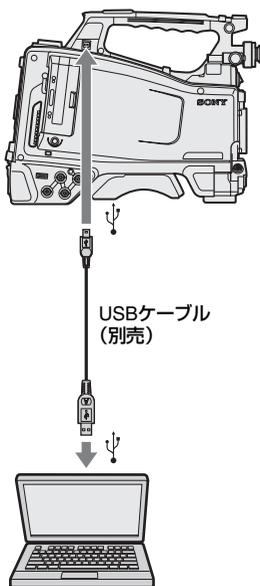
メニューバーにアイコンが表示されます。

USBケーブルを使って接続する

準備

本機を別売のUSBケーブルを使ってコンピューターに接続すると、スロットに装着されたメモリーカードがコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。

本機の場合、2枚のメモリーカードが挿入されているときは、コンピューターでは2つのドライブとして認識されます。



ご注意

- コンピューターに接続するときは、USBコネクターの形と向きに注意してください。
- 本機はコンピューターからのバスパワーでは動作しません。

USB接続を開始するには

PC接続端子とバッテリー駆動のプロフェッショナルハードディスクユニットPHU-220R (別売) をコンピューターに同時接続している状態でPHU-220Rのバッテリーが消耗 (Battery End) すると、以下を操作することはできません。

- コンピューターからのアクセスをガード
- メディア抜き相当の処理
- ビューファインダー画面にタリ点灯などユーザーへの警告表示

PC接続端子とコンピューターを別売のUSBケーブルを使って接続したとき、USB接続を有効にするか、無効にするかを確認する「Connect USB Now?」のメッセージが表示されます。

「Cancel」を選択したり、MENU CANCEL/PRST/ESCAPEスイッチをESCAPE側に押し下げた場合、またはUSBケーブルを抜い

た場合は、「Connect USB Now?」のメッセージが消え、元の画面に戻ります。

Connect USB Now?

Execute

Cancel

「Execute」を選択し、MENUつまみを押すと、USB接続が有効になり、本機はコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。矢印 (↑、↓、←、→) ボタン (25ページ参照) でも操作可能です。

USB Connecting

記録／再生動作中にUSB接続を許可した場合は、動作を停止し「USB Connecting (USB接続中)」をビューファインダー画面に表示します。

このとき、VIDEO OUT端子、HDMI端子、HD/SD SDI OUT端子からの出力信号は黒画となります。

ご注意

- USB接続中は、本機で記録／再生などの操作はできません。
- コンピューターから本機の記録メディアにアクセス (読み書き) しているときは以下の操作を行わないでください。
 - 本機の操作 (電源のオン/オフ、モード切り換えなど)
 - アクセス中の記録メディアを抜き差し
 - USB 接続ケーブルの抜き差し

USB接続の解除方法

USB接続の解除は、コンピューターのデバイス取りはずし手順にしたがって操作します。

USBを再接続するときは、一度USBケーブルを抜いたあとに再度接続してください。再び「Connect USB Now?」のメッセージが表示されます。

ご注意

i.LINKケーブルを使ってコンピューターを接続した場合は、本機のカードスロットに挿入された記

録メディア内のファイルをコンピューターから操作することはできません。

SxSメモリーカードを取りはずすには

Windowsの場合

- 1 コンピューターのタスクバーに表示されている「ハードウェアの取りはずしまたは取り出し」アイコンをクリックする。
- 2 表示されたメニューから「SxS Memory Card ドライブ (X:) を安全に取りはずします」を選択する。
- 3 安全に取りはずすことができることを知らせるメッセージが表示されたら、カードを抜く。

Macintoshの場合

デスクトップにあるSxSメモリーカードのアイコンを「ゴミ箱」(イジェクトアイコン)にドラッグします。

ファインダー上にSxSメモリーカードのアイコンがある場合は、横のイジェクトアイコンをクリックしてください。

付属のアプリケーションソフトウェアを使うには

コンピューターのローカルディスクにクリップをコピーする場合などは、付属のCD-ROMに収録されている専用アプリケーションソフトウェアをインストールして使用します。

使用するコンピューターに、付属のCD-ROMに収録されている専用アプリケーションソフトウェアをインストールしてください。

記録した素材は、情報が複数のファイル、複数のフォルダーにまたがって置かれていますが、付属アプリケーションソフトウェアでは、これらの情報やディレクトリー構

造を、ユーザーが意識することなく、容易に扱えるようになっています。

ご注意

Explorer (Windows環境) やFinder (Mac環境) を使用して、SxSメモリーカード内のクリップのコピーなどを行うと、クリップが持つ情報を保持できなくなることがあります。そのような状況を避けるため、専用アプリケーションソフトウェアを使用してください。

◆動作環境やインストール方法、使いかたについては付属のCD-ROMに収録されているインストールガイド、ヘルプ(ユーザーガイド)をご覧ください。

◆専用アプリケーションソフトウェアについては、ソニープロフェッショナル/業務用製品サイトをご覧ください。

ノンリニア編集システムを使うには

ノンリニア編集システムには、本機で記録したフォーマットに対応した編集ソフトウェア(別売)が必要です。

付属の専用アプリケーションソフトウェアを使って、あらかじめコンピューターのHDDに編集したいクリップを保存しておきます。

使用する編集ソフトによっては正しく動作しない場合があります。ご使用になる前に、必ず本機で記録したフォーマットに対応することをご確認ください。

外部機器を接続する (i.LINK接続)

i.LINK (HDV/DV) 端子に接続した外部機器で本機のメモリーカードに記録されるのと同じ画像を記録したり、外部機器の再生画像を本機で記録することができます。

また、HDVフォーマット対応のノンリニア編集システムに接続して、記録した画像を編集することもできます。

ご注意

- メニューのOPERATION >Input/Output >Output & i.LINKを480P (576P) にすると、HD/SD SDI OUT端子からは信号が出力されません。
- i.LINK接続は1対1で使用してください。
- i.LINK接続中に、メニューのOPERATION >FormatのHD/SD、HD System Line、System Frequency、Rec FormatやOPERATION >Input/Outputのi.LINK I/O、Down Converterなど、i.LINK (HDV/DV) 端子から出力される信号に影響がある設定を変更するときは、i.LINKケーブルを抜いてから変更してください。
- i.LINK接続中に設定を変更した場合、接続されたi.LINK機器が正常に動作ができなくなることがあります。
- i.LINK接続で外部入力信号を記録する場合は、HDVストリームのみ記録可能です。DVストリームを記録することはできません。

本機の画像を外部機器で記録する

本機で撮影している画像がi.LINK (HDV/DV) 端子を介してHDV またはDVストリームとして出力されます。本機の記録開始/停止操作に連動して、接続したHDVレコーダーやDVCAMレコーダーで記録することもできます。

1 本機で事前に必要な設定を行う。

- メニューのOPERATION >Input/Output >Output & i.LINK (116ページ参照) を

HD & HDVまたはSD & HDVに設定する。

HD & HDVまたはSD & HDV : HDモードでビデオフォーマットをHDV互換フォーマット (SP 1440/59.94i、SP 1440/50i、SP 1440/23.94P) に設定し、HDVストリームを出力するとき

SD & DV : DVストリームを出力するとき

- メニューのOPERATION >Input/Output >i.LINK I/OをEnableに設定する。
- メニューのMAINTENANCE >Trigger Mode >i.LINK Trigger Mode (139ページ参照) をBothまたはExternalに設定する。

Both: 本機のメモリーカードと外部機器の両方に記録するとき

External: 外部機器でのみ記録するとき

2 外部機器を録画スタンバイ状態にする。

- ◆外部機器の操作について詳しくは、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

3 本機で記録を開始する。

同期して外部機器が記録モードになります。

ビューファインダー画面のi.LINK接続機器の動作状態表示部 (37ページ参照) に外部機器の状態が表示されます。

表示	外部機器の状態
STBY  HDV	HDV録画待機中
●REC  HDV	HDV録画中
STBY  DV	DV録画待機中
●REC  DV	DV録画中

ご注意

- 外部機器の種類によっては、動作が異なる場合があります。
- i.LINK HDVの出力中に本機に挿入されている記録メディアに対して記録を行うと、記録を開始

する直前でi.LINK HDV出力が約1秒間停止し、再開されます。

- メモリーカードには撮影中にショットマークを記録することができますが、外部機器で記録される画像には付加されません。

ノンリニア編集する

i.LINK (HDV/DV) 端子に接続したノンリニア編集システムにストリーム転送することができます。

ご注意

- 本機のi.LINK (HDV/DV) 端子は6ピンです。接続するコンピューターのi.LINK端子のピン数をご確認のうえ、適切なi.LINKケーブルをお使いください。
- コンピューター上で本機の画像を検索するとき、画像の表示がコンピューター画面に反映されるまでに時間がかかる場合があります。
- クリップが短い場合や再生開始点からクリップ終端までが短い場合、クリップの境界でi.LINK信号が途切れることがあります。また、このような信号をノンリニア編集機でキャプチャーしようとした場合、アプリケーションによっては誤動作することがあります。
- ノンリニア編集機で×4倍、×15倍、×24倍以外のサーチ速度を指定すると、i.LINK信号は出力されません。またこの場合ビューファインダー画面は静止画のままになることがあります。
- ノンリニア編集ソフトウェアによっては、高速再生画がコンピューター上に出ない場合があります。

本機の設定

メニューのOPERATION >Input/Output >i.LINK I/OをEnableにしてください。

- ◆ ノンリニア編集ソフトウェアの操作について詳しくは、ソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。

外部入力信号を記録する

i.LINK (HDV/DV) 端子に接続した機器からのHDVストリーム入力を、本機に装着したSxSメモリーカードに記録することができます。

タイムコードは、本機の設定にかかわらず、i.LINK入力に重畳されているタイムコードが記録されます。

ご注意

DVストリームは記録できません。

1 外部信号を本機で記録できるフォーマットに設定する。

ビデオフォーマットをHDV互換フォーマット (SP 1440/59.94i、SP 1440/50i、SP 1440/23.94P) に設定します。

2 メニューのOPERATION >Input/Output (116ページ) で以下を設定を行う。

- **Output&i.LINKをHD& HDVまたはSD& HDVに設定**
 - **i.LINK I/OをEnableに設定**
 - **Source Selectをi.LINKに設定**
- 入力映像が、ビューファインダー画面や、VIDEO OUT端子に接続したモニターに表示されます。
- 音声信号は、内蔵スピーカー、EARPHONE端子に接続したヘッドホン、VIDEO OUT端子に接続したモニターのスピーカーから出力されます。

3 記録を開始する。

ご注意

- 次のような場合、エラー表示になります。エラー表示になった場合は、記録モードを解除してください。
 - 本機で設定されているビデオフォーマットと異なる信号が入力されている。
 - コピー禁止ストリームが入力されている。
- 記録中に本機への入力が無信号となった場合はTALLYランプ、ビューファインダー前面のタリールランプおよびビューファインダー画面のREC表示 (●REC) が点滅し、SxSメモリーカードに何も記録されていないことを表示します。再び信号が入力されると記録が再開し、本機でのクリップ番号が繰り上がります。

撮影／収録システムを構成する

本機に別売のCBK-CE01を装着すると、HDカメラアダプターXDCA-55を取り付けて、HDカメラエクステンションユニットXDCU-50と接続することができます。複数のカムコーダーやカメラエクステンションユニット、リモートコントロールユニットを接続して、撮影／収録システムを構成することができます。

◆ XDCA-55およびXDCU-50については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

本機をこのシステムで使う場合、本機にビデオライトを接続しないでください。

9章 保守・点検

撮影前の点検

撮影に出発する前に点検を行い、システムが正常に動作することを確認してください。実際に記録／再生を行って映像や音声のチェックをすることをおすすめします。

保守

ビューファインダーをクリーニングする

レンズやLCDスクリーン、ミラーの表面からほこりを除去するには、ブローアールをお使いください。

ご注意

シンナーなどの溶剤はいっさい使わないでください。

バッテリー端子に関するご注意

機器に搭載されているバッテリー端子（バッテリーパックやACアダプターとの接点部分）は消耗品です。

振動や衝撃によって端子が変形したり、曲がったり、あるいは長期の屋外での使用などによって表面が腐食したりすると、本体に電源が供給されなくなります。長期間機器を使用していただくために、定期点検を実施することをお願いします。点検につきましては、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

警告表示

Media Near Full	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
		●)))))))))		—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	SxSメモリーカードの残量が少なくなっています。	記録は継続	早い機会に交換してください。	
Media Full	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
		●)))))))))		—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	SxSメモリーカードの残量がないため、記録、コピー、クリップ分割はできません。	記録は停止	交換してください。	
Battery Near End	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
		●)))))))))		
	警告内容	記録部の動作	処置	
	バッテリーバックの残量が少なくなっています。	記録は継続	早い機会に充電してください。	
Battery End	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
		●)))))))))		
	警告内容	記録部の動作	処置	
	バッテリーバックが消耗しました。記録はできません。	記録は停止	DC INに電源をつなぐか、いったん操作を中止し、バッテリーバックを充電してください。	
Temperature High	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
		●)))))))))		—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	内部温度が上昇しました。	記録は継続	いったん電源を切り、温度が下がるまで使用を中止してください。	
Voltage Low	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
		●)))))))))		
	警告内容	記録部の動作	処置	
	DC IN電圧が低くなっています（段階1）。	記録は継続	供給電源を確認してください。	

Insufficient Voltage	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
				
	警告内容	記録部の動作	処置	
	DC IN電圧が低すぎます（段階2）。記録はできません。	記録は停止	他の電源に接続しなおしてください。	
Battery Error Please Change Battery.	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	バッテリーパックに異常が検出されました。	記録は停止	正常なバッテリーパックに交換してください。	
Backup Battery End Please Change.	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	バックアップ電池の残量が不足しています。	記録は継続	お買い上げ店またはサービス窓口に変更を依頼してください。	
Unknown Media(A) ¹⁾ Please Change.	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	パーテーションが切られているメモリーカードや、本機で扱えるクリップ数を超えて記録されたメモリーカードが挿入されました。	記録は継続	本機では使用できませんので、交換してください。	
Reached Clip Number Limit Cannot Record to Media(A) ¹⁾	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	1枚のメモリーカードに記録可能な最大クリップ数になりました。これ以上記録できません。	記録は停止	別のメモリーカードに交換してください。	

Media Error Media(A) ¹⁾ Needs to be Restored	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	メモリーカードに異常が発生し、修復が必要な状態になりました。	記録は停止	メモリーカードを一度抜いてから再挿入して、カードの修復を行ってください。	
Media Error Cannot Record to Media(A) ¹⁾	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	メモリーカードが故障して、記録ができなくなりました。	記録は停止	再生は可能ですので、コピーをとるなどして、新しいメモリーカードに交換することをお勧めします。	
Media Error Cannot Use Media(A) ¹⁾	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	メモリーカードが故障して記録も再生もできなくなりました。	記録は停止	本機では扱えませんので、他のカードに交換してください。	
Cannot Use Media(A) ¹⁾ Unsupported File System	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	ファイルシステムの設定が外部入力信号フォーマットと異なるカードが挿入されました。	記録は停止	本機では使用できませんので、交換してください。	
Video Format Mismatch	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	ビデオフォーマットの設定が外部入力信号フォーマットと異なるため、i.LINK接続による外部入力信号を記録できません。	記録は停止	OPERATIONメニューのFormatの設定を外部入力信号に合わせて設定し直してください。	

Copy Protected Input Cannot Record	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	ストリームにコピープロテクトがかかっているため、i.LINK接続による外部入力信号を記録できません。	記録は停止	入力信号を確認してください。	
DVCAM Input Signal! Cannot Record	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	i.LINK接続による外部入力信号がDVストリームのため、記録できません。	記録は停止	—	
Media Error Playback Halted	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	メモリーカードからの読み出しにエラーが発生したため、再生を続けられません。	記録は停止	頻繁に起きる場合には、コピーをとるなどをして、メモリーカードを交換してください。	
Media(A) ¹ Error	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	メモリーカードに異常が発生したため、記録できません。	記録は停止	頻繁に起きる場合には、メモリーカードを交換してください。	
HDD A ² Battery Near End	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
		●●●●●●●●●●		—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	HDDのバッテリーの残量が少なくなっています。	記録は継続	早い機会に交換してください。	
HDD A ² Battery End	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
		●●●●●●●●●●●●●●		—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	HDDのバッテリーが消耗しました。記録はできません。	記録は停止	いったん操作を中止し、バッテリーを交換してください。	

Not Enough Capacity Change Media (A) ¹⁾	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	メモリーカードの残量が足りないため、コピーできません。	記録は継続（コピーは不可）	スロットAのカードを交換してください。	
Reached Duplication Limit Change Media (A) ¹⁾	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	同名のクリップが10以上存在します。	記録は継続（コピーは不可）	スロットAのカードを交換してください。	
Not Enough Capacity Cannot Divide	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	メモリーカードの残量が足りないため、クリップを分割できません。	記録は継続（分割は不可）	—	
Will Switch Slots Soon	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	まもなくスロットを切り換えます。	記録は継続	スロットにメモリーカードが入っているか確認してください。	
No Clip	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	表示できるクリップがありません。	記録は継続	—	
No OK Clip	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
	OKマークのついたクリップがありません。	記録は継続	—	

Same File Already Exists Change Media(A) ¹⁾	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
同名のクリップが存在します。	記録は継続（コピーは不可）	スロットAのカードを交換してください。		
Media Reached Rewriting Limit Change Media (A) ¹⁾	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
メモリーカードの寿命がきました。	記録は停止	バックアップをとり、速やかに交換してください。 継続して使用すると、正常に記録・再生できない可能性があります。 詳しくは、メモリーカードの取扱説明書をご覧ください。		
Unsupported Clip Included Cannot Use Media (A) ¹⁾	WARNINGランプ	警告音	タリー／REC	バッテリー残量
	—	—	—	—
	警告内容	記録部の動作	処置	
挿入したメモリーカードには本機で扱えないフォーマットで記録されたクリップが含まれています。	—	スロットAのカードは本機では使用できません。		

- 1)スロットBに入れたカードの場合は(B)
2)スロットBに接続したHDDの場合はB

使用上のご注意

安全にご使用いただくために、「安全のために」(2ページ)、「**A** 警告」(9ページ)、「**A** 注意」(10ページ)、「電池についての安全上のご注意」(12ページ)と併せてご覧ください。

取り扱い・保管上のご注意

強い衝撃を与えない

- 内部構造や外観の変形などの損傷を受けることがあります。
- アクセサリーシューに装着した部品に強い衝撃が与えられた場合、アクセサリーシューが損傷する場合があります。この場合は使用を中止し、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

動作中は布などで包まないでください

内部の温度が上がり、好ましくありません。

使い終わったら

POWERスイッチをOFFにしてください。

長時間使わないときは

バッテリーをはずしておいてください。

輸送

- 記録メディアは必ず取り出しておいてください。
- トラック、船、航空機など、本機を貨物として扱う輸送では、お買い上げ時の梱包材をご使用ください。

お手入れ

レンズや光学フィルターの表面に付着したゴミやほこりは、ブロアーで吹き払います。

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。ひどい汚れは、中性洗剤液を少し含ませた布で拭いた後、から拭きします。アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品類は、表面が変質したり、塗料がはげることがありますので、使わないでください。

万一、異常が生じたときは

お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

使用場所・保管場所

水平な場所、空調のある場所に保管してください。

次のような場所での使用・保管は避けてください。

- 極端に寒い所、暑い所（使用温度は0℃～40℃）
真夏、窓を閉め切った自動車内は50℃を越えることがあります。
- 湿気・ほこりの多い所
- 雨があたる所
- 激しく振動する所
- 強い磁気を発生するものの近く
- 強力な電波を発生するテレビやラジオの送信所の近く
- 直射日光が長時間当たる場所や暖房器具の近く

携帯電話などによる電波障害を防止するために

携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。

本機の近くでは、携帯電話などの電源はできるだけ切ってください。

レーザービームに関するご注意

レーザービームは、CMOSイメージセンサーに影響をあたえることがあります。

レーザービームを使用した撮影環境では、CMOSイメージセンサー表面に、レーザービームが照射されないように充分注意してください。

ズームレンズの取り付け

ズームレンズの取り付けかたを誤ると損傷することがあります。必ず「レンズの取り付けと調整」(48ページ)をご覧ください。

ビューファインダーについて

ビューファインダーの接眼レンズを太陽に向けて放置しないでください。太陽光が接眼レンズを通して内部に焦点を結び、ビューファインダー内部を溶かすことがあります。

LCD (液晶) 画面について

本機のLCD (液晶) 画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。画面上に黒い点が現れたり(画素欠け)、常時点灯している輝点(赤、青、緑など)や減点がある場合があります。また、LCD画面の特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。なお、これらの点が記録されることはありません。

CMOSイメージセンサー特有の現象

撮影画面に出る下記の現象は、CMOSイメージセンサー特有の現象で、故障ではありません。

白点

CMOSイメージセンサーは非常に精密な技術で作られています。宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生

する場合があります。これは撮像素子の原理に起因するもので故障ではありません。また、以下の場合、白点が見えやすくなります。

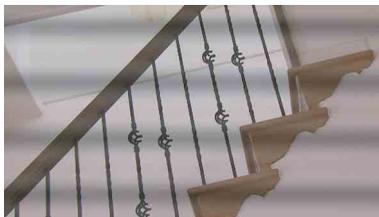
- 高温の環境で使用するとき
 - マスターゲイン(感度)を上げたとき
 - スローシャッターモードのとき
- なお、ブラックバランスの自動調整を行うことにより、補正機能が働き、現象が改善することがあります。

折り返しひずみ

細かい模様、線などを撮影すると、ぎざぎざやちらつきが見えることがあります。

フリッカー

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると、画面が明滅したり、色が変化したり、横縞が流れるように見えることがあります。



このようなときは、フリッカー補正機能をAutoにしてください(139ページ参照)。撮影しているフレームレートが電源周波数に近い場合は、フリッカー補正機能が働いてもフリッカーを完全に補正できない場合があります。この場合は、電子シャッターを使用してください。

フォーカルプレーン

撮像素子(CMOSイメージセンサー)の映像信号を読み出す方法の性質により、撮像条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

フラッシュバンド

フラッシュ光や、すばやく点滅する光源を撮影したときに、画面の上下で輝度が変わることがあります。

フラッシュバンドが発生したフレームを含むクリップは、専用アプリケーションソフトウェアを使用して補正することができます。

他のXDCAM EXシリーズモデルとの互換性について

本機で記録したメディアをPMW-EX1、PMW-EX3、またはPMW-EX30で再生する場合、PMW-EX1/EX3/EX30が対応していないビデオフォーマットのクリップを記録したメディアは使用できません。

また、PMW-EX1/EX3/EX30が対応しているビデオフォーマットであっても、PMW-EX1/EX3/EX30では本機で記録したクリップを分割することはできません。

ファイルの断片化について

画像が正しく記録・再生されないときは記録メディアをフォーマット（初期化）してください。

長期間、映像の記録・クリップの消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化（フラグメンテーション）して、映像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、クリップのバックアップを取ったあと、メニューのOPERATION >Format Media（116ページ参照）で記録メディアのフォーマット（初期化）を行ってください。

内蔵時計用電池の交換

本機内に内蔵時計用のリチウム電池が装着されています。ビューファインダー画面に“BackUp Battery End”の表示が出たら電池の交換が必要ですので、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

一般

電源電圧

DC 12 V (11 V～17.0 V)

消費電力

約17 W

本体+LCDビューファインダー+オートフォーカスレンズ+マイク
記録時、電源：バッテリーパック

ご注意

- 消費電力が50Wより大きいビデオライトを接続しないでください。
- DC OUT端子には消費電流が0.5A以下の機器を接続してください。

動作温度

0°C～40°C

保存温度

-20°C～+60°C

記録／再生フォーマット

ビデオ

HD HQモード：MPEG-2 MP@HL、
35Mbps/VBR
1920×1080/59.94i、50i、29.97P、
25P、23.98P
1440×1080/59.94i、50i、29.97P、
25P、23.98P
1280×720/59.94P、50P、29.97P、
25P、23.98P
HD SPモード：MPEG-2 MP@H-14、
25Mbps/CBR
1440×1080 /59.94i、50i
(23.98Pは59.94iの2-3ブルダウン記録
に対応)
SDモード：DVCAM
720×480/59.94i
720×576/50i
720×480/29.97P
720×576/25P
オーディオ
LPCM (16ビット、48 kHz、HD：4チャン
ネル、SD：2チャンネル)

記録再生時間

SBP-32/SBS-32G1A使用時
SPモード/DVCAMモード：約130分
HQモード：約100分
SBP-64A/SBS-64G1A使用時
SPモード：約280分
DVCAMモード：約260分
HQモード：約200分

ご注意

記録再生時間は、使用条件やメモリーの特
性などにより、多少の誤差が生じる場合が
あります。

連続操作時間

約285分 (BP-L80S使用時)

質量

本体のみ：約3.2 kg

外形寸法

179ページ参照

付属品

178ページ参照

カメラ部

撮像素子

1/2型、CMOSイメージセンサー
有効画素数 1920(H)×1080(V)

方式

RGB 3板方式

分光系

F1.6プリズム方式

NDフィルター

1：クリア
2：1/4ND
3：1/16ND
4：1/64ND

感度

F10 (システム周波数：59.94i)
F11 (システム周波数：50i)
(2000lx、反射率89.9%)

最低被写体照度

0.05 lx (F1.6、+24 dB、64フレーム蓄積)

映像S/N

54 dB

水平解像度

1000TV本以上

ゲイン

-3、0、3、6、9、12、18、24 dB、AGC

シャッタースピード

59.94i/P、50i/P : $1/60 \sim 1/2000$ 秒
29.97P : $1/40 \sim 1/2000$ 秒
25P : $1/33 \sim 1/2000$ 秒
23.94P : $1/32 \sim 1/2000$ 秒

スローシャッター

2～8、16、32、64フレーム

オーディオ部

サンプリング周波数

48kHz

量子化特性

16ビット

ヘッドルーム

20 dB (工場出荷時) (20、18、16、12 dB)

周波数特性

MIC : 50Hz～20kHz (±3dB以内)
LINE : 20Hz～20kHz (±3dB以内)
WRR Analog : 50Hz～20kHz (±3dB以内)
WRR Digital : 20Hz～20kHz (±3dB以内)

ダイナミックレンジ

90 dB (Typical)

ひずみ率

0.08%以下 (入力レベル-40dBu時)

内蔵スピーカー

モノラル
出力 : 300 mW

表示部

ビューファインダー (付属)

画面サイズ

対角8.8 cm (3.5型)

アスペクト比

16:9

画素数

640 (H) × 3 × 480 (V)デルタ配列

メディア部

カードスロット

形状: Express Card34
スロット数: 2
端子: PCMCIA Express Card準拠

書き込みレート

50 Mbps以上

読み出しレート

50 Mbps以上

入出力部

入/出力端子

入力

AUDIO IN CH1/CH2 : XLR型、3ピン、凹
-60dBu/+4dBu
(0dBu=0.775Vrms)
MIC IN : XLR型、5ピン、凹
-60dBu
GENLOCK IN : BNC型
1.0Vp-p、75Ω、不平衡
TC IN : BNC型
0.5V～18Vp-p、10kΩ

出力

VIDEO OUT : BNC型
HDMI : TypeA、19ピン
HD/SD SDI OUT : BNC型
AUDIO OUT : XLR型、5ピン、凸
0dBu
TC OUT : BNC型
1.0Vp-p、75Ω
EARPHONE (ステレオミニジャック)
8Ω、-∞～-18 dBs可変

その他

DC IN : XLR型、4ピン、凸
DC11～17V
DC OUT : 4ピン
DC11～17V、最大定格電流
0.5A
LENS : 12ピン
レンズへの電源供給
DC11～17V、最大定格電流 1.0A
REMOTE : 8ピン
LIGHT : 2ピン
USB : 4ピン
i.LINK (HDV/DV) : 6ピン、IEEE1394準拠
VF : 角型26ピン、丸型20ピン
ワイヤレスレシーバー用 : D-sub 15ピン

レンズ部 (PMW-320Kに付属)

焦点距離

5.8 mm ~ 93 mm
(35 mm換算 : 31.4 mm ~ 503 mm)

ズーム

電動 / 手動切り換え可能

ズーム比

16倍

最大口径比

1:1.9

絞り

自動 / 手動切り換え可能
F1.9~F16 およびC (クローズ)

フォーカス

自動 / 手動切り換え可能
範囲 800 mm ~ ∞ (マクロOFF)
50 mm ~ ∞ (マクロON、広角端)

フィルター取り付けネジ

M82 mm、ピッチ0.75 mm

マクロ

ON/OFF可能

付属品

ビューファインダー (1)
ショルダーベルト (1)
ステレオマイク (1)
ウインドスクリーン (1)
コールドシューキット (1式)
レンズマウントキャップ
フランジバック調整用チャート
オートフォーカスレンズ (PMW-320Kに付属)
(1)

取扱説明書

日本語版 (1)
英語版 (1)

CD-ROM

- Utility Software for XDCAM (専用アプリケーションソフトウェア、各種ドライバーを収録) (1)
- Manuals for Solid-State Memory Camcorder (PDF版取扱説明書、Supplementを収録) (1)

保証書 (1)

関連機器

オプションキー

ハードウェアアップグレードキー
CBK-UPG02

電源関連

ACアダプター
AC-DN10/DN2B

バッテリーパック
BP-L80S

バッテリーチャージャー
BC-L160/L500/L70

レンズ、ビューファインダーおよび関連機器

レンズ

¹/₂型バヨネットマウントレンズにのみ対応

ビューファインダー

DXF-20W/51/C50W

ビューファインダー回転収納機構

BKW-401

ご注意

BKW-401を使用できるビューファインダーは、付属のビューファインダーまたはDXF-20Wです。

リモートコントロール用機器

リモートコントロールユニット

RM-B170/B750
RCP-1000/1500/1530
RCP-751/921
RCP-1001/1501

ご注意

コマンドネットワークユニット (CNU) には対応していません。

50ピンインターフェースアンドデジタルエクステンダー

CBK-CE01

HDカメラエクステンション

XDCU-50

HDカメラアダプター

XDCA-55 (別売のCBK-CE01装着時)

MPEG TSアダプター

HDCA-702 (別売のCBK-CE01装着時)

Wi-Fiアダプター

CBK-WA01 (別売のCBK-UPG02装着時)

メディアアダプターMEAD-MS01 (“メモリースティックPRO-HG
デュオHX”用)

MEAD-SD01 (SDHCカード用)

XQD ExpressCardアダプター

QDA-EX1 (XQDメモリーカード用)

記録メディア**SxSメモリーカード**

SxS PRO SBP-32 (32 GB)

SxS PRO SBP-64A (64 GB)

SxS-1 SBS-32G1A (32 GB)

SxS-1 SBS-64G1A (64 GB)

ハードディスクユニット

PHU-220R

オーディオ機器**マイクロホン**

ECM-678/674/673/680S

マイクホルダー

CAC-12

ワイヤレスマイク

DWR-S01D

WRR-855S/860C/861/862

その他の周辺機器**三脚アタッチメント**

VCT-14/U14

ビデオライト

UC-D200A (日本ビデオシステム社製)

ウルトラライト (アントンパワー社製)

パッド

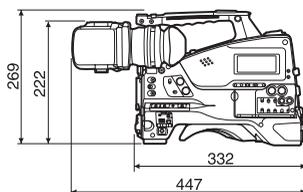
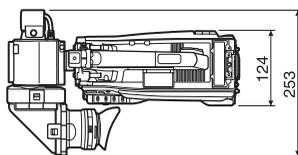
ソフトタイプショルダーパッドCBK-SP01

保守用製品、操作／取り扱いを容易にするための製品**ハードキャリングケース**

LC-H300

ソフトキャリングケース

LC-DS300SFT

外形寸法

(単位: mm)

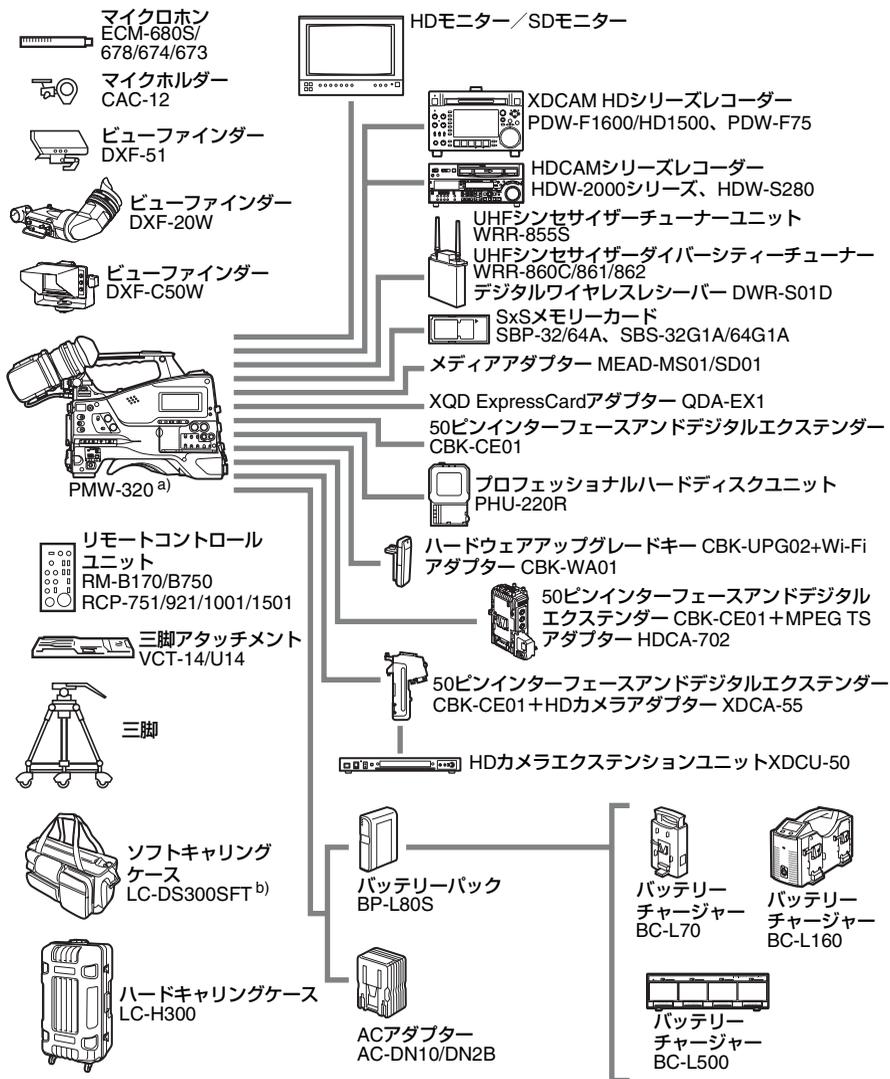
仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

周辺機器・アクセサリ一覧図



a) PMW-320Lでは別売のレンズが必要です。

b) レンズおよびマイクロホンを装着したままでも収納できます。ただし、それぞれの装着時の長さがカムコーダー本体の前面端から25cmを超える場合は取りはずしてください。

i.LINKについて

ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。

複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。

ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

i.LINK（アイリンク）はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。

IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

ご注意

i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できる機器は通常1台だけです。複数接続できるHDVまたはDV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。

S100（最大転送速度 約100Mbps¹⁾）

S200（最大転送速度 約200Mbps）

S400（最大転送速度 約400Mbps）

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。

1)最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

Mbpsとは？

「Mega bits per second」の略で「メガビットパーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

他のi.LINK（HDVまたはDV）対応機器と接続して使用方法については、162ページをご覧ください。

接続の際にご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトウェアの有無などについては、接続する機器の取扱説明書を併せてご覧ください。

必要なi.LINKケーブル

ソニー製の6ピン↔4ピンまたは6ピン↔6ピンのi.LINKケーブルをお使いください。

i.LINKとは商標です。

MPEG-2 Video Patent Portfolio Licenseについて

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。なお、当該ライセンスは、MPEG LA, L.L.C., (住所250STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206) より取得可能です。

PACKAGED MEDIAとは、一般消費者向けに販売、頒布されるMPEG-2コンテンツの入ったメディア（映画 DVDなど）を指します。PACKAGED MEDIAを製造、販売、頒布する業者は、MPEG LAからライセンスを取得する必要があります。

詳しくは、MPEG LAにお問い合わせください。

MPEG LA, L.L.C., 250 STEELE STREET,
SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206
ホームページ： <http://www.mpegla.com>

ビットマップフォントについて

本製品は、株式会社リコーがデザイン制作したリコービットマップフォントを使用しています。

OpenSSLについて

本製品には、OpenSSL Toolkit で使用するために OpenSSL Project によって開発されたソフトウェアが含まれています(<http://www.openssl.org/>)。

OpenSSL License

/*

=====
=====

- * Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved.
- *
- * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
- * modification, are permitted provided that the following conditions
- * are met:
- *
- * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- *
- * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer in
- * the documentation and/or other materials provided with the
- * distribution.
- *
- * 3. All advertising materials mentioning features or use of this
- * software must display the following acknowledgment:
- * "This product includes software developed by the OpenSSL Project
- * for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
- *
- * 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to
- * endorse or promote products derived from this software without
- * prior written permission. For written permission, please contact
- * openssl-core@openssl.org.
- *
- * 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"
- * nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written
- * permission of the OpenSSL Project.
- *
- * 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following
- * acknowledgment:
- * "This product includes software developed by the OpenSSL Project
- * for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

```

*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS" AND ANY
* EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
*

```

```

=====
=====

```

```

*
* This product includes cryptographic software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
*/

```

Original SSLeay License

```

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
* All rights reserved.
*
* This package is an SSL implementation written
* by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
* The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
*
* This library is free for commercial and non-commercial use as long as
* the following conditions are aheared to. The following conditions
* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
* lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation
* included with this distribution is covered by the same copyright terms
* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
* the code are not to be removed.
* If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
* as the author of the parts of the library used.
* This can be in the form of a textual message at program startup or
* in documentation (online or textual) provided with the package.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without

```

- * modification, are permitted provided that the following conditions
- * are met:
- * 1. Redistributions of source code must retain the copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
- * documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
- * must display the following acknowledgement:
- * "This product includes cryptographic software written by
- * Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
- * The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library
- * being used are not cryptographic related :-).
- * 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
- * the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
- * "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
- *
- * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND
- * ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
- * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
- * ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
- * FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
- * DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
- * OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
- * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
- * LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
- * OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
- * SUCH DAMAGE.
- *
- * The licence and distribution terms for any publicly available version or
- * derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be
- * copied and put under another distribution licence
- * [including the GNU Public Licence.]
- */

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

索引

五十音順

アルファベット順

ア行

アイカッパ	33
アイリス (絞り)	
自動設定	63
ポジション表示	38
明るさ調整	33
アクセサリ	180
アクセサリシュー	18
アサインブルスイッチ	146
アダプター接続端子	18
アプリケーションソフトウェア	161
色温度	
切り換え	59
表示	36
インターバルレック機能	82
映像レベル注意表示	37
液晶表示部	24
エクステンダー表示	35
エクスパンドサムネイル画面	
表示	106
分割数を増やす	107
オーディオ調整部	25
保護カバー	24
オーディオレベルメーター	38
オートフォーカスレンズ	31
音声入力	50
音声レベル	
記録レベルの調整	66
再生音の調整	21
メーター	30, 38

カ行

外部機器	
記録	162
制御表示	37
接続	157
外部機器接続端子	27
外部電源入力表示	36
外部入力	
記録	163
設定表示	37
カメラアダプター	18
間欠記録	82
輝度レベル表示	37
記録	162
外部機器	162
外部入力信号	163
記録モード	
特殊モード設定表示	36
特殊モード表示	36
表示	35
グリーンタリー表示	35
クリップ	
頭出し	96
一括コピー	105
一括削除	106
エクスパンドサムネイル画面でサーチ	97
コピー	104
コンピューターで管理・編集	159
再生	79, 96
削除	80, 106
サムネイルの選択	96
詳細情報	103
ショットマークサムネイル画面でサーチ	97
操作	93
代表画の変更	109
名前の設定	90
分割	109
警告システム	166
ゲイン値表示	37
コネクター	33

コマ撮り	84
コントラスト調整	33
コンピューター	160

サ行

撮影	73
サムネイル	
インジケーター	25
操作	99
サムネイル画面	93
オールクリップサムネイル画面	102
種類の変更	101
操作部	25
操作部の保護カバー	24
OK クリップサムネイル画面	101
三脚	
取り付け	53
マウント	19
シーンファイル	
保存	153
呼び出し	154
時刻の設定	47
システムライン数表示	36
視度調整リング	33
絞り (アイリス)	
ポジション表示	38
リング	31
IRIS スイッチ	32
シャッター	61
シャッタースピード	62
表示	38
周辺機器	180
仕様	176
使用地域の設定	46
初期設定	113, 153
ショットマーク	
記録	80
再生中に追加	97
削除	109
追加	108
名前の設定	91
ショットマークサムネイル画面	108

ショルダーパッド	19
位置調整	55
ショルダーベルト	
取り付け	54
取り付け金具	18
スイッチカバー	23
ズーム	64
コントロール端子	32
電動ズームレバー	32
ポジション表示	35
リング	31
ステータス画面	71
アサイナブルスイッチ	72
バッテリー／メディア	72
オーディオ	72
カメラ	71
ビデオ	72
スピーカー (内蔵)	23
スライドストッパー	33
スロー&クイックモーション撮影	86
接続	157, 160
コンピューター	160
モニター	157
i.LINK (HDV/DV)	162
設定データ	
保存	151
呼び出し	152
設定／状態の確認	71
セットアップメニュー	110
基本操作	112
ゼブラパターン	33

タ行

代表画	94, 95
変更	109
タイムカウンター表示	30
タイムコード	
外部ロック	70
設定	69
表示	37
タイムデータ	69
タリーランプ	33

電圧表示	35
電気色温度フィルター表示	37
電氣的 CC フィルター	
切り換え	59
点検	165
電源	39
電子シャッター	61
電池交換	175
動作状態表示	35
i.LINK 接続機器	37
時計	47
電池交換	175

ナ行

入カソース表示	37
ノンリニア編集	161, 163

ハ行

バッテリー (パック)	39
残量表示	30, 35
電圧表示	35
取り付け部	18
ピーキング調整	33
ピクチャーキャッシュ機能	81
被写界深度表示	36
ヒストグラム表示	38
日付の設定	47
ビデオフォーマット	56, 104
表示	36
ビデオライト	54
ビューファインダー	33
位置の調整	41
回転収納機構	44
角度調整	42
画面の調整	43
画面表示	34
クリーニング	165
ケーブル	34
左右位置固定リング	18
視度の調整	43
前後位置固定レバー	18

前後位置 LOCK つまみ	19
取り付けシュー	18
VF 筒部 / アイピース部を跳ね上げる	
5 型	45
標準設定	113
フィルター表示	37
フォーカス	65
ポジション表示	35
モード表示	37
リング	31
フォーマット (初期化)	75
ブラックバランス調整	57
フランジバック調整	48
ボタン	32
プランニングメタデータ	88
フリーズミックス機能	87
フレーミング	87
フレームロック機能	84
保守	165
ホワイトバランス	
調整	58
メモリー表示	37

マ行

マイクホルダー	34
取り付け部	19
マイクロホン	50
メディア	
残量表示	30, 38
状態表示	35
プロテクト (ロック)	30, 74
メニュー	
一覧	115
基本操作	112
FILE メニュー	143
MAINTENANCE メニュー	131
OPERATION メニュー	115
PAINT メニュー	126
THUMBNAIL メニュー	99
モニター	157

ヤ行

矢印ボタン (←、⇒、↑、↓).....	25
ユーザービット設定	69

ラ行

リセット	113, 153
レックレビュー	78
レンズ	31
ケーブルクランプ	19
固定レバー	19
取り付け	48
マウント	19
マウントキャップ	19
マウントゆるみ止めゴム	19
レンズファイル	
自動呼び出し	156
設定	155
保存	155
呼び出し	155

ワ行

ワイヤレスレシーバー受信レベル表示	35
-------------------------	----

A

AC 電源	40
ACCESS ランプ	24, 27, 75
ALARM つまみ	21
ASSIGNABLE 4/5 スイッチ	27
ASSIGN. 0 スイッチ	21
ASSIGN. 1/2/3 スイッチ	21
ATW (Auto Tracing White balance)	22
AUDIO IN CH-1/CH-2 端子	29
AUDIO IN CH1/CH2/CH3/CH4 スイッチ	26
AUDIO IN 切り換えスイッチ	29
AUDIO OUT 端子	29
AUDIO SELECT CH 3-4 スイッチ	26
AUDIO SELECT CH-1/CH-2 スイッチ	26
AUTO W/B BAL スイッチ	20
AV 単独ファイル	94

B

BACKLIGHT ボタン	25
BKW-401	44
BRIGHT つまみ	33

C

COLOR TEMP. ボタン	21
CONTRAST つまみ	33

D

DC IN 端子	18
DC OUT 12V 端子	18
DCC (Dynamic Contrast Control) 機能	22
DISPLAY スイッチ	25, 33

E

EARPHONE 端子	29
E-E (Electric to Electric)	23
ESSENCE MARK ボタン	26
EXPAND ボタン	24

F

F FWD ボタン/ランプ	24
F REV ボタン/ランプ	24
FILTER つまみ	20
FOCUS スイッチ	31
F-RUN/SET/R-RUN スイッチ	26

G

GAIN スイッチ	22
GENLOCK IN 端子	28

H

HDMI 出力端子	28, 158
HD/SD SDI OUT 端子	29, 158
HOLD ボタン	24

I

IRIS スイッチ 32

i.LINK 181

 ケーブル 181

 接続 162

i.LINK (HDV/DV) 端子 30, 158

L

LCD パネル 24

LENS 端子 19

LEVEL CH1/CH2/CH3/CH4 つまみ 26

LIGHT スイッチ 17

LIGHT 端子 19

M

MACRO スイッチ 31

MENU CANCEL/PRST/ESCAPE スイッチ
..... 22

MENU ON/OFF スイッチ 22

MENU つまみ 20

MENU ボタン 25

MIC IN (+ 48V) 端子 19

MIC LEVEL つまみ 20

MIRROR スイッチ 34

MONITOR スイッチ 21

MONITOR つまみ 21

MPEG TS アダプター 18

N

ND フィルター 20

NEXT ボタン 24, 97

O

OK マーク 94, 104

 削除 104

 設定 81

 付加 104

OUTPUT/DCC スイッチ 22

P

PC 接続端子 27

PEAKING つまみ 33

PLAY/PAUSE ボタン/ランプ 24, 96

POWER スイッチ 17

PRESET/REGEN/CLOCK スイッチ 26

PREV ボタン 24, 96

PUSH AF ボタン 31

PUSH AUTO ボタン 32

R

REC START ボタン 20

REMOTE 端子 30

RESET/RETURN ボタン 25

RET ボタン 32

S

SET ボタン 25

SHIFT ボタン 26

SHUTTER スイッチ 20

Slow & Quick 86

STATUS ON/SEL/OFF スイッチ 22

STOP ボタン 24

SxS デバイスドライバーソフトウェア
..... 159

SxS メモリーカード 73

 入れかた 74

 切り換え 75

 交換時期 76

 誤消去防止 74

 残量確認 76

 修復 77

 取り出しかた 75

 フォーマット (初期化) 75

SxS メモリーカードスロット 27

 スロットカバー 28

EJECT ボタン 28

SLOT SELECT ボタン 28

T

TALLY スイッチ	29, 33
TALLY ランプ	29
TC IN 端子	28
TC OUT 端子	28
THUMBNAIL ボタン	25
THUMBNAIL メニュー	99
基本操作	101
TLCS 制御モード表示	36

U

UHF ポータブルチューナーの取り付け ...	51
USB 接続	160

V

VF 端子	19
VIDEO OUT 端子	28
VTR ボタン	33

W

WARNING ランプ	24
WHITE BAL スイッチ	22
Wi-Fi アダプター	27

X

XDCAM EX web site	15
-------------------------	----

Z

ZEBRA スイッチ	33
ZOOM スイッチ	32

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>